

NeoFace Monitor クラウド版

運用管理マニュアル

2025 年 4 月

日本電気株式会社

ご注意

- ・ NeoFace および NeoFace Monitor は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。
- ・ Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- ・ 本書は日本電気株式会社の著作物です。著作権法により、お客様が個人で使用する以外の目的で、日本電気株式会社の許可なしに本書の一部または全部を複製することは禁じられています。
- ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書に掲載されている画像イメージなどは実際のものとは異なる場合があります。
- ・ 本書に記載されているシステム名、製品名は開発メーカーの商標または登録商標です。なお、TM、®マークは明記しておりません。

目次

1.はじめに.....	1
1.1.本書の構成.....	2
1.2.注意事項.....	3
2.管理者機能について.....	5
2.1.NeoFace Monitor クラウド版 権限の呼称定義.....	5
2.2.システム管理者、グループ管理者、一般ユーザーの設定.....	6
2.3.操作可能な管理機能.....	7
2.4.管理メニューの機能内容.....	8
2.5.画面構成と名称について.....	10
2.5.1.管理ポータルへの接続に必要な情報.....	10
2.5.2.管理ポータルのログイン画面.....	11
2.5.3.画面構成と名称.....	12
3.ユーザ管理.....	13
3.1.NFM利用者とWindowsアカウントの紐付け.....	13
3.2.グループ管理.....	14
3.2.1.管理範囲.....	14
3.2.2.グループ間異動について.....	15
4.NFM運用開始フロー.....	17
4.1.無償利用申し込み.....	18
4.2.テナント開設完了メール受信.....	20
4.3.初期パスワード変更.....	22
4.4.NFMクラウド版クライアントソフトのダウンロード.....	23
4.5.システム設定.....	24
4.6.NFMクライアントソフトのインストール.....	25
4.7.NFM利用者の登録.....	26
4.7.1.NFM利用者の新規登録.....	27
4.7.2.NFM利用者の設定項目入力値チェック.....	31
4.8.NFM利用者（一般ユーザー）の利用準備.....	35

4.9. パスワード再発行	36
4.10. ライセンスの購入・登録	37
4.10.1. 料金シミュレーション、ライセンスキーの購入	38
4.10.2. ライセンスキーの登録	39
4.11. 無償利用期間の終了日のお知らせ	40
4.12. 無償利用期間終了のお知らせ	41
5. NFM 利用者情報の一括登録	42
5.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）の作成	44
5.2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備	49
5.3. NFM 利用者情報・顔画像の圧縮ファイル作成	49
5.4. NFM 利用者一括登録の実行	50
5.4.1. CSV ファイルを使用して実行する場合	50
5.4.2. ZIP ファイルを使用して実行する場合	52
5.4.3. NFM 利用者一括登録エラーメッセージ一覧	54
6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除	59
6.1. NFM 利用者一覧の表示	59
6.1.1. NFM 利用者の検索条件	60
6.1.2. NFM 利用者の一覧項目	62
6.1.3. NFM 利用者の顔情報詳細	65
6.1.4. NFM 利用者の顔画像削除	67
6.2. NFM 利用者情報の変更	68
6.3. NFM 利用者情報の削除	69
6.4. アプリログイン代行認証	70
6.4.1. アプリログイン代行認証の新規登録	71
6.4.2. アプリログイン代行認証の変更	72
6.4.3. アプリログイン代行認証の削除	73
6.4.4. アプリログイン代行認証一覧の出力	74
6.4.5. アプリログイン代行認証一覧の反映	76
6.4.6. アプリログイン代行認証一括登録エラーメッセージ一覧	79
6.5. グループ管理	81

6.5.1. グループの選択	81
6.5.2. グループの新規登録	83
6.5.3. グループの保存	85
6.5.4. グループに関する設定の権限	86
6.6. NFM 利用者のパスワード再発行	87
7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力	89
7.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力	89
8. 認証ログの確認	92
8.1. 認証ログの検索	92
8.2. 認証ログの一覧表示	94
8.3. 認証ログの詳細表示	96
8.4. 認証エラーコード一覧	98
9. システム設定	100
9.1. Windows ログオン認証方式の設定	100
9.2. Windows ログオン認証ポリシーの設定	103
9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定	105
9.3. 常時認証ポリシーの設定	106
9.4. 顔画像ログ出力ポリシーの設定	108
9.5. AzureAD 設定の設定	109
9.6. クライアントソフト設定の設定	111
9.7. 利用開始メール送付設定の設定	112
10. ライセンスキー管理	113
10.1. ライセンスキー型番種別	113
10.2. ライセンスキー一覧	114
10.2.1. ライセンスキー一覧の項目	116
10.3. ライセンスキー入力（追加登録）	117
10.3.1. ライセンスキー入力（追加登録）項目	119
10.3.2. ライセンスキー入力（追加登録）の設定項目入力値チェック	120
10.3.3. ライセンス登録完了のお知らせ	121
10.4. ライセンスキー入力（延長登録）	122

NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル

10.4.1. ライセンスキー入力（延長登録）項目	123
10.4.2. ライセンスキー入力（延長登録）の設定項目入力値チェック	124
10.5. 利用可能 ID 数の超過による利用者の削除について	125
10.6. ライセンス利用期間の終了日のお知らせ	126
10.7. ライセンス利用期間終了のお知らせ	127
11. テナント削除	128
11.1. テナント削除のお知らせ	128
12. 外部システム連携	129
12.1. 外部システムとの連携機能	129
12.2. 連携機能のご利用にあたって	129
12.3. 個人情報の取り扱いについて	129
12.4. 連携の対象となる NFM 利用者を設定	130
12.5. NeoFace Monitor クラウド版から外部システムへの連携	142
12.6. 外部システムから NeoFace Monitor クラウド版への連携	146
13. 接続許可 IP アドレス	149
13.1 接続許可 IP アドレスの表示	149
13.2 接続許可 IP アドレスの一覧項目	150
13.3 接続許可 IP アドレスの登録	151
13.4 接続許可 IP アドレスの新規登録	152
13.5 接続許可 IP アドレスの削除	155
13.6 接続許可 IP アドレスのエラー通知	156
14. ワンタイムパスワードの利用	157
14.1 ワンタイムパスワード利用の流れ	157
14.2 ワンタイムパスワードの申請手順	158
14.3 ワンタイムパスワードの発行手順	158
14.4 ワンタイムパスワード利用手順	162
15. AD プロビジョニング	163
15.1. 動作環境	164
15.2. Windows アカウント情報および NFM 利用者情報の自動登録	165
15.3. AD プロビジョニングツールの動作概要	166

15.3.1. 事前準備	167
15.3.2. NeoFace Monitor で登録される項目	168
15.4. Windows アカウントの作成	170
15.5. AD プロビジョニングツールのダウンロード	171
15.6. AD プロビジョニングツールのインストール	173
15.7. AD サーバへアクセスする Windows アカウント情報の登録	176
15.8. Windows アカウント情報のプロビジョニング停止/再開	178
15.9. AD サーバとの同期	178
15.10. NFM 利用者の顔情報の登録	179
15.10.1. NFM 利用者の顔情報の一括登録	179
15.10.2. NFM 利用者の顔情報の個別登録	179
15.11. 初回パスワード更新	180
15.12. AD プロビジョニング連携のエラー通知	181
16. 操作ログ	182
16.1. 操作ログの出力	182
Appendix A. ライセンスキーの登録	185

1. はじめに

本書では、NeoFace Monitor クラウド版の導入設定および運用管理の方法について説明しています。作業を始める前に、本書の「1.2. 注意事項」をご参照ください。
※以降「NeoFace Monitor」を「NFM」と表記している場合があります。

本書は、管理者ユーザーを対象としています。NFM 利用者のオペレーションについては『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』をご参照ください。

※NeoFace Monitor クラウド版 環境での運用方針やユーザーの操作への制限をするシステムポリシーの設定について詳しくは、「9.1. Windows ログオン認証方式の設定」をご参照ください。

本書では、以下の略称を使用しています。

- ・ NeoFace Monitor クラウド版 クライアント(64bit) : NFM クラウド版クライアント
- ・ NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル : 管理ポータル
- ・ NeoFace Monitor クラウド版 利用者 : NFM 利用者

1.1. 本書の構成

本書の構成について説明します。運用シーンに合わせてご参照ください。

運用場面	参照先
管理者機能の確認や、付与する管理権限を決定する。	第 2 章
ユーザー管理方法を決定する。	第 3 章
無償利用の申し込み、および NFM 利用者情報を登録する。	第 4 章
NFM 利用者情報を一括登録する。	第 5 章
NFM 利用者情報を修正・削除する。	第 6 章
NFM 利用者情報の一覧を出力する。	第 7 章
認証ログを確認する。	第 8 章
システム設定を変更する。	第 9 章
ライセンスキーの管理を行う。	第 10 章
テナント削除 (NeoFace Monitor クラウド版 ご利用の終了)	第 11 章
外部システムとの連携を行う。	第 12 章
管理ポータルに接続できる IP アドレスを設定する。	第 13 章
ワンタイムパスワードを発行する。	第 14 章
AD プロビジョニングの管理を行う。	第 15 章
操作ログを確認する。	第 16 章

1.2. 注意事項

- 個人情報の取り扱い
NFM クラウド版クライアントの登録・照合・識別の各処理にて生成、利用される NFM 利用者データ（顔特徴抽出データ・ID を含む）には、個人情報が含まれています。それらデータの取り扱いに十分留意し、お客様の責任において適切なセキュリティ対策を施してください。
- 他の Windows ログオン製品との併用について
NFM クラウド版クライアントは Windows 以外のカスタマイズ Credential Provider（SKYSEA Client View、CyberLink YouCam、NEC Authentication Agent など）および他の生体認証製品との共存はサポートしておりません。そのため、他の Windows ログオン製品がインストールされている場合は、アンインストールしてから、NFM クラウド版クライアントのインストールを行うようお願いいたします。
- カメラを使用する他アプリケーションとの併用について
NFM クラウド版クライアントは Windows ログオンおよび画面ロック解除、常時認証機能の際にカメラを使用します。カメラを使用する他のアプリケーションと併用できませんのでご注意ください。
- OS 環境について
NFM クラウド版クライアントは x64 バージョンを用意しています。
- Windows パスワードの注意点
インストールする前に、Windows アカウントに Windows パスワードが設定されていることを必ず確認してください。Windows パスワードが未設定の場合、Windows ログオンできなくなります。
NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応しておりません。Windows パスワードが 64 文字以上の場合、インストールする前に 63 文字以下になるように Windows パスワードを変更してください。
- 管理ポータル上に登録する Windows パスワードについて
NeoFace Monitor クラウド版における Windows アカウントの新規追加時の Windows パスワード設定操作、および再設定操作では、Windows の登録内容と同じ Windows パスワードを設定してください。Windows と異なる値を設定した場合、Windows ログオンできなくなります。
- Windows パスワードの入力制限について
NFM クラウド版クライアントをご利用中のシステムでは、Windows パスワードに半角スペースを使用することができません。
- 画面表示のちらつきについて
Windows ログオン時、もしくは画面ロック解除時に、端末の種類によっては、Windows ログオンもしくは画面ロック解除画面の表示がちらつくことがあります、動作に支障はありません。
- OS 起動時間について
本ソフトウェアをインストールすることによって、OS 起動時のログオン画面への遷移が遅くなる可能性があります。
- 対応するアカウントについて
本製品は Windows アカウント（ローカルアカウント・ドメインアカウント）または Azure AD アカウントに対応しています。上記以外のアカウントは対応していません。
- Microsoft アカウントの注意点
Windows 10、Windows 11 搭載端末へ NFM クラウド版クライアントをインストールする場合、対象端末に Microsoft アカウントしか存在していない場合にはインストールが正常完了せず、製品を利用することができません。
- タブレット端末の画面回転について
Windows タブレットの画面の自動回転へは対応しておりません。NFM クラウド版クライアントの画面は常に固定表示となります。（NEC 製タブレット PC のみ自動回転に対応しています）

- InfoCage PC セキュリティとの連携について
NEC の統合型 PC セキュリティソフトウェアである InfoCage PC セキュリティと NFM クラウド版クライアントを連携させる場合は双方の動作環境、連携バージョンをご確認のうえ、インストールしてください。
- 顔の登録、認証について
NeoFace Monitor クラウド版では顔の登録、認証を行う際に両目が開いている必要があります。顔の登録、認証を行えない場合は、パスワードによる代替認証をご利用いただくことができます。
- NeoFace Monitor をインストールした PC の使用を終了する場合について
NeoFace Monitor は認証情報を取り扱う製品のため、PC の廃棄や譲渡など、PC の使用を終了する場合は、必ず NeoFace Monitor をアンインストールしてください。

2. 管理者機能について

本製品は管理者向け機能として以下の機能およびツールを提供します。

2.1. NeoFace Monitor クラウド版 権限の呼称定義

管理者機能を使用するには、システム管理者権限またはグループ管理者権限が付与されたNFM利用者IDで、管理ポータルにログインする必要があります。

以降の説明では、NeoFace Monitor クラウド版上での権限別に呼称を使い分けています。
NeoFace Monitor クラウド版 権限の呼称定義は以下のとおりです。

NeoFace Monitor クラウド版 権限の呼称定義

権限の呼称	意味
システム管理者	NeoFace Monitor に対する全権限を有するユーザーを指します。管理ポータルのメニューをすべて実行可能です。
グループ管理者	利用者のグループを管理する権限を与えられたユーザーを指します。管理ポータルの利用者に関するメニューで自分の管理するグループに関する操作を実行可能です。
一般ユーザー	上記以外のユーザーを指します。

2.2. システム管理者、グループ管理者、一般ユーザーの設定

NFM 利用者をシステム管理者、グループ管理者、または一般ユーザーに設定することができます。

システム管理者、グループ管理者、一般ユーザーの設定

権限	設定
システム管理者	<p>導入初期のシステム管理者は無償利用申し込み時に指定した申込者メールアドレスのユーザーです。</p> <p>ポータル画面からの「NFM 利用者登録」、「NFM 利用者情報の一括登録」、「NFM 利用者情報の変更」により、NFM 利用者をシステム管理者に設定することができます。</p> <p>既にシステム管理者に設定した NFM 利用者を一般ユーザーやグループ管理者へ変更することができます。ただし、システム管理者はテナント内に必ず 1 名必要です。</p>
グループ管理者	<p>ポータル画面からの「NFM 利用者登録」、「NFM 利用者情報の一括登録」、「NFM 利用者情報の変更」により、NFM 利用者をグループ管理者に設定することができます。</p> <p>既にグループ管理者に設定した NFM 利用者をシステム管理者や一般ユーザーへ変更することができます。</p>
一般ユーザー	<p>ポータル画面からの NFM 利用者登録、NFM 利用者情報の一括登録、NFM 利用者情報の変更により NFM 利用者をシステム管理者やグループ管理者に設定しなければ、一般ユーザーとして設定されます。</p> <p>既存の一般ユーザーに設定した NFM 利用者をシステム管理者やグループ管理者へ変更することができます。</p>

2.3. 操作可能な管理機能

権限の設定により、管理ポータルで操作可能な機能に制限があります。下記表のうち「×」表記となっているメニューは表示されません。

管理機能およびツールの実行権限

項目番号	管理機能およびツール	システム管理者	グループ管理者	一般ユーザー
1	パスワード変更	○	○	○
2	NFM クライアントダウンロード	○	○	○
3	ログアウト	○	○	○
4	NFM 利用者管理	○	○ ※1	×
5	ログビューア	○	○ ※1	×
6	設定	○	×	×
7	利用者情報連携管理	○	×	×
8	インポート/エクスポート	○	○ ※1	×
9	ライセンスキー管理	○	×	×
10	ワンタイムパスワード発行	○ ※2	×	×
11	接続許可 IP アドレス	○	×	×
12	AD プロビジョニング エージェントダウンロード	○	×	×
13	操作ログ	○	×	×

※1 グループ管理者として設定されているグループに関する操作のみ可能です。

※2 「9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定」にて、代替認証の認証手段として「ワンタイムパスワード」を選択した場合に表示されます。

2.4. 管理メニューの機能内容

機能およびツール

機能	内容
パスワード変更	管理ポータルにログインするためのパスワードを設定します。
NFM クライアントソフトダウンロード	NFM クライアントソフトをダウンロードします。
ログアウト	ログインした NFM 利用者での管理ポータルの利用を終了します。
NFM 利用者管理	NFM 利用者情報の登録/修正/削除、および Windows アカウントに関する設定を行います。
ログビューア	NFM クライアントによる顔認証の履歴を表示します。
設定	Windows ログオン認証方式の設定
	Windows ログオン認証方式の設定
	常時認証ポリシーの設定
	顔画像ログ出力ポリシーの設定
	AzureAD の設定
	クライアントソフトの設定
	利用開始メール送付の設定
利用者情報連携管理	外部システムとの NFM 利用者情報の連携に関する設定を行います。
インポート/エクスポート	NFM 利用者情報の一括登録や一覧ファイル出力を行います。
ライセンスキー管理	ライセンスキーの登録を行います。
ワンタイムパスワード発行	ワンタイムパスワードを発行します。※

2. 管理者機能について

接続許可 IP アドレス	システム管理者として管理ポータルに接続できる IP アドレスの設定を行います。
AD プロビジョニング エージェントダウンロード	AD プロビジョニングツールをダウンロードします。
操作ログ	管理ポータルの操作の履歴を一覧ファイル出力します。

※「9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定」にて、代替認証の認証手段として「ワンタイムパスワード」を選択した場合に表示されます。

2.5. 画面構成と名称について

2.5.1. 管理ポータルへの接続に必要な情報

お使いの環境にてファイアウォールで送信先へのトラフィックの制限が行われている場合、下記のポート番号およびドメインに対する通信が許可されている必要があります。

ポート番号	443 (HTTPS)
ドメイン	*.neofacemonitor.com

2.5.2. 管理ポータルのログイン画面

システム管理者が管理ポータルの機能を使用するときのログイン画面です。

NeoFace Monitor クラウド版 テナント開設完了のお知らせメールに記載されたパスワード変更後の URL にアクセスすると、管理ポータルのログイン画面が表示されます。NFM 利用者 ID とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押下してください。

管理ポータルのログイン画面

項目の説明

項目	内容
テナント	会社名を表示します。
NFM 利用者 ID	NFM 利用者として登録している ID を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。 ※連続して間違えると、一時的に NFM 利用者 ID がロックされる場合があります。

2.5.3. 画面構成と名称

システム管理者が管理ポータルにログインすると以下のような画面が表示されます。
画面の構成と各名称については以下のとおりです。



名称と説明

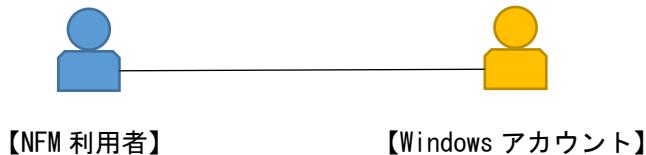
名称	説明
ヘッダエリア	会社名、ログインしたユーザーの氏名が表示されています。
メニューエリア	各機能のメニューが表示されています。
サブメニューボタン	押下するとサブメニューエリアが表示されます。
サブメニューエリア	利用頻度の低い機能のメニューが表示されています。
業務画面エリア	各機能の操作や内容が表示されています。

3. ユーザ管理

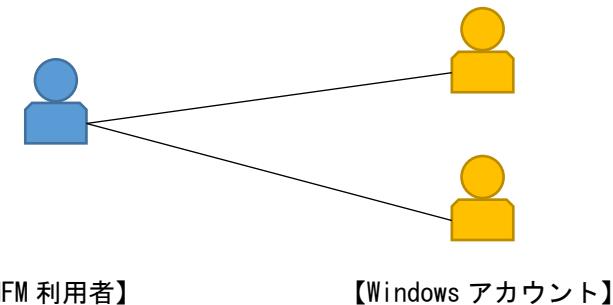
3.1. NFM 利用者と Windows アカウントの紐付け

本製品は、Windows アカウント毎ではなく、NFM 利用者毎に認証情報を保持します。
NFM 利用者と Windows アカウントを紐付けることで、以下のような運用を可能とします。

- ① 1人のNFM利用者が1つのWindowsアカウントを利用する運用

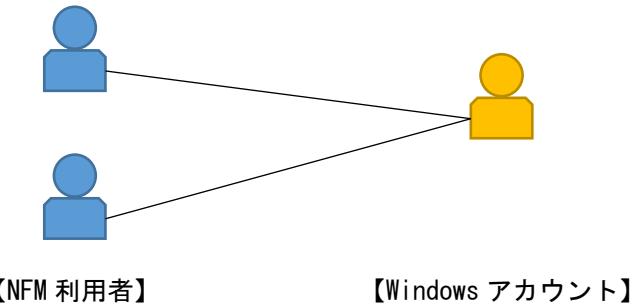


- ② 1人のNFM利用者が複数のWindowsアカウントを利用する運用



※1人のNFM利用者は最大5つのWindowsアカウントを設定可能です。

- ③ 複数のNFM利用者が1つのWindowsアカウントを利用する運用



3.2. グループ管理

システム管理者は、本製品上における Windows アカウント、NFM 利用者、認証情報などのユーザ管理を行うことが可能です。

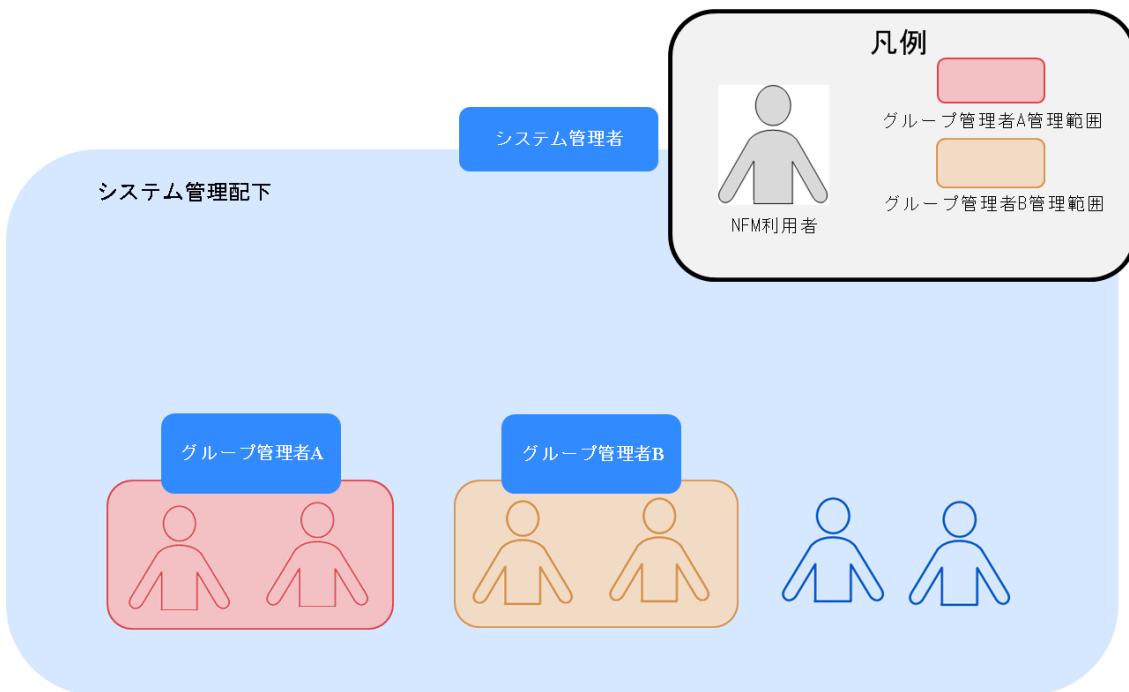
グループ管理機能を使用することで、グループ管理者が自身の管理範囲に対して、Windows アカウント、NFM 利用者、認証情報などのユーザ管理を行うことが可能です。また、グループに対して複数のグループ管理者を指定することができます。

3.2.1. 管理範囲

システム管理者は、グループ管理者 A の管理配下・グループ管理者 B の管理配下を含む、すべての NFM 利用者に対してユーザ管理を実施することができます。

グループ管理者は、自らの管理範囲(グループ管理者 A は赤色の枠内、グループ管理者 B はオレンジ色の枠内)の NFM 利用者に対して、システム管理者と同等のユーザ管理操作を実施することができます。また、異動中グループを除く自身の管理範囲以外に対して、ユーザ管理を行うことはできません。

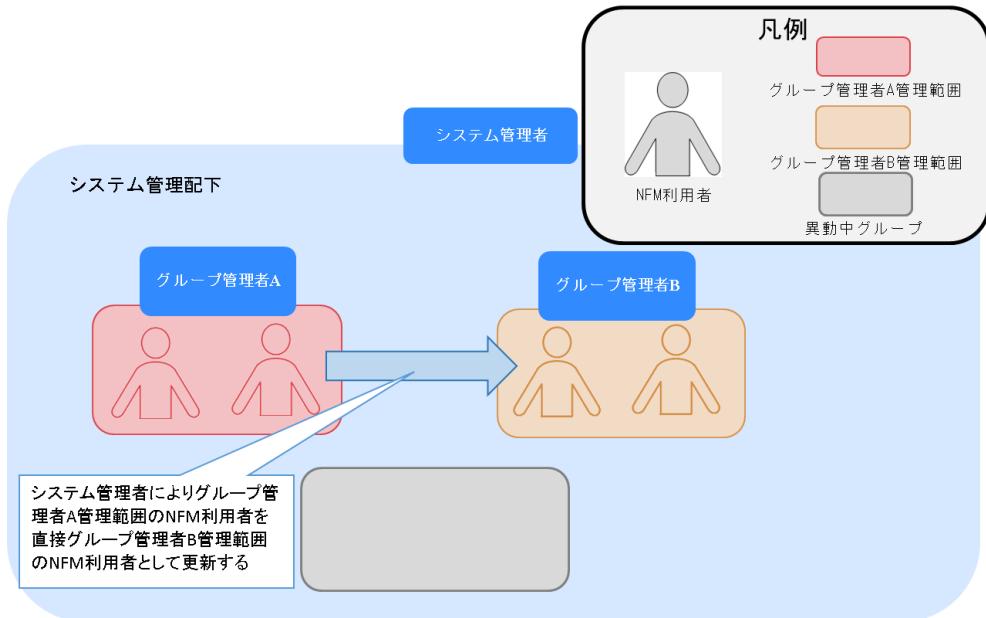
グループ管理者 A がグループ管理者 B を管理配下に置くなど、階層状の管理構造を持つことはできません。



3.2.2. グループ間異動について

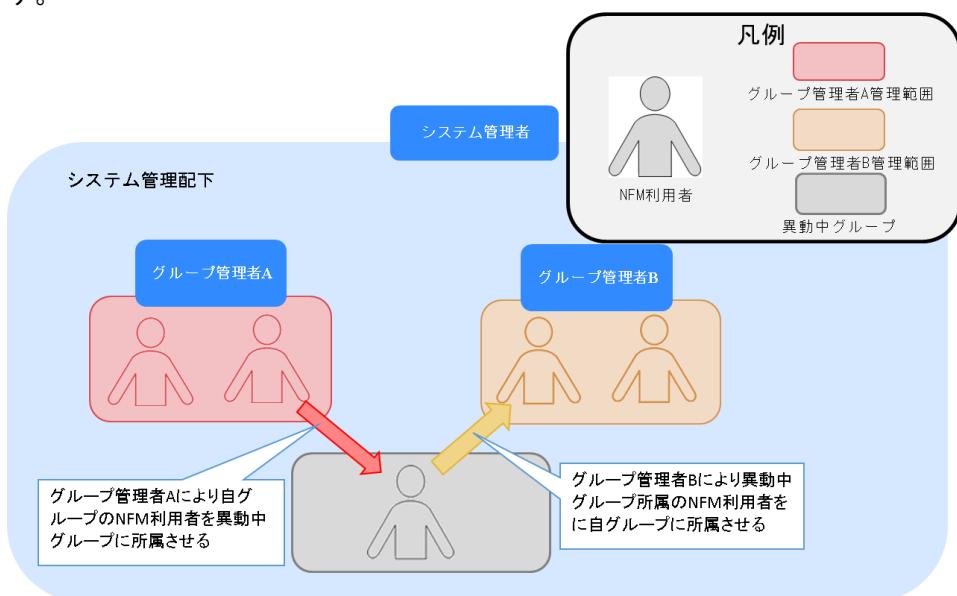
NFM 利用者の所属するグループを変更する場合は、システム管理者とグループ管理者で手順が異なります。詳細は、「6.5. グループ管理」をご参照ください。

システム管理者の場合は、異動させたい NFM 利用者に対して、異動元グループから直接異動先グループへ更新することでグループ間異動となります。



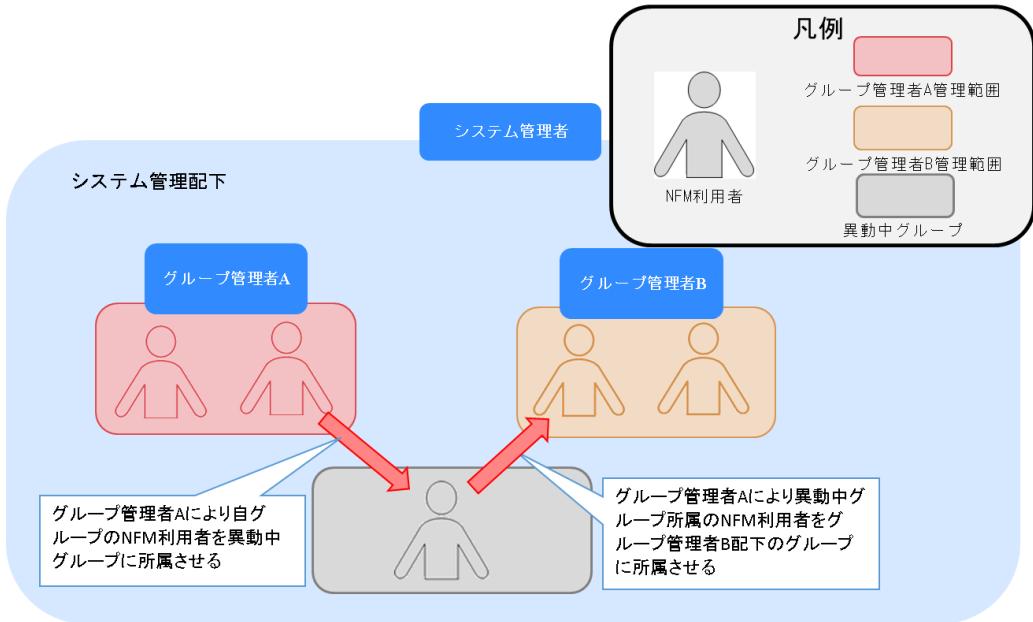
グループ管理者の場合は、異動させたい NFM 利用者に対して、異動元のグループ管理者が自身の管理グループから異動中グループへ更新し、異動先のグループ管理者が異動中グループから自身の管理グループへ更新することでグループ間異動となります。

ただし、グループ管理者自身の異動については、システム管理者のみ実施することが可能です。



3. ユーザ管理

もしくは、異動元のグループ管理者が自身の管理グループから異動中グループへ更新した後、そのまま異動元のグループ管理者が他グループ管理者が管理するグループへ登録することも可能です。



※グループ管理者は自身の異動中グループへの所属を含め、グループ情報（グループ管理者権限、グループIDの追加・変更・削除）を編集することはできません。
グループ管理者のグループ情報を編集する場合は、システム管理者が編集してください。

4. NFM 運用開始フロー

本章では、NeoFace Monitor クラウド版の運用開始フローについて説明しています。
利用の申し込みから運用まで、下記の順序で行います。

順序	作業
4. 1	無償利用の申し込み
4. 2	NeoFace Monitor クラウド版 テナント開設完了のお知らせメール受信
4. 3	初期パスワード変更
4. 4	NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード
4. 5	システム設定
4. 6	NFM クラウド版クライアントソフトのインストール
4. 7	NFM 利用者の登録
4. 8	NFM 利用者（一般ユーザー）の利用準備
4. 9	パスワード再発行
4. 10	ライセンスの購入・登録

4.1. 無償利用申し込み

NeoFace Monitor クラウド版の利用申し込みは、Web サイトから行います。

申し込み Web サイトの URL : <https://portal.neofacemonitor.com/t/eImyTWrH3Ce0>

お使いの環境にてファイアウォールで接続先への通信制限が行われている場合、無償利用申し込み Web サイトや管理ポータルへのアクセス、NeoFace Monitor クライアントソフトをインストールするためには、ポート番号およびドメインに対する通信が許可されている必要があります。詳細は「2.5.1. 管理ポータルへの接続に必要な情報」をご参照ください。

申し込みサイト画面

The screenshot shows the 'Tenant Application Submission' page of the NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal. At the top, it says 'NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal'. Below that, there's a section for entering tenant information: 'Tenant Name (Company Name)' with a note that it must be unique; 'Applicant Name' with fields for 'Last Name' (必需) and 'Middle Name'; and 'Email Address' with a note that free email addresses cannot be used. There are also notes about existing submissions and the number of tenants per company. At the bottom, there are buttons for reading the 'User Agreement' and 'Privacy Policy', a checked checkbox for accepting them, and a large 'Submit' button.

各入力項目の説明

入力項目	説明
テナント名（会社名）	テナント名には、お申し込みいただく会社名を入力してください。お申し込みは、1社につき1テナントまでとなります。
申込者名	お申し込みされる方のお名前。姓と名は必須、ミドルネームは任意です。
申込者メールアドレス	お申し込みされる方のメールアドレス。フリーメール、または、既に申し込みされたメールアドレスはご利用できません。

4. NFM 運用開始フロー

申し込みを行う際、以下のリンクを押下して内容をご確認いただき、内容について同意いただく必要があります。

リンク名	説明
利用規約を読む	本サービスをご利用いただく際の利用規約が記載されています。
プライバシーポリシーを読む	本サービスのプライバシーポリシーが記載されています。

同意いただく場合は「利用規約およびプライバシーポリシーを確認し、同意しました。」のチェックボックスをチェックし、「申し込む」ボタンを押下してください。

申込者メールアドレス宛てに、NeoFace Monitor クラウド版 テナント開設完了のお知らせメールが届きます。

テナント申し込み後に弊社内でテナント開設処理を行い、テナント開設完了後に、申込者メールアドレス宛にテナント開設完了メールが届きます。(最大で 1 営業日かかる場合があります。)

4.2. テナント開設完了メール受信

無償利用申し込み画面で登録したメールアドレスにテナント開設完了メールが届きます。
記載されているパスワード変更 URL にアクセスしてください。

テナント開設完了メール

(件名 : NeoFace Monitor クラウド版テナント開設完了のお知らせ)

〈申し込み者名〉様

NeoFace Monitor クラウド版への無償利用のお申し込みをありがとうございます。
テナントの開設が完了しました。

無償利用期間の終了日は〈無償利用期間の終了日〉です。

はじめに、以下の Web ページから『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』と『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』をダウンロードしてください。

<https://jpn.nec.com/products/bizpc/promotion/nfm-cloud/support.html>

→マニュアル

→NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル

NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル

サービスのご利用には、システム管理者としての事前作業の実施が必要となります
ので、マニュアルを一通りお読みのうえ、『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理
マニュアル』の「NFM 運用開始フロー」に沿って、ご対応をお願いします。

なお、『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「初期パスワード
変更」(『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「パスワード
の変更」)では、パスワード変更 URL と現在のパスワードが必要になります。以下を
使用してください。

パスワード変更 URL : <https://portal.neofacemonitor.com/p/XXXXXX>

現在のパスワード : xxxxxxx

パスワード変更後は、以下の URL からログインしてください。

また、パスワード変更 URL の有効期限は 24 時間です。以下の URL からログイン後、サ
ブメニューエリアの「パスワード変更」からもパスワードの変更が可能です。

4. NFM 運用開始フロー

パスワード変更後 URL : <https://portal.neofacemonitor.com/t/XXXXX>

無償利用期間の終了後も継続利用いただける場合は、無償利用期間の終了日までに、
『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「ライセンスの購入・登録」
に沿って、ご対応をお願いします。

4.3. 初期パスワード変更

『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「3.2. パスワードの変更」を参照のうえ、初期パスワードを変更してください。

4.4. NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード

『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「4.1. NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード手順」を参照のうえ、NFM クラウド版クライアントソフトをダウンロードしてください。

4.5. システム設定

「2.5.2. 管理ポータルのログイン画面」を参照し、ポータル画面にログイン後、
「9. システム設定」を参照し、Windows ログオン認証方式、および各種ポリシー設定を確認
のうえ、必要に応じて設定の変更をしてください。

4.6. NFM クライアントソフトのインストール

『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「4.2. NFM クラウド版クライアントソフトのインストール手順」を参照のうえ、NFM クラウド版クライアントソフトをインストールしてください。

4.7. NFM 利用者の登録

NFM 利用者一覧画面で NFM 利用者の登録を行います。

最初の状態では、無償利用の申し込みを行った方が NFM 利用者として 1 件登録されています。

利用を行う方を追加してください。

画面の「追加する」ボタンを押下してください。

※この章では画面の入力で 1 件ずつ登録する方法を説明しています。

CSV から一括で登録する方法は「5. NFM 利用者情報の一括登録」をご参照ください。

NFM 利用者一覧画面（初期状態の例）

NFM利用者名							管理者	許可する	状態	
NFM利用者ID	姓	ミドルネーム	名	メールアドレス	顔画像					
portal@example.com	Portal	ドットコム	タロウ	portal@example.com		!	代行認証一覧	変更する		

Buttons at the bottom:

- 削除する (Delete)
- パスワード再発行 (Reset Password)

Page footer: 1件中1-1件

4.7.1. NFM 利用者の新規登録

NFM 利用者情報の追加画面が表示されます。
必要な項目を入力し、「保存する」ボタンを押下してください。

NFM 利用者一覧画面（新規登録の例）

① 追加するボタンを押下

② 登録用のダイアログが表示されます

③ 入力後に保存するボタンを押下

NFM 利用者情報

入力項目	説明
NFM 利用者 ID	管理ポータルにログインする ID
パスワード	管理ポータルにログインするパスワード
NFM 利用者名（姓・ミドルネーム・名）	登録する方のお名前
メールアドレス	登録する方のメールアドレス（同じメールアドレスを複数の利用者に設定することはできません）
NFM 利用者 ID と同じメールアドレスを設定	有効にしている場合、「メールアドレス」の値には、NFM 利用者 ID と同じ値が設定されます。「メールアドレス」は入力できなくなります。 無効にしている場合、「メールアドレス」が入力可能な状態になります。
システム管理者	登録する方をシステム管理者とする場合はチェックします

アプリログイン代行認証を許可する	アプリログイン代行認証を許可する場合はチェックします
認証方法	アプリログイン代行認証の認証方法 ※アプリログイン代行認証を許可するにチェックした場合のみ表示
認証失敗時の動作	アプリログイン代行認証の認証失敗時の動作 ※アプリログイン代行認証を許可するにチェックした場合のみ表示
グループ ID	登録する方が所属するグループの ID
グループ名	登録する方が所属するグループの名前
管理者	登録する方を所属するグループの管理者とする場合はチェックします
「Windows アカウント名」 または 「表示名」	「Windows アカウント種別」で「ローカル」、または「ドメイン」を選択した場合は、登録する方が使用する Windows アカウント 「Azure AD」を選択した場合は、登録する方が使用する表示名 (Azure AD アカウント)
Windows アカウント種別	登録する方の Windows アカウントの種別 Hybrid Azure AD Join 環境で使用する場合、ドメインアカウントでログオンする必要があるため、「ドメイン」を選択してください。
「Windows パスワード」 または 「Azure AD パスワード」	「Windows アカウント種別」で「ローカル」、または「ドメイン」を選択した場合は、Windows アカウントのパスワード 「Azure AD」を選択した場合は、Azure AD アカウントのパスワード
「コンピュータ名」 または 「ドメイン名」 または 「Azure AD ドメイン名」	「Windows アカウント種別」で「ローカル」を選択した場合は、登録する方が使用する端末の Windows コンピュータ名 「ドメイン」を選択した場合は、登録する方の Windows アカウントが所属するドメイン名 「Azure AD」を選択した場合は、登録する方の Azure AD アカウントが所属する Azure AD ドメイン名
ユーザプリンシパル名	登録するユーザプリンシパル名 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合のみ表示
メールアドレスを設定	有効にしている場合、「ユーザプリンシパル名」の値には、メールアドレスと同じ値が設定されます。「ユーザプリンシパル名」は入力できなくなります。 無効にしている場合、「ユーザプリンシパル名」が入力可能な状態になります。 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合のみ表示

※グループ ID～管理者をセットとして、1人のNFM 利用者に5セットまで登録することができます。

※Windows アカウント名～Windows パスワードをセットとして、1人のNFM 利用者に5セットまで登録することが可能です。

※NFM 利用者 IDについて

- ・メールアドレスを登録すると利用の手順が記載されたメールが届きます。
- ・NFM 利用者 IDとご利用になるクラウドサービスのアカウントは一致する必要があります。

※「ドメイン名」、「Azure AD ドメイン名」は、[コントロール パネル] - [ユーザー アカウント]で確認することができます。

確認方法

- ① タスクバーの検索に”コントロール パネル”と入力し、検索結果よりコントロール パネルを選択し、コントロール パネルを起動する。
- ② ユーザー アカウントを選択する。
- ③ ドメイン名を確認する。

※「ドメイン名」、「Azure AD ドメイン名」の文字数は、NeoFace Monitor の制限があり、201 文字以内にしてください。

4. NFM 運用開始フロー

入力にエラーがあるとメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認のうえ入力内容を修正し、「保存する」ボタンを押下してください。

NFM 利用者一覧画面（エラーの例）



登録が正常に行われたときは、登録された方のメールアドレスに利用の手順が記載されたメールが届きます。

登録された NFM 利用者 ID がメールアドレスでないときは、システム管理者宛てにメールが届きます。

NFM 利用者情報を登録/変更/削除後に一覧画面に処理内容が反映されていない場合、検索条件で絞込みが行われている可能性があります。

検索条件の有無は、NFM 利用者一覧のタイトル右横にある虫眼鏡アイコンの色で確認することができます。

- ・検索条件の有無

虫眼鏡アイコンの色が青色の場合：検索条件あり

NFM利用者一覧

虫眼鏡アイコンの色が灰色の場合：検索条件なし

NFM利用者一覧

※NFM 利用者の変更・削除は「NFM 利用者情報の一覧・変更・削除」をご参照ください。

4.7.2. NFM 利用者の設定項目入力値チェック

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
NFM 利用者 ID	空	NFM 利用者 ID が入力されていません。
	257 文字以上	NFM 利用者 ID は 256 文字以内で入力してください。
	文字種	NFM 利用者 ID は半角英数字、記号のみ利用できます。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 ! \$ & * + , - . : ; < = > @ [] ^ _ { } ~
パスワード	空	パスワードが入力されていません。 ※新規登録時のみ
	8 文字未満	パスワードは 8 文字以上で入力してください。
	256 文字以上	パスワードは 255 文字以内で入力してください。
	文字種	パスワードは半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 ¥ " /
NFM 利用者名 (姓)	81 文字以上	NFM 利用者名（姓）は 80 文字以内で入力してください。
NFM 利用者名 (ミドルネーム)	81 文字以上	NFM 利用者名（ミドルネーム）は 80 文字以内で入力してください。
NFM 利用者名 (名)	81 文字以上	NFM 利用者名（名）は 80 文字以内で入力してください。
メールアドレス	257 文字以上	メールアドレスは 256 文字以内で入力してください。
	空	システム管理者はメールアドレスが必須です。 ※「システム管理者にする」選択時のみ
	Email の形式以外	メールアドレス形式で入力してください。

	登録済みのメールアドレス	メールアドレスが重複しています。
Windows アカウント名 ※Windows アカウント種別で「ローカル」または「ドメイン」を選択した場合	空	Windows アカウント名が入力されていません。
	21 文字以上	Windows アカウント名は 20 文字以内で入力してください。
	文字種	Windows アカウント名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
表示名 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	空	表示名が入力されていません。
	21 文字以上	表示名は 20 文字以内で入力してください。
	文字種	表示名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
Windows パスワード ※Windows アカウント種別で「ローカル」または「ドメイン」を選択した場合	128 文字以上	Windows パスワードは 127 文字以内で入力してください。 ※NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応しておりません。Windows パスワードは 63 文字以内で入力してください。
	文字種	Windows パスワードは半角英数字、記号しか利用できません。
Azure AD パスワード ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	128 文字以上	Azure AD パスワードは 127 文字以内で入力してください。 ※NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応しておりません。Windows パスワードは 63 文字以内で入力してください。

4. NFM 運用開始フロー

	文字種	Azure AD パスワードは半角英数字、記号しか利用できません。
※Windows アカウント種別で「ローカル」を選択した場合	空	コンピュータ名が入力されていません。
	16 文字以上	コンピュータ名は 15 文字以内で入力してください。
	文字種	コンピュータ名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
ドメイン名 ※Windows アカウント種別で「ドメイン」を選択した場合	空	ドメイン名が入力されていません。
	255 文字以上	ドメイン名は 255 文字以内で入力してください。
	文字種	半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
Azure AD ドメイン名 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	空	Azure AD ドメイン名が入力されていません。
	256 文字以上	Azure AD ドメイン名は 255 文字以内で入力してください。
	文字種	Azure AD ドメイン名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
ユーザプリンシパル名 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	空	ユーザプリンシパル名が入力されていません。
	257 文字以上	ユーザプリンシパル名は 256 文字以内で入力してください。
	Email の形式以外	ユーザプリンシパル名の形式が正しくありません。

グループ情報の重複設定のチェック

項目名	エラーメッセージ
グループ ID	重複したグループが設定されています。
グループ名	

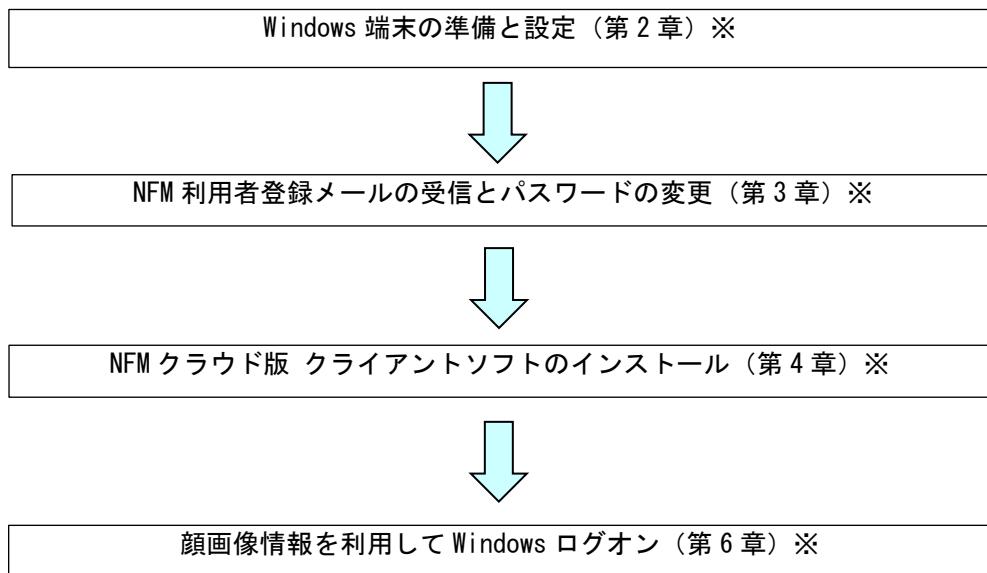
Windows アカウント情報の重複設定のチェック

項目名	エラーメッセージ
Windows アカウント名	重複した Windows アカウントが設定されています。
コンピュータ名または ドメイン名	

4.8. NFM 利用者（一般ユーザー）の利用準備

システム管理者にて登録された NFM 利用者が、NFM クラウド版を利用可能になるまでの準備をします。詳しくは『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』をご参照ください。

NFM 利用者（一般ユーザー）のご利用までの流れ



※ 図中の章番号は『NeoFace Monitor クラウド版ユーザーズマニュアル』の章番号

4.9. パスワード再発行

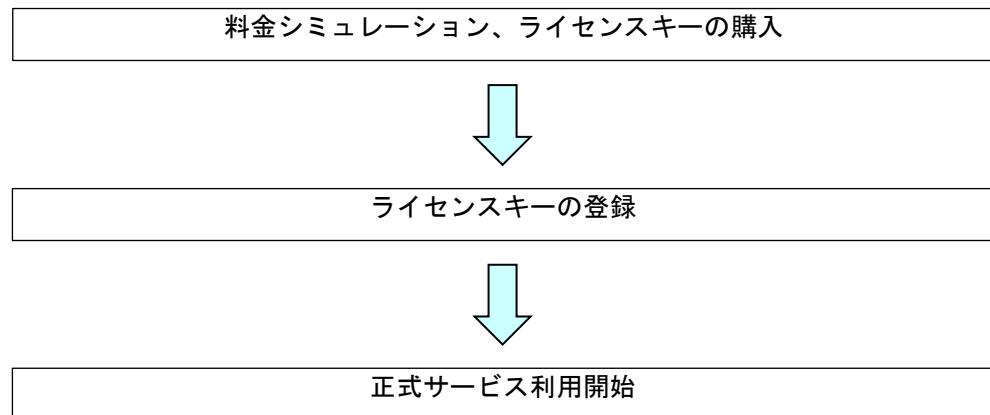
管理ポータルへログインするパスワードを忘れてしまった場合、管理ポータルのログイン画面にてパスワード再発行をします。詳しくは『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「9. パスワード再発行」をご参照ください。

また、NFM 利用者一覧、NFM 利用者情報の一括登録からパスワードをリセットすることもできます。詳しくは「[6.6. NFM 利用者のパスワード再発行](#)」、「[5. NFM 利用者情報の一括登録](#)」をご参照ください。

4.10. ライセンスの購入・登録

無償利用期間が終了するまでにライセンスの購入、登録を行ってください。

正式サービス利用開始までの流れ



4.10.1. 料金シミュレーション、ライセンスキーの購入

下記サイトを参考に、料金のシミュレーションやライセンスキーの購入手続きを行ってください。

<https://jpn.nec.com/products/bizpc/promotion/nfm-cloud/simulation.html>

購入手続きが完了すると、ライセンスキーが納品されます。

4.10.2. ライセンスキーの登録

「[Appendix A. ライセンスキーの登録](#)」を参照のうえ、ライセンスキー登録画面にて、購入したライセンスキーの登録を行ってください。

4.11. 無償利用期間の終了日のお知らせ

無償利用期間の終了日の 30 日前、20 日前、10 日前のタイミングで、利用期間内の有償ライセンスの登録がない場合、テナントのシステム管理者全員に無償利用期間の終了日のお知らせメールが届きます。

無償利用期間の終了後も継続利用いただける場合は、無償利用期間の終了日までに「10. ライセンスキー管理」に沿って、ご対応をお願いします。

無償利用期間の終了後は、顔認証による Windows ログオンができなくなります。あらかじめ NFM クラウド版クライアントソフトをアンインストールしてください。

無償利用期間の終了日のお知らせメール

(件名 : NeoFace Monitor クラウド版無償利用期間に関するお知らせ)

〈システム管理者名〉様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

無償利用期間の終了日は YYYY/MM/DD（無償利用期間の終了日）です。

無償利用期間の終了後も継続利用いただける場合は、無償利用期間の終了日までに『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「ライセンスの購入・登録」に沿って、ご対応をお願いします。

無償利用期間の終了後は、顔認証による Windows ログオンができなくなります。あらかじめ NFM クラウド版クライアントソフトをアンインストールしてください。

4.12. 無償利用期間終了のお知らせ

無償利用期間の終了日の翌日に利用期限内の有償ライセンスの登録がない場合、テナントのシステム管理者全員に無償利用期間終了のお知らせメールが届きます。

無償利用期間終了のお知らせメール

(件名 : NeoFace Monitor クラウド版無償利用期間終了のお知らせ)

〈システム管理者名〉様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

無償利用期間は YYYY/MM/DD（無償利用期間の終了日）をもって終了したため、
登録された顔画像をすべて削除いたしました。

お申し込みいただいたテナントは YYYY/MM/DD（テナント削除日）まで有効ですので
それまでにライセンスをご購入・ご登録いただき、顔画像を再登録いただければ
引き続き正式サービスとしてご利用いただけます。

正式サービスの利用をご希望の場合は、『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「ライセンスの購入・登録」に沿って、ご対応をお願いします。

5. NFM 利用者情報の一括登録

NFM 利用者情報の一括登録は、NFM 利用者情報の一覧ファイル、顔画像ファイル¹を使用した以下の手順で実施してください。

また作成した NFM 利用者情報の一覧ファイル、顔画像ファイルを保存しておくことで、簡易的なバックアップ用途にお使いいただけます。

「[7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力](#)」に記載の手順にて NFM 利用者情報の一覧ファイルを出力した場合は、セキュリティ上の制約から「顔画像ファイル」と「パスワード」、「Windows パスワード」は出力されません。出力した NFM 利用者情報の一覧ファイルを使用して一括登録する際は、再度それらの情報を補足してから実施してください。

1. NFM 利用者情報の一覧ファイル (CSV ファイル) をエクスポート

(※別章「[7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力](#)」を参照)

※NFM 利用者情報の一覧ファイル出力で出力された CSV ファイルは、Shift_JIS で作成されます。NFM 利用者情報の一覧ファイルの文字コードは、Shift_JIS と UTF-8 (BOM なし) をサポートしています。

↓

2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備

NFM 利用者の顔画像ファイルを jpg または png、bmp 形式で準備します。

(別章「[5.2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備](#)」を参照)

※顔画像の登録に関しては、事前にシステム管理者から各 NFM 利用者に対して 氏名などの個人情報とあわせて顔画像を登録することの同意を取得してください。

(NFM 利用者情報の一括登録での顔画像登録は上記合意を取得済とみなします)

↓

3. エクスポートした NFM 利用者情報の一覧ファイル (CSV ファイル) を編集

1. CSV ファイルの編集内容は、以下の章を参照してください。

※「[5.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル \(CSV ファイル\) の作成](#)」

↓

2. ログイン中の NFM 利用者の NFM 利用者情報の行を削除する。

※自分自身の権限設定を変更することはできないため

↓

¹ NFM 利用者情報のみ登録する場合は、顔画像ファイルは不要です。

5. NFM 利用者情報の一括登録

4. 利用者情報・顔画像の圧縮ファイル（ZIP ファイル）を作成
※圧縮ファイルによる一括登録を行わない場合は作成不要です。
圧縮ファイル作成の詳細は、「[5. 3. NFM 利用者情報・顔画像の圧縮ファイル作成](#)」
を参照してください。
5. NFM 利用者の一括登録を実施
※NFM 利用者の一括登録の操作方法は、「[5. 4. NFM 利用者一括登録の実行](#)」を参照
してください。

↓

※管理ポータルを操作している Windows 端末に NeoFace Monitor クラウド版クライアントソフトがインストールされていない場合、顔画像情報の一括登録を行うことができません。

5.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）の作成

エクスポートした NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）を以下の表に従って、項目の値を修正する必要があります。

- ・NFM 利用者を新規登録する場合は、「新規登録時」の列を参照してください。
- ・既存の NFM 利用者情報を更新する場合は、「変更時」の列を参照してください。

CSV ファイルの設定項目一覧

項目名	NFM 利用者情報の修正方法	
	新規登録時	変更時
削除	削除の列に""を記入してください。	NFM 利用者を削除する場合のみ、"D"を記入してください。
NFM 利用者 ID	NFM 利用者 ID の列に登録する NFM 利用者 ID を記入してください。	値を変更しないでください。
パスワード	パスワードの列に登録する値を記入してください。 例) abc012xyz ※"YES"、"NO"、"RESET"の値はパスワードの値には設定できません。	パスワードを変更する場合のみ、パスワードの列に登録する値を記入してください。 例) abc012xyz ※"YES"、"NO"、"RESET"の値はパスワードの値には設定できません。 ※"RESET"の値を指定した場合、パスワードがリセットされ、通知メールが送信されます。
NFM 利用者（姓）	登録する NFM 利用者（姓）を記入してください。登録しないときは""を記入してください。	NFM 利用者（姓）を変更する場合のみ、NFM 利用者（姓）の列に登録する値を記入してください。
NFM 利用者（ミドルネーム）	登録する NFM 利用者（ミドルネーム）を記入してください。登録しないときは""を記入してください。	NFM 利用者（ミドルネーム）を変更する場合のみ、NFM 利用者（ミドルネーム）の列に登録する値を記入してください。
NFM 利用者（名）	登録する NFM 利用者（名）を記入してください。登録しないときは""を記入してください。	NFM 利用者（名）を変更する場合のみ、NFM 利用者（名）の列に登録する値を記入してください。
メールアドレス	メールアドレスの列に登録する値を記入してください。（同じメールアドレスを複数の利用者に設定することはできません）	メールアドレスを変更する場合のみ、メールアドレスに登録する値を記入してください。（同じメールアドレスを複数の利用者に設定することはできません）
表示画像	表示画像の列に顔画像の保存パスを記入してください。	表示顔画を変更する場合のみ、表示画像の列に顔画像の保存パスを記入してください。
学習画像	学習画像の列に"NO"を記入してください。	一括登録から登録できない項目なので、値を変更しないでください。
代行入力機能使用有無 FL	代行入力機能使用有無 FL の列に以下の値を記入してください。 許可する場合は、"1"を記入してください。 許可しない場合は、"0"を記入してください。	アプリログイン代行認証の許可を変更する場合のみ、代行入力機能使用有無 FL の列に登録する値を記入してください。

5. NFM 利用者情報の一括登録

認証方式 FL	認証方式 FL の列に以下の値を記入してください。 認証無し(シングルサインオン)の場合は、“0”を記入してください。 顔認証の場合は、“1”を記入してください。 顔+パスワード認証の場合は、“2”を記入してください。	認証方式を変更する場合のみ、認証方式 FL の列に登録する値を記入してください。
認証失敗時操作 FL	認証失敗時操作 FL の列に以下の値を記入してください。 ログイン画面認証とする場合は、“0”を記入してください。 再認証する場合は、“1”を記入してください。	認証失敗時操作を変更する場合のみ、認証失敗時操作 FL の列に登録する値を記入してください。
常時認証一時停止許可 FL	常時認証一時停止許可 FL の列に以下の値を記入してください。 許可する場合は、“1”を記入してください。 許可しない場合は、“0”を記入してください。	常時認証一時停止の許可を変更する場合のみ、常時認証一時停止許可 FL の列に登録する値を記入してください。
管理者	管理者の列に以下の値を記入してください。 システム管理者として登録する場合は、“1”を記入してください。 一般ユーザとして登録する場合は、“0”を記入してください。	NFM 利用者の権限を変更する場合のみ、値を変更してください。
グループ ID1	登録するグループ ID を記入してください。	グループ ID を変更する場合のみ、グループ ID の列に登録する値を記入してください。
グループ名 1	登録するグループ名を記入してください。	グループ名を変更する場合のみ、グループ名の列に登録する値を記入してください。
グループ管理者 FL1	グループ管理者 FL1 の列に以下の値を記入してください。 グループ管理者として登録する場合は、“1”を記入してください。 一般ユーザとして登録する場合は、“0”を記入してください。	グループ管理者との権限を変更する場合のみ、値を変更してください。

グループ ID5	グループ ID1 と同様	グループ ID1 と同様
グループ名 5	グループ名 1 と同様	グループ名 1 と同様
グループ管理者 FL5	グループ管理者 FL1 と同様	グループ管理者 FL1 と同様
Windows アカウント名 1	ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合 Windows アカウント名 1 の列に Windows アカウント名の値を記入してください。 ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合	Windows アカウント名 1 を変更する場合は、以下の値を記入してください。 ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合 Windows アカウント名 1 の列に

5. NFM 利用者情報の一括登録

	<p>Windows アカウント名 1 の列に表示名の値を記入してください。</p>	<p>Windows アカウント名の値を記入してください。 ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合 Windows アカウント名 1 の列に表示名の値を記入してください。</p> <p>Windows アカウント 1 を削除する場合は、Windows アカウント名 1 の列の値を“”に変更してください。</p>
コンピュータ名またはドメイン名 1	<p>ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合 コンピュータ名またはドメイン名 1 の列にコンピュータ名またはドメイン名の値を記入してください。 ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合コンピュータ名またはドメイン名 1 の列に Azure AD ドメイン名の値を記入してください。</p>	<p>コンピュータ名またはドメイン名を変更する場合は、以下の値を記入してください。 ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合 コンピュータ名またはドメイン名 1 の列にコンピュータ名またはドメイン名の値を記入してください。 ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合コンピュータ名またはドメイン名 1 の列に Azure AD ドメイン名の値を記入してください。</p> <p>Windows アカウント 1 を削除する場合は、コンピュータ名またはドメイン名 1 の値を“”に変更してください。</p>
ユーザプリンシパル名 1	ユーザプリンシパル名 1 の列にユーザプリンシパル名 1 の値を記入してください。	<p>ユーザプリンシパル名 1 を変更する場合は、ユーザプリンシパル名 1 の列にユーザプリンシパル名 1 の値を記入してください。</p> <p>Windows アカウント 1 を削除する場合は、ユーザプリンシパル名 1 の値を“”に変更してください。</p>
ローカル Windows アカウント FL1	<p>ローカル Windows アカウント FL1 の列に以下の値を記入してください。 ローカル Windows アカウントの場合は、“1”を記入してください。 ドメインアカウントの場合は、“0”を記入してください。 Azure AD ドメインアカウントの場合は、“2”を記入してください。 Hybrid Azure AD Join 環境で使用する場合、端末にはドメインアカウントでログオンする必要</p>	<p>ローカル Windows アカウント FL を変更する場合は、ローカル Windows アカウント FL1 の列に以下の値を記入してください。 ローカル Windows アカウントの場合、“1”を記入してください。 ドメインアカウントの場合は、“0”を記入してください。 Azure AD ドメインアカウントの場合、“2”を記入してください。 Hybrid Azure AD Join 環境で使用する場合、端末にはドメインアカウントでログオンする必要があ</p>

5. NFM 利用者情報の一括登録

	<p>があるため、ドメインアカウントの値を記入してください。</p>	<p>るため、ドメインアカウントの値を記入してください。</p> <p>Windows アカウント 1 を削除する場合は、ローカル Windows アカウント FL1 の値を""に変更してください。</p>
Windows パスワード 1	<p>ローカル Windows アカウント FL1 で"0"または"1"を選択した場合 Windows パスワード 1 の列に Windows パスワードの値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウント FL1 で"2"を選択した場合 Windows パスワード 1 の列に Azure AD パスワードの値を記入してください。</p> <p>例) abc012xyz ※"YES"、"NO"の値はパスワードの値には設定できません。</p>	<p>Windows パスワードを変更する場合、または以下の項目(※2)を変更した場合は、Windows パスワード 1 の列に以下の値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウント FL1 で"0"または"1"を選択した場合 Windows パスワード 1 の列に Windows パスワードの値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウント FL1 で"2"を選択した場合 Windows パスワード 1 の列に Azure AD パスワードの値を記入してください。</p> <p>例) abc012xyz ※"YES"、"NO"の値はパスワードの値には設定できません。 パスワードの値をクリアする場合は、""を記入してください。 ※2:「Windows アカウント名 1」、「コンピュータ名またはドメイン名 1」、「ローカル Windows アカウント FL1」</p> <p>Windows アカウント 1 を削除する場合は、Windows パスワード 1 の値を""に変更してください。</p>

:		
Windows アカウント名 5	Windows アカウント名 1 と同様	Windows アカウント名 1 と同様
コンピュータ名またはドメイン名 5	コンピュータ名またはドメイン名 1 と同様	コンピュータ名またはドメイン名 1 と同様
ユーザプリンシパル名 5	ユーザプリンシパル名 1 と同様	ユーザプリンシパル名 1 と同様
ローカル Windows アカウント FL5	ローカル Windows アカウント FL1 と同様	ローカル Windows アカウント FL1 と同様
Windows パスワード 5	Windows パスワード 1 と同様	Windows パスワード 1 と同様

※Windows アカウントは左詰めで記入してください。

※Windows アカウント情報は NFM 利用者 1 名につき最大 5 件まで設定可能です。

※一回にインポートできる CSV データ件数の上限は 1000 件です。

※「ドメイン名」、「Azure AD ドメイン名」は、[コントロール パネル] - [ユーザー アカウント] で確認することが可能です。

確認方法

5. NFM 利用者情報の一括登録

- ① タスクバーの検索に”コントロール パネル”と入力し、検索結果よりコントロール パネルを選択し、コントロール パネルを起動する。
- ② ユーザー アカウントを選択する。
- ③ ドメイン名を確認する。

※「ドメイン名」、「Azure AD ドメイン名」の文字数は、NeoFace Monitor の制限があり、201 文字以内にしてください。

※パスワードのリセットを行う場合、NFM 利用者にメールアドレスが設定されていれば NFM 利用者宛に通知メールが送信されます。メールアドレスが設定されていなければシステム管理者宛に通知メールが送信されます。（利用開始メール送付設定の設定で、システム管理者宛にメールを送付しない設定をしても通知メールが送信されます。）

利用開始メール送付設定の設定については、「[9.7. 利用開始メール送付設定の設定](#)」をご参照ください。

5.2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備

NFM 利用者一括登録に使用する顔画像ファイルを準備します。

顔撮影のときは下記に注意してください。

- ・ カメラに向かって正面を向いてください。
- ・ 顔をはっきり映してください。

全体が暗いか、影などで顔がはっきり映っていない場合は、明るさを調整してください。
また、背後に太陽光や照明の映り込みがある場合は、光源が入り込まないようにして
ください。

- ・ まばたきをしないでください。
- ・ サングラスやマスクをしないでください。

※顔画像の登録に関しては、事前にシステム管理者から各 NFM 利用者に対して
氏名などの個人情報とあわせて顔画像を登録することの同意を取得してください。
(NFM 利用者情報の一括登録での顔画像登録は上記合意を取得済とみなします)

5.3. NFM 利用者情報・顔画像の圧縮ファイル作成

NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）と顔画像ファイルを ZIP 形式で圧縮した
ファイルを作成します。（圧縮ファイルを使用せずに一括登録を実行することも可能なので
必須ではありません。）

CSV ファイルの形式は圧縮ファイルを使用する場合でも同じです。

圧縮ファイルを使用する場合/使用しない場合の違い

項目名	圧縮ファイルの使用	
	使用する場合	使用しない場合
NFM 利用者情報の 一覧ファイル (CSV ファイル)	CSV ファイルを圧縮ファイルに格 納してください	CSV ファイルを一括登録で指定し て実行します
顔画像ファイル	圧縮ファイルに格納してください	顔画像の保存パスに保存してく ださい
一括登録の実行	圧縮ファイルを指定して実行しま す	CSV ファイルを指定して実行しま す
クライアントソフ トの有無	クライアントソフトがインストー ルされていない場合でも顔画像の 登録が可能です	クライアントソフトがインストー ルされていない場合は顔画像の登 録を行うことができません
一括登録実行中の 画面遷移	一括登録実行中でも他画面への遷 移が可能ですが（遷移した場合でも バックエンドで一括登録は継続さ れています）	一括登録実行中は他画面への遷移 はできません

※圧縮ファイル内はフォルダ階層を作成せずに CSV ファイルと顔画像ファイルを格納して
ください。CSV ファイルの名前は import.csv としてください。

5.4. NFM 利用者一括登録の実行

メニューエリアから「インポート/エクスポート」を押下し、続いて「NFM 利用者一括登録の実行」を押下し、NFM 利用者一括登録画面を表示します。

NFM 利用者一括登録は、NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）を使用して実行、または CSV ファイルおよび顔画像ファイルを ZIP 形式で圧縮したファイル（ZIP ファイル）を使用して実行することが可能です。

CSV ファイルまたは zip ファイルをドロップエリアにドロップ、または「ファイルを選択」ボタンを押下して対象のファイルを選択後、「一括登録する」ボタンを押下すると取込を開始します。

NFM 利用者一括登録画面



5.4.1. CSV ファイルを使用して実行する場合

NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）を使用して実行する場合、当画面でのリアルタイム実行となります。実行中に他画面へ遷移を行うと処理が中断します。

※実行時間は登録する画像の種類やサイズによって異なります。

また、CSV ファイルの件数やネットワークの通信速度の状態によっては実行時間が長くかかる場合があります。

画像 1 枚あたりの実行時間の目安

5MP (2560x1920) bmp ファイル	:	5~7 秒
5MP (2560x1920) jpg ファイル	:	1~3 秒
5MP (2560x1920) png ファイル	:	3~5 秒
VGA (640x480) bmp ファイル	:	1~3 秒
VGA (640x480) jpg ファイル	:	1~3 秒
VGA (640x480) png ファイル	:	1~3 秒

5. NFM 利用者情報の一括登録

※実行中に日付が変わる場合、NFM 利用者一括登録がエラーとなります。実行中に日付が変わらないようご注意ください。

NFM 利用者一括登録が完了すると完了画面が表示されます。

NFM 利用者一括登録完了画面



利用者の新規登録を行う場合、NFM 利用者にメールアドレスが設定されれば NFM 利用者宛に通知メールが送信されます。メールアドレスが設定されていなければ、通知メール送付の有無は利用開始メール送付設定の設定に従います。

利用開始メール送付設定の設定については、「[9.7. 利用開始メール送付設定の設定](#)」をご参照ください。

利用者の更新の場合は、通知メール送付は行われません。

パスワードのリセットを行う場合、CSV ファイルのパスワードの値に“RESET”を指定してください。NFM 利用者にメールアドレスが設定されれば NFM 利用者宛に通知メールが送信されます。メールアドレスが設定されていなければシステム管理者宛に通知メールが送信されます。(利用開始メール送付設定の設定画面で、システム管理者宛にメールを送付しない設定をしても通知メールが送信されます。)

5.4.2. ZIP ファイルを使用して実行する場合

NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）および顔画像ファイルを ZIP 形式で圧縮したファイル（ZIP ファイル）を使用して実行する場合、実行中に他画面への遷移が可能です。（遷移した場合はバックエンドで処理が継続されます）

実行中に他画面に遷移し、当画面に再び戻ってきた場合にはその時点での実行状況が表示されます。（実行中の表示または完了画面の表示となります。）

NFM 利用者一括登録画面（実行中）

NFM 利用者一括登録が完了すると完了画面が表示されます。

NFM 利用者一括登録完了画面

利用者の新規登録を行う場合、NFM 利用者にメールアドレスが設定されていれば NFM 利用者宛に通知メールが送信されます。メールアドレスが設定されていなければ、通知メール送付の有無は利用開始メール送付設定の設定画面に従います。

利用開始メール送付設定の設定については、「[9.7. 利用開始メール送付設定の設定](#)」をご参照ください。

利用者の更新の場合は、通知メール送付は行われません。

パスワードのリセットを行う場合、CSV ファイルのパスワードの値に”RESET”を指定してください。NFM 利用者にメールアドレスが設定されていれば NFM 利用者宛に通知メールが送信されます。メールアドレスが設定されていなければシステム管理者宛に通知メールが送信されます。（利用開始メール送付設定の設定画面で、システム管理者宛にメールを送付しない設定をしても通知メールが送信されます。）

※Zip ファイルを使用して利用者の顔画像を登録した場合、一括登録の終了時点では利用者 ID に該当する顔画像が仮登録の状態となります。

クライアントソフトから顔認証を実行した時点で顔画像が本登録の状態となります。

※CSV ファイルの件数によっては実行時間が長くかかる場合があります。

NFM 利用者 1 件あたりの実行時間の目安 : 1~3 秒

5.4.3. NFM 利用者一括登録エラーメッセージ一覧

NFM 利用者一括登録で発生するエラーメッセージと対処方法について記載します。

エラーメッセージと対処方法一覧

項目	エラーメッセージ	対処方法
NFM 利用者 ID	NFM 利用者 ID の形式が正しくありません。	NFM 利用者 ID が空欄、256 文字を超過している場合に表示されます。 2 文字以上 256 文字以下の NFM 利用者 ID を記入してください。
	NFM 利用者 ID は半角英数字、記号のみ利用できます。	NFM 利用者 ID に半角英数字以外の文字が含まれる場合に表示されます。 半角英数字、以下の記号で構成された NFM 利用者 ID を記入してください。 ! \$ & * + , - . : ; < = > @ [] ^ _ { } ~
パスワード	パスワードは 8 文字以上で入力してください。	利用者登録において、パスワードが未記入、または 7 文字以下の場合に表示されます。 8 文字以上のパスワードを記入してください。
	パスワードの形式が正しくありません。	パスワードに半角英数字、記号以外の文字が含まれている、または 256 文字以上の場合に表示されます。 255 文字以下の半角英数字、記号で構成されたパスワードを記入してください。
NFM 利用者名（姓）	NFM 利用者名（姓）の形式が正しくありません。	NFM 利用者名（姓）が 81 文字以上の場合に表示されます。 80 文字以下の NFM 利用者名（姓）を記入してください。
NFM 利用者名（ミドルネーム）	NFM 利用者名（ミドルネーム）の形式が正しくありません。	NFM 利用者名（ミドルネーム）が 81 文字以上の場合に表示されます。 80 文字以下の NFM 利用者名（ミドルネーム）を記入してください。

5. NFM 利用者情報の一括登録

NFM 利用者名（名）	NFM 利用者名（名）の形式が正しくありません。	NFM 利用者名（名）が 81 文字以上の場合に表示されます。 80 文字以下の NFM 利用者名（名）を記入してください。
メールアドレス	メールアドレスは 256 文字以内で入力してください。	メールアドレスが 257 文字以上の場合に表示されます。 256 文字以下のメールアドレスを記入してください。
	システム管理者はメールアドレスが必須です。	管理者に“1”が設定されていてメールアドレスが空白の場合に表示されます。 管理者に“1”が設定されているときはメールアドレスを記入してください。
	メールアドレス形式で入力してください。	メールアドレスがメールアドレス形式でない場合に表示されます。 メールアドレス形式で入力してください。
代行入力機能使用有無 FL	代行入力機能使用有無 FL の形式が正しくありません。	代行入力機能使用有無 FL に“0”、“1”以外の文字が含まれている場合に表示されます。 “0”または“1”を記入してください。
認証方式 FL	認証方式 FL の形式が正しくありません。	認証方式 FL に“0”、“1”、“2”以外の文字が含まれている場合に表示されます。 “0”, “1”, “2”的いずれかを記入してください。
認証失敗時操作 FL	認証失敗時操作 FL の形式が正しくありません。	認証失敗時操作 FL に“0”、“1”以外の文字が含まれている場合に表示されます。 “0”または“1”を記入してください。
常時認証一時停止許可 FL	常時認証一時停止許可 FL の形式が正しくありません。	常時認証一時停止許可 FL に“0”、“1”以外の文字が含まれている場合に表示されます。 “0”または“1”を記入してください。

5. NFM 利用者情報の一括登録

Windows アカウント名	Windows アカウント名 {x} が入力されていません。	Windows アカウント名が記入されてなく、他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 Windows アカウントを記入してください。
	Windows アカウント名 {x} の形式が正しくありません。	Windows アカウント名が、以下の条件を満たさない場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数字、記号 ※以下の記号は使用できません。 “ / ¥[] : ; = , + * ? < > @ ・20 文字以内 ・半角スペースのみではない <p>上記条件を満たす Windows アカウント名を記入してください。</p>
コンピュータ名またはドメイン名	コンピュータ名またはドメイン名 {x} が入力されていません。	コンピュータ名またはドメイン名が記入されてなく、他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 コンピュータ名またはドメイン名を記入してください。
	コンピュータ名またはドメイン名 {x} の形式が正しくありません。	コンピュータ名またはドメイン名が、以下の条件を満たさない場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数字、記号 ※以下の記号は使用できません。 “ / ¥[] : ; = , + * ? < > @ ・Windows アカウント FL が 1 の場合、15 文字以内 ・Windows アカウント FL が 0、または 2 の場合、255 文字以内 ・半角スペースのみではない <p>上記条件を満たすコンピュータ名またはドメイン名を記入してください。</p>
ユーザプリンシバル名	ユーザプリンシバル名 {x} が入力されていません。	ユーザプリンシバル名が記入されてなく、他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 ユーザプリンシバル名を記入してください。

5. NFM 利用者情報の一括登録

	ユーザプリンシパル名 {x} の形式が正しくありません。	ユーザプリンシパル名が 256 文字を超過している場合、または、半角英数字以外の文字が含まれる場合に表示されます。 256 文字以下の半角英数字、記号で構成されたユーザプリンシパル名を記入してください。
ローカル Windows アカウント FL	Windows アカウント FL {x} が入力されていません。	Windows アカウント FL が記入されてなく、その他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 Windows アカウント FL を記入してください。
	Windows アカウント FL {x} の形式が正しくありません。	Windows アカウント FL が、0、1、2 以外の場合に表示されます。 Windows アカウント FL に、0、1、2 のいずれかを記入してください。
Windows パスワード	Windows パスワード {x} が入力されていません。	Windows パスワードが記入されてなく、その他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 Windows パスワードを記入してください。
	Windows パスワード {x} の形式が正しくありません。	Windows パスワードが、以下の条件を満たさない場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 127 文字以内 ・ 半角英数字、記号 <p>※NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応しておりません。Windows パスワードは 63 文字以内で記入してください。</p> <p>上記条件を満たす Windows パスワードを記入してください。</p>
削除	削除列の形式が正しくありません。	削除列に” D” 以外の文字が記入された場合に表示されます。 削除列は空欄、または” D” を記入してください。

5. NFM 利用者情報の一括登録

NFM 利用者 ID	利用者 ID と一致する利用者が存在しません。	利用者削除の場合に、指定された利用者が見つからない場合に表示されます。 削除対象の利用者が間違いないか、または既に削除済の利用者を削除しようとしてないか、ご確認ください。
	自分自身を削除することはできません。	ログイン中の利用者を削除しようとした場合に表示されます。 削除対象の利用者を除外するか、別の NFM 利用者 ID でログインしてから削除してください。
表示画像	NFM 利用者情報は登録または更新されました BUT 頭画像の処理に失敗しました。	表示画像に記入したファイルパスに画像ファイルが存在しない場合、または NFM 利用者一括登録を実行中の Windows 端末に、NFM クライアントソフトがインストールされてない場合に表示されます。 顔画像の判別ができない場合は、エラーになる場合があります。 登録する顔画像については、「 5.2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備 」をご参照ください。 画像ファイル名やパス名が正しくない場合は修正してください。 NFM クライアントソフトがインストールされてない場合は、インストールしてください。
-	処理が中断されました。	NFM 利用者一括登録中、中断した場合に表示されます。 必要に応じて再度 NFM 利用者一括登録を実行してください。

※Windows アカウントに関する {x} という表記は、紐づけ登録できるアカウント 1~5 の数字を指します。

※上記にないエラーは、サポート窓口にお問い合わせください。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6.1. NFM 利用者一覧の表示

NFM 利用者の一覧を確認することができます。

メニューエリアから「NFM 利用者管理」を押下し、NFM 利用者一覧画面を表示します。

The screenshot shows the 'NFM User List' page. On the left is a sidebar with navigation links like 'NFM User Management', 'Log View', 'Settings', etc. The main area has a table with columns: 'NFM User ID', '姓', 'ミドルネーム', '名', 'NFM User Name', 'Email Address', 'Status', and two buttons: '代行認証一覧' and '変更する'. A search bar is at the top right. Below the table are buttons for '検索結果削除' (Delete), '検索結果一覧' (Search Results List), '検索結果件数' (Number of Search Results), and 'ページング' (Paging). A note at the bottom says '24773件中1-100件'.

項目レイアウト

項目名	説明
検索条件展開ボタン	NFM 利用者の検索条件欄を展開表示します。
検索結果一覧	検索結果の一覧です。
検索結果件数	検索結果の行数です。
ページング	一覧の表示しているページを切替えます。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6.1.1. NFM 利用者の検索条件

検索条件欄を展開表示します。変更する場合は、検索条件を入力してください。「検索する」ボタンを押下すると、検索条件に沿った検索結果一覧を表示します。

The screenshot shows the 'NFM利用者一覧' (NFM User List) page. On the left is a sidebar with navigation links: 'NFM利用者管理', 'ログビューア', '設定', '利用者情報連携管理', 'インポート/エクスポート', 'ライセンスキーマネジメント', 'ワンタイムパスワード発行', and '接続許可IPアドレス'. The main area has a title 'NFM利用者一覧' with a search icon. Below it is a '検索条件入力' (Search Condition Input) section containing fields for 'NFM利用者ID', 'NFM利用者名', 'メールアドレス', 'グループID', 'グループ名', and '管理者' (with radio buttons for 'システム管理者', 'グループ管理者', and '指定しない'). There are also sections for '所属グループの有無', '顔画像登録', and '紐付けWindowsアカウントの有無'. At the bottom are '検索する' (Search) and 'クリアする' (Clear) buttons.

NFM 利用者一覧の検索条件

項目名	検索内容
NFM 利用者 ID	検索する NFM 利用者 ID を入力します（部分一致）。
NFM 利用者名	検索する NFM 利用者名を入力します（部分一致）。
メールアドレス	検索するメールアドレスを入力します（部分一致）。
グループ ID	検索するグループ ID を入力します（部分一致）。
グループ名	検索するグループ名を入力します（部分一致）。
管理者	管理者に関する条件を設定します。
所属グループの有無	所属グループの有無に関する条件を設定します。
顔画像登録	顔画像登録の有無または仮登録に関する条件を設定します。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

紐付け Windows アカウントの有無	紐付け Windows アカウントの有無に関する条件を設定します。
検索するボタン	検索条件による検索を実行します。
クリアするボタン	検索条件をクリアします。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6.1.2. NFM 利用者の一覧項目

NFM 利用者一覧の各項目について説明します。

NFM利用者一覧								
	NFM利用者名	姓	ミドルネーム	名	メールアドレス	状態		
<input type="checkbox"/>	client_3669_test_2	test		2		▲	<button>代行認証一覧</button>	<button>変更する</button>
<input type="checkbox"/>	client_3669_test_1	test		1		▲	<button>代行認証一覧</button>	<button>変更する</button>
<input type="checkbox"/>	client_update_test_bis_4@example.com	test		4	client_update_test_bis_4@example.com	▲	<button>代行認証一覧</button>	<button>変更する</button>
<input type="checkbox"/>	client_update_test_bis_3	test		3	client_update_test_bis_3@example.com	▲	<button>代行認証一覧</button>	<button>変更する</button>
<input type="checkbox"/>	client_update_test_bis_2	test		2		▲	<button>代行認証一覧</button>	<button>変更する</button>
<input type="checkbox"/>	client_face_test_bis_4@example.com	test		4	client_face_test_bis_4@example.com	▲	<button>代行認証一覧</button>	<button>変更する</button>
<input type="checkbox"/>	client_update_test_bis_1	test		1		▲	<button>代行認証一覧</button>	<button>変更する</button>

24772件中1-100件 1 2 3 4 5 ... > »

■ 削除する ▶ パスワード再発行

一覧表示の項目

項目名	表示内容
選択チェックボックス	利用者を削除する際の対象を選択します。
NFM 利用者 ID	NFM 利用者 ID です。
NFM 利用者名（姓）	NFM 利用者名（姓）です。
NFM 利用者名（ミドルネーム）	NFM 利用者名（ミドルネーム）です。
NFM 利用者名（名）	NFM 利用者名（名）です。
メールアドレス	メールアドレスです。
顔画像	顔画像が登録されている場合はアイコンを表示します アイコンを押下すると、顔情報の詳細画面へ遷移します。(*1) ※顔画像の登録状況によって、表示されるアイコンの色が異なります。 本登録：青色のアイコンが表示されます。 仮登録：黄色のアイコンが表示されます。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

管理者	管理者の場合はアイコンを表示します。
アプリログイン代行認証	利用者のアプリログイン代行認証が許可されている場合はアイコンを表示します。
認証方法	利用者のアプリログイン代行認証の認証方法を表示します。
認証失敗時の動作	利用者のアプリログイン代行認証の認証失敗時の動作を表示します。
常時認証の一時停止を許可する	利用者による常時認証の一時停止が許可されている場合はアイコンを表示します。
グループ ID (*2)	利用者のグループ ID を表示します。
グループ名 (*2)	利用者のグループ名を表示します。
グループ管理者 (*2)	利用者がグループ管理者に設定されている場合はアイコンを表示します。
Windows アカウント名 (*3)	「Windows アカウント種別」で「ローカル」または「ドメイン」を選択し登録された場合は、紐付け登録した Windows アカウント名です。 「Windows アカウント種別」で「Azure AD」を選択し登録された場合は、紐付け登録した表示名です。
コンピュータ名 (*3)	紐付け登録したコンピュータ名です。 ※「Windows アカウント種別」で「ローカル」を選択し登録された場合のみ値が表示されます。
ドメイン名 (*3)	「Windows アカウント種別」で「ドメイン」を選択し登録された場合は、紐付け登録したドメイン名です。 「Windows アカウント種別」で「Azure AD」を選択し登録された場合は、紐付け登録した Azure AD ドメイン名です。 ※「Windows アカウント種別」で「ドメイン」または「Azure AD」を選択し登録された場合のみ値が表示されます。
ユーザプリンシパル名 (*3)	紐付け登録したユーザプリンシパル名です。 ※「Windows アカウント種別」で「Azure AD」を選択し登録された場合のみ値が表示されます。
登録日時	利用者の登録日時です。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

状態	利用者の下記設定の状態を表示します。 ・顔画像登録の有無 ・紐づけ Windows アカウントの有無
----	--

(*1) Zip ファイルを使用した利用者一括登録で利用者の顔画像を登録した場合、または「Bio-IDiom Services for SaaS」・「Bio-IDiom Services ID 連携」でメンバー情報および顔画像・生体情報が登録された場合、登録終了時点では利用者 ID に該当する顔画像は仮登録の状態となります。クライアントソフトから顔認証を実行した時点で、クライアント端末が「オンライン」の場合、本登録の状態となります。

Zip ファイルを使用した利用者一括登録については「5. NFM 利用者情報の一括登録」をご覧ください。

「Bio-IDiom Services for SaaS」・「Bio-IDiom Services ID 連携」については「12. 外部システム連携」をご覧ください

(*2) 登録したグループ#1～#5 の情報を表示します。

(*3) 紐づけ登録した Windows アカウント#1～#5 の情報を表示します。

6.1.3. NFM 利用者の顔情報詳細

顔画像が登録されている場合、NFM 利用者一覧の顔画像アイコンを押下すると顔情報詳細画面が表示されます。

顔情報詳細画面の表示項目

項目名	表示内容
選択チェックボックス	利用者を削除する際の対象を選択します。
NFM 利用者 ID	NFM 利用者 ID です。
NFM 利用者名	NFM 利用者の氏名です。
顔画像（表示画像）	顔認証の対象となる画像です。 仮登録の場合は 仮登録 のラベルが表示されます。
更新日時（表示画像）	顔画像（表示画像）が更新された日時です。
顔画像（学習画像）	顔認証の精度向上のために自動的に保存されている画像です。（画像の自動保存がまだ行われていない場合は の画像が表示されます）
更新日時（学習画像）	顔画像（学習画像）が更新された日時です。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

顔画像を保持しない場合、顔画像の代わりにダミー画像が表示されます。

The screenshot displays the 'User Information Details' page of the NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal. On the left sidebar, there are several menu items: NFM User Management, Log Viewer, Settings, User Connection Management, Import/Export, License Key Management, One-time Password Generation, and IP Address Permission. The main content area is titled 'User Information Details'. It shows the following information:

NFM User ID	client_3669_test_2
NFM User Name	test 2

Below this, there are two sections:

- Display Image**: Shows a placeholder icon labeled "Dummy". Below it, the text "Updated Date" and "2025/04/08 11:04" are displayed. A red button labeled "Delete" is present.
- Learning Image**: Shows a placeholder icon labeled "NO PHOTO". Below it, the text "Updated Date" and "...../...../....." are displayed. A red button labeled "Delete" is present.

At the bottom left of the main content area, there is a link labeled "Return to NFM User List".

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6.1.4. NFM 利用者の顔画像削除

削除したい画像の「削除する」ボタンを押下します。



確認用ダイアログにて「削除する」ボタンを押下すると、対象の顔画像が削除されます。

※顔画像を削除すると顔認証によるログインやロック解除が実行できません。

顔情報詳細画面（削除：確認ダイアログの表示）



6.2. NFM 利用者情報の変更

変更したい行の「変更する」ボタンを押下すると、変更用ダイアログが表示されます。

NFM 利用者一覧画面（変更の例：初期状態）

The screenshot shows the NeoFace Monitor Cloud版 Management Portal. On the left, there's a sidebar with various management options like 'NFM利用者管理', 'ログビューア', '設定', etc. The main area is titled 'NFM利用者一覧' and displays a table of users. The table columns include 'NFM利用者ID', '姓', 'ミドルネーム', '名', and 'メールアドレス'. Each row has a checkbox, a '代行認証一覧' button, and a '変更する' button. A yellow callout box labeled ① '変更するボタンを押下' points to one of these '変更する' buttons. At the bottom, there are buttons for '削除する' and 'パスワード再発行', and a pagination bar showing 24773件中1-100件.

項目の値を変更し、「保存する」ボタンを押下してください。

NFM 利用者一覧画面（入力可状態の例）

This screenshot shows the same NFM User List page, but with a modal dialog box open over it. The dialog is titled 'Windowsアカウント種別' and contains fields for 'Windowsアカウント種別' (Local, Domain, Azure AD), 'Windowsパスワード', and 'コンピュータ名'. It also includes a note: '※新規登録時は必須。変更する場合のみ入力不要です。'. The dialog has a 'キャンセル' and a '保存する' button. A yellow callout box labeled ② '変更用のダイアログが表示されます' points to the dialog. Another yellow callout box labeled ③ '入力後に保存するボタンを押下' points to the '保存する' button.

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6.3. NFM 利用者情報の削除

削除したい行にチェックを入れて「削除する」ボタンを押下します。

NFM 利用者一覧画面（削除の例：初期状態）

The screenshot shows the 'NFM User List' page. On the left is a sidebar with navigation links: 'NFM利用者管理', 'ログビューア', '設定', '利用者情報連携管理', 'インポート/エクスポート', 'ライセンスキー管理', 'ワンタイムパスワード発行', and '接続許可IPアドレス'. The main area is titled 'NFM利用者一覧' and contains a table with user data. A yellow callout box labeled ① '対象行にチェックを入れる' points to a row where the checkbox is checked. Another yellow callout box labeled ② '削除するボタンを押下' points to the red 'Delete' button at the bottom of the table.

確認用ダイアログにて「削除する」ボタンを押下すると、対象の行が削除されます。

※システム管理者の人数がゼロになってしまうような更新は実行できません。
(更新時にエラーとなります)

NFM 利用者一覧画面（削除：確認ダイアログの表示）

The screenshot shows the 'NFM User List' page with a confirmation dialog box overlaid. The dialog has a title '確認' (Confirmation) and a message '選択されたNFM利用者情報を削除します。' (The selected NFM user information will be deleted.) followed by '※NFM利用者に基づくWindowsアカウント情報は削除されません。' (※Information based on NFM users will not be deleted). At the bottom of the dialog are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and a red '削除する' (Delete) button. A yellow callout box labeled ③ '確認用のダイアログが表示されます' points to the dialog. Another yellow callout box labeled ④ '削除するボタンを押下' points to the red 'Delete' button in the dialog.

6.4. アプリログイン代行認証

アプリログイン代行認証が許可されている NFMC 利用者の行の「代行認証一覧」ボタンを押下すると、アプリログイン代行認証一覧画面が表示されます。

最初の状態では、アプリログイン代行認証の設定は登録されていません。

アプリログイン代行認証一覧画面（初期状態）

※システム管理者は全 NFMC 利用者のアプリログイン代行認証を設定することができます。

グループ管理者は自グループに所属する利用者のアプリログイン代行認証を設定することができます。

一般ユーザーは自分のアプリログイン代行認証を設定することができます。

一覧表示の項目

項目名	表示内容
選択チェックボックス	アプリログイン代行認証の設定を削除する際の対象を選択します。
管理者	システム管理者によって登録された行の場合はアイコンが表示されます。
アプリケーション名	アプリケーション名です。
タイトル/ダイアログ名	タイトル/ダイアログ名です。
URL/ファイルパス	URL/ファイルパスです。
許可	設定を変更する許可の有無です。

6.4.1. アプリログイン代行認証の新規登録

アプリログイン代行認証の設定の新規登録は、「アプリログイン代行認証の反映」画面またはNFMクラウド版クライアントソフトから行います。

「アプリログイン代行認証の反映」画面からの新規登録の詳細は、「6.4.5. アプリログイン代行認証の反映」をご参照ください。

NFMクラウド版クライアントソフトからの新規登録の詳細は、『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「8. アプリログイン代行認証の登録」をご参照ください。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6.4.2. アプリログイン代行認証の変更

変更したい行の「詳細」ボタンを押下すると、変更用ダイアログが表示されます。

アプリログイン代行認証一覧画面（変更の例：初期状態）

管理者	アプリケーション名	タイトル/ダイアログ名	URL/ファイルパス	許可なし
	bbb	あああ	aaa	許可なし

項目の値を変更し、「確定」ボタンを押下してください。

アプリログイン代行認証詳細画面（入力可状態の例）

許可 編集可 削除可

入力欄 パスワード対象

....	<input type="checkbox"/>	許可
test	<input type="checkbox"/>	許可なし
test	<input type="checkbox"/>	
test	<input type="checkbox"/>	

クリック する しない

登録

次へ

確定 キャンセル

※システム管理者・グループ管理者が登録した行は、管理者の列にアイコンが表示されています。

システム管理者・グループ管理者が登録した行について、一般ユーザーが変更できるようになる場合は、許可チェックボックス（編集可）をチェックします。

許可チェックボックス（編集可）にチェックを入れない場合、一般ユーザーは変更できません。

一般ユーザーが登録した行は許可設定に関わらず、登録したユーザー自身による変更が可能です。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6.4.3. アプリログイン代行認証の削除

削除したい行にチェックを入れて「削除する」ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証一覧画面（削除の例：初期状態）

The screenshot shows the 'Application Login Delegation Authentication List' page. On the left, there's a sidebar with various management options like 'NFM User Management', 'Log Viewer', and 'Setting'. The main area has a search bar with 'NFM User ID: test20250101@ncontr.com'. Below it is a table with columns: 管理者 (Manager), アプリケーション名 (Application Name), タイトル/ダイアログ名 (Title/Dialog Name), URL/ファイルパス (URL/File Path), and 許可 (Permission). A single row is selected, showing '管理者' with a crown icon, 'bbb' as the application name, 'あああ' as the title/dialog name, 'aaa' as the URL/file path, and '許可なし' (No permission) as the permission level. A blue callout box labeled ①対象行にチェックを入れる (Check the target row) points to the checkbox in the '管理者' column. Another blue callout box labeled ②削除するボタンを押下 (Press the delete button) points to the red 'Delete' button at the bottom of the table.

確認用ダイアログにて「削除する」ボタンを押下すると、対象の行が削除されます。

アプリログイン代行認証一覧画面（削除：確認ダイアログの表示）

This screenshot shows the same list page after a row has been selected for deletion. A confirmation dialog box titled '確認' (Confirmation) is overlaid on the page, containing the message '選択された項目を削除します。' (The selected item will be deleted). In the bottom right corner of the dialog, there is a red 'Delete' button. A blue callout box labeled ③確認用のダイアログが表示されます (The confirmation dialog is displayed) points to the dialog box. Another blue callout box labeled ④削除するボタンを押下 (Press the delete button) points to the red 'Delete' button within the dialog.

※システム管理者・グループ管理者が登録した行は、管理者の列にアイコンが表示されています。

システム管理者・グループ管理者が登録した行について、一般ユーザーが削除できるようになる場合は、アプリログイン代行認証詳細画面で、許可チェックボックス（削除可）にチェックを入れます。

許可チェックボックス（削除可）にチェックを入れない場合、一般ユーザーは削除できません。

一般ユーザーが登録した行は許可設定に関わらず、登録したユーザー自身による削除が可能です。

6.4.4. アプリログイン代行認証一覧の出力

アプリログイン代行認証一覧出力機能を使用して、アプリログイン代行認証情報の一覧をファイル出力可能です。

メニューエリアから「インポート/エクスポート」を押下し、続いて「アプリログイン代行認証一覧の出力」を押下し、アプリログイン代行認証情報の出力画面を表示します。

「出力する」ボタンを押下すると出力を開始します。

※システム管理者が実行する場合は、登録されているすべてのアプリログイン代行認証情報が出力されます。

※グループ管理者が実行する場合は、自分がグループ管理者になっているグループ内のNFM利用者に対するアプリログイン代行認証情報が出力されます。

アプリログイン代行認証一覧の出力画面

項目レイアウト

項目名	出力内容
削除	固定値 “”
管理者登録	管理者に設定されている場合は“1”、設定されていない場合は“0”
利用者 ID	登録されている NFM 利用者 ID
業務アプリ ID	登録されている業務アプリ ID
業務アプリ名	登録されている業務アプリ名

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

画面名称	登録されている画面名称
アプリ管理情報	一般ユーザーが編集・削除不可能な場合は“0”、編集のみ可能な場合は“1”、削除のみ可能な場合は“2”、編集・削除可能な場合は“3”
画面数	登録されている画面数
代行入力情報 1	登録されている代行入力情報 1
パスワード FL1	登録されているパスワード FL1
:	
代行入力情報 5	代行入力情報 1 と同様
パスワード FL5	パスワード FL1 と同様
自動送信 FL	登録されている自動送信 FL
ボタン情報	登録されているボタン情報
自動送信 INDEX	登録されている自動送信 INDEX

※代行入力情報・パスワード FL は NFM 利用者 1 名につき最大 5 件まで出力されます。

6.4.5. アプリログイン代行認証一覧の反映

アプリログイン代行認証一覧反映機能を使用して、アプリログイン代行認証情報を一括登録可能です。

メニューエリアから「インポート/エクスポート」を押下し、続いて「アプリログイン代行認証一覧の反映」を押下し、アプリログイン代行認証一覧の反映画面を表示します。

アプリログイン代行認証情報の一括登録は、アプリログイン代行認証情報の一覧ファイル(CSV ファイル)を使用して実行します。

CSV ファイルをドロップエリアにドロップ、または「ファイルを選択」ボタンを押下して対象のファイルを選択後、「一括登録する」ボタンを押下すると取込を開始します。

※システム管理者が実行する場合は、すべての NFM 利用者に対して一括登録が可能です。

※グループ管理者が実行する場合は、自分がグループ管理者になっているグループ内の NFM 利用者に対して一括登録が可能です。

アプリログイン代行認証一覧の反映画面



- ・アプリログイン代行認証情報を新規登録する場合は、「新規登録時」の列を参照してください。
- ・既存のアプリログイン代行認証情報を更新する場合は、「変更時」の列を参照してください。

CSV ファイルの設定項目一覧

項目名	アプリログイン代行認証情報の設定方法	
	新規登録時	変更時
削除	削除の列に“”を記入してください。	アプリログイン代行認証情報を削除する場合のみ、“D”を記入してください。
管理者登録	一括登録から登録できない項目なので、値を変更しないでください。	一括登録から変更できない項目なので、値を変更しないでください。
利用者 ID	アプリログイン代行認証登録を利用する NFM 利用者 ID を記入してください。	変更したいアプリログイン代行認証情報の NFM 利用者 ID を記入してください。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

業務アプリ ID	アプリログイン代行認証で登録する URL やファイルパスを記入してください。	変更したいアプリログイン代行認証情報の業務アプリ ID を記入してください。
業務アプリ名	アプリログイン代行認証で登録するアプリケーション名を記入してください。	変更したいアプリログイン代行認証情報の業務アプリ名を記入してください。
画面名称	アプリログイン代行認証で登録する画面名称を記入してください。	変更したいアプリログイン代行認証情報の画面名称を記入してください。
アプリ管理情報	一般ユーザーによる編集・削除を不可能とする場合は"0"、編集のみ可能とする場合は"1"、削除のみ可能とする場合は"2"、編集・削除を可能とする場合は"3"を記入してください。	アプリ管理情報を変更する場合のみ、アプリ管理情報の列に登録する値を記入してください。
画面数	アプリログイン代行認証を実施する画面の画面数を 1 から遷移する画面の順に記入してください。	画面数を変更する場合のみ、画面数の列に登録する値を記入してください。
代行入力情報 1	アプリログイン代行認証の 1 つ目の代行認証情報を記入してください。	代行認証情報 1 を変更する場合のみ、代行認証情報 1 の列に登録する値を記入してください。
パスワード FL1	代行認証情報 1 がパスワードの場合は"1"、パスワード以外の場合は"0"を記入してください。	パスワード FL1 を変更する場合のみ、パスワード FL1 の列に登録する値を記入してください。
：	：	：
代行入力情報 5	代行入力情報 1 と同様	代行入力情報 1 と同様
パスワード FL5	パスワード 1 と同様	パスワード 1 と同様
自動送信 FL	自動送信をする場合は"1"、自動送信をしない場合は"0"を記入してください。	自動送信 FL を変更する場合のみ、自動送信 FL の列に登録する値を記入してください。
ボタン情報	自動で送信可能なボタン情報をカンマ区切りで記入してください。	ボタン情報を変更する場合のみ、ボタン情報の列に登録する値を記入してください。
自動送信 INDEX	ボタン情報の何番目のボタンを自動クリックしたいのか 0 から番号を記入してください。	自動送信 INDEX を変更する場合のみ、自動送信 INDEX の列に登録する値を記入してください。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

アプリログイン代行認証一覧の反映が完了すると完了画面が表示されます。

アプリログイン代行認証一覧の反映画面

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

NeoFace Monitor管理ポータル ポータル ドットコム タロウ ▾

アプリログイン代行認証一覧の反映

処理状況
※1件中1件を登録しました。
処理が完了しました。

他のファイルを登録する

結果を見る

結果を保存

NFM利用者管理

ログビューア

設定

利用者情報連携管理

インポート/エクスポート

NFM利用者一覧の出力

NFM利用者一括登録

アプリログイン代行認証一覧の出力

アプリログイン代行認証一覧の反映

ライセンスキー管理

接続許可IPアドレス

6.4.6. アプリログイン代行認証一括登録エラーメッセージ一覧

アプリログイン代行認証一覧の一括登録で発生するエラーメッセージと対処方法について記載します。

エラーメッセージと対処方法一覧

項目	エラーメッセージ	対処方法
削除	削除列の形式が正しくありません。	削除列に”D”以外の文字が記入された場合に表示されます。 削除列は空欄、または”D”を記入してください。
利用者 ID	NFM 利用者 ID の形式が正しくありません。	NFM 利用者 ID が空欄、2 文字未満または 256 文字を超過している場合に表示されます。 2 文字以上 256 文字以下の NFM 利用者 ID を記入してください。
	NFM 利用者 ID は半角英数字、記号しか利用できません。	NFM 利用者 ID に半角英数字以外の文字が含まれる場合に表示されます。 半角英数字、以下の記号で構成された NFM 利用者 ID を記入してください。 ! \$ & * + , - . : ; < = > @ [] ^ _ { } ~
	利用者 ID と一致する利用者が存在しません。	登録されていない NFM 利用者 ID が記入された場合に表示されます。 登録された NFM 利用者 ID を記入してください。
業務アプリ ID	業務アプリ ID の形式が正しくありません。	業務アプリ ID が空欄、または 3000 文字を超過している場合に表示されます。 3000 文字以下の業務アプリ ID を記入してください。
業務アプリ名	業務アプリ名の形式が正しくありません。	業務アプリ名が空欄、または 260 文字を超過している場合に表示されます。 260 文字以下の業務アプリ名を記入してください。
画面名称	画面名称の形式が正しくありません。	画面名称が空欄、または 256 文字を超過している場合に表示されます。 256 文字以下の画面名称を記入してください。
アプリ管理情報	アプリ管理情報の形式が正しくありません。	アプリ管理情報が空欄、0~3 以外の文字を指定している場合に表示されます。 ”0” ”1” ”2” ”3”の何れかの値を指定してください。
画面数	画面数の形式が正しくありません。	画面数に 0~9 以外の文字が記入された場合に表示されます。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

		0~9 の文字で画面数を入力してください。
代行入力情報 {x}	代行入力情報 {x} の形式が正しくありません。	代行入力情報が 256 文字を超過している場合に表示されます。 256 文字以下の代行入力情報を記入してください。
パスワード FL {x}	パスワード FL {x} の形式が正しくありません。	パスワード FL に"0"か"1"以外の文字が記入された場合に表示されます。 "0"か"1"でパスワード FL を記入してください。
自動送信 FL	自動送信 FL の形式が正しくありません。	自動送信 FL に"0"か"1"以外の文字が記入された場合に表示されます。 "0"か"1"で自動送信 FL を記入してください。
ボタン情報	ボタン情報の形式が正しくありません。	ボタン情報が 3000 文字を超過している場合に表示されます。 3000 文字以下のボタン情報を記入してください。
自動送信 INDEX	自動送信 INDEX の形式が正しくありません。	自動送信 INDEX に整数値以外の文字が記入された場合に表示されます。 整数値で自動送信 INDEX を記入してください。

6.5. グループ管理

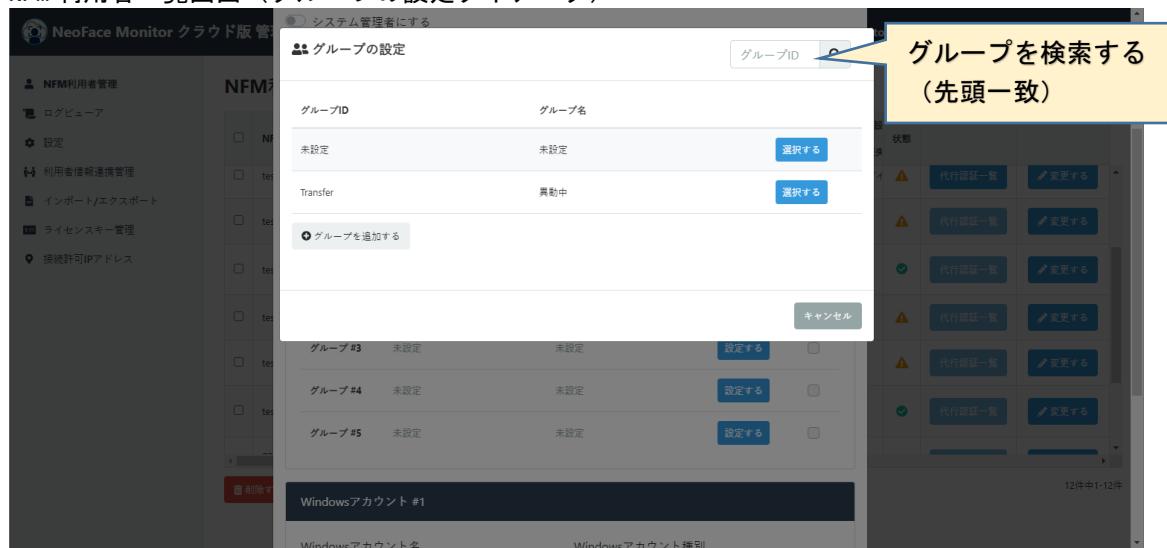
6.5.1. グループの選択

NFM 利用者の登録/更新ダイアログで、グループ設定 グループ#1～#5 の「設定する」ボタンを押下すると、グループの設定ダイアログが表示されます。

NFM 利用者一覧画面（登録/更新ダイアログ）



NFM 利用者一覧画面（グループの設定ダイアログ）



最初の状態では、グループ名「未設定」と「異動中」の行が表示されています。

グループ ID を先頭一致で検索することができます。（英大文字・小文字は区別しません）

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

一覧表示の項目

項目名	表示内容
グループ ID	グループ ID です。
グループ名	グループ名 です。

「選択」ボタンを押すと、NFM 利用者の登録/更新ダイアログに選択したグループが設定されます。

NFM 利用者一覧画面（グループの設定ダイアログ）



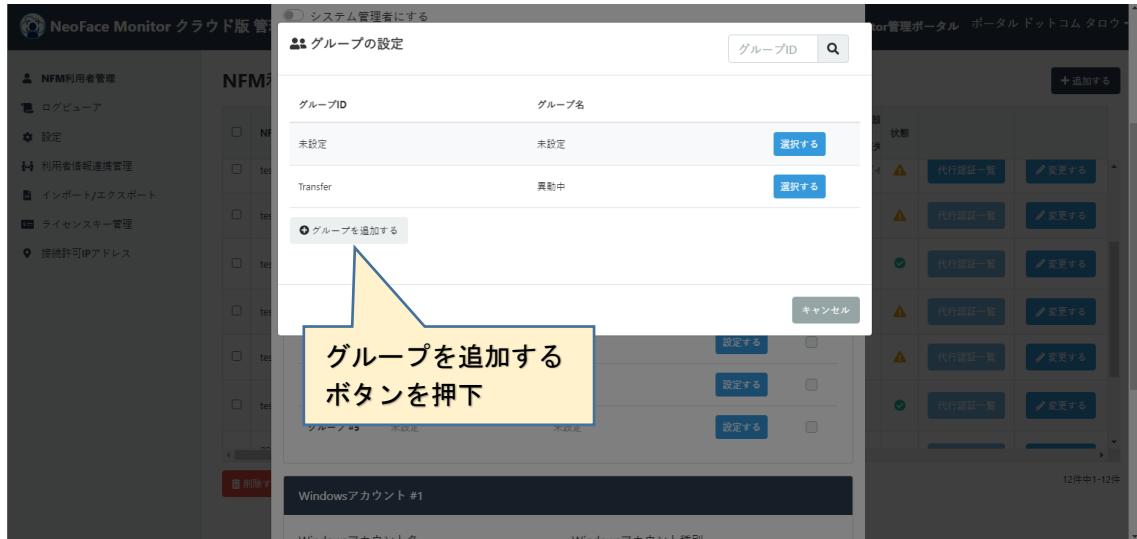
選択するボタン
を押下

6.5.2. グループの新規登録

「グループを追加する」ボタンを押下すると、グループ ID、グループ名が入力できる行が追加されます。グループ ID、グループ名を入力し、「選択」ボタンを押すと、NFM 利用者の登録/更新ダイアログにグループが設定されます。

※グループ管理者はグループの新規登録はできません。

NFM 利用者一覧画面（グループの設定ダイアログ）



NFM 利用者一覧画面（グループの設定ダイアログ：新規登録）



6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

グループの項目入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
グループ ID	空	グループ ID は必須です。
	半角英数字以外の値	グループ ID の形式が正しくありません。
	重複しているグループ ID	すでに登録されているグループ ID が指定されています。
グループ名	空	グループ名は必須です。
	半角数字以外の値	半角数字で入力してください。

6.5.3. グループの保存

NFM 利用者 登録/更新ダイアログのグループ#1～#5 およびその他項目に必要な値を入力したのち、「保存する」ボタンを押下すると保存されます。

※NFM 利用者を、選択したグループのグループ管理者に設定する場合は、管理者チェックボックスにチェックを入れます。

NFM 利用者一覧画面（登録/更新ダイアログ）



6.5.4. グループに関する設定の権限

NFM 利用者に設定しているグループを変更する場合、ログインしているユーザーの権限によって設定できる内容に制限があります。

グループに関する設定の制限

権限	設定対象	設定できる範囲
システム管理者	NFM 利用者	すべての NFM 利用者に対して設定可能です。
	グループ	すべてのグループを設定可能です。
	グループ管理者	すべての NFM 利用者に対して設定可能です。
グループ管理者	NFM 利用者	自分がグループ管理者になっているグループ内の NFM 利用者（自分を除く）、および異動中に設定されている NFM 利用者に対して設定可能です。
	グループ	自分がグループ管理者になっているグループ、移動中、未設定を設定可能です。 グループの新規登録はできません。
	グループ管理者	設定できません。
一般ユーザー	NFM 利用者	設定できません。 (NFM 利用者一覧を使用できません。)
	グループ	設定できません。 (NFM 利用者一覧を使用できません。)
	グループ管理者	設定できません。 (NFM 利用者一覧を使用できません。)

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6.6. NFM 利用者のパスワード再発行

パスワード再発行したい行にチェックを入れて「パスワード再発行」ボタンを押下します。

NFM 利用者一覧画面（パスワード再発行の例：初期状態）

① 対象行にチェックを入れる

② パスワード再発行ボタンを押下

対象の NFM 利用者にメールアドレスが設定されている場合、再発行の確認ダイアログが表示され、「再発行」ボタンを押下すると、対象の NFM 利用者のパスワードが再発行され、通知メールが送信されます。

NFM 利用者一覧画面（パスワード再発行：確認ダイアログの表示）

③ 確認用のダイアログが表示されます

④ 再発行ボタンを押下

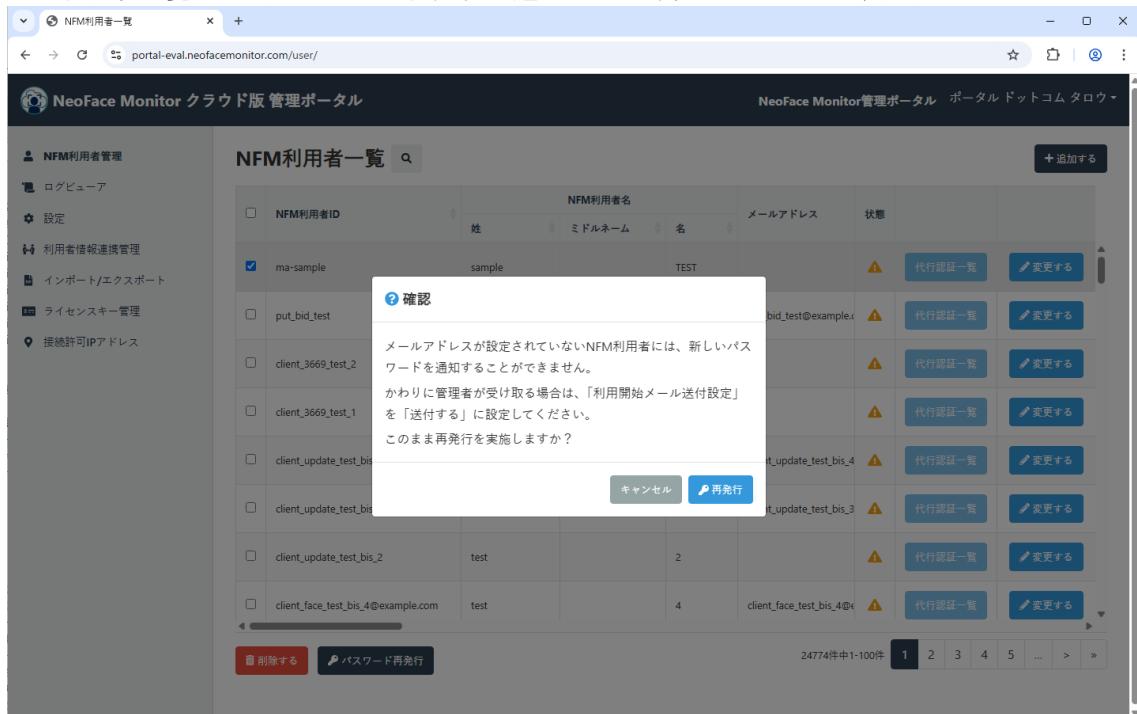
6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

対象の NFM 利用者にメールアドレスが設定されていないとき、利用開始メール送付設定の設定が「送付する」になっている場合には、再発行の確認ダイアログが表示され、「再発行」ボタンを押下すると、対象の NFM 利用者のパスワードが再発行され、通知メールがシステム管理者に送信されます。

対象の NFM 利用者にメールアドレスが設定されていないとき、利用開始メール送付設定の設定が「送付しない」になっている場合には、パスワードを通知できない旨の確認ダイアログが表示されます。「再発行」ボタンを押下すると、対象の NFM 利用者のパスワードが再発行されますが、通知メールは送付されません。

※利用開始メール送付設定の設定については、「[9.7. 利用開始メール送付設定の設定](#)」をご参照ください。

NFM 利用者一覧画面（パスワード再発行：通知しない確認ダイアログの表示）



7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力

7.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力

NFM 利用者情報一覧出力機能を使用して、ユーザー情報の一覧をファイル出力可能です。

メニューエリアから「インポート/エクスポート」を押下し、続いて「NFM 利用者一覧の出力」を押下し、NFM 利用者一覧の出力画面を表示します。

「出力する」ボタンを押下すると出力を開始します。

※登録されているすべての NFM 利用者が出力されます。

NFM 利用者一覧の出力画面



項目レイアウト

項目名	出力内容
削除	固定値 “”
NFM 利用者 ID	登録されている NFM 利用者 ID
パスワード	パスワードが登録されているとき“YES”、登録されていないとき“NO”
NFM 利用者（姓）	登録されている NFM 利用者の姓
NFM 利用者（ミドルネーム）	登録されている NFM 利用者のミドルネーム

7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力

NFM 利用者（名）	登録されている NFM 利用者の名
メールアドレス	登録されているメールアドレス
表示画像	顔画像が登録されているとき“YES”、登録されていないとき“NO”、仮登録のとき“TEMP”
学習画像	顔画像が登録されているとき“YES”、登録されていないとき“NO”
代行入力機能使用有無 FL	アプリログイン代行認証が許可されているとき“1”、許可されていないとき“0”
認証方式 FL	認証無し(シングルサインオン)のとき“0”、顔認証のとき“1”、顔+パスワード認証のとき“2”
認証失敗時操作 FL	ログイン画面認証のとき“0”、再認証のとき“1”
管理者	NFM 利用者をシステム管理者に設定するとき“1”、設定しないときは“0”
グループ ID1	登録されているグループ ID
グループ名 1	登録されているグループ名
グループ管理者 FL1	NFM 利用者をグループ管理者に設定するとき“1”、設定しないときは“0”

:

:

グループ ID5	グループ ID 1 と同様
グループ名 5	グループ名 1 と同様
グループ管理者 FL5	グループ管理者 FL 1 と同様
Windows アカウント名 1	ローカル Windows アカウント FL1 が“0”または“1”的場合は、登録されている Windows アカウント名 ローカル Windows アカウント FL1 が“2”的場合は、登録されている表示名

7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力

コンピュータ名またはドメイン名 1	ローカル Windows アカウント FL1 が“1”的場合は、登録されている Windows アカウントのログオン先のコンピュータ名 ローカル Windows アカウント FL1 が“0”的場合は、登録されている Windows アカウントのログオン先のドメイン名 ローカル Windows アカウント FL1 が“2”的場合は、登録されている Azure AD アカウントのログオン先の Azure AD ドメイン名
ユーザプリンシパル名 1	登録されているユーザプリンシパル名 ※ローカル Windows アカウント FL1 が“2”的場合のみ値が表示されます
ローカル Windows アカウント FL1	登録されている Windows アカウントがドメインアカウントのとき“0”、ローカル Windows アカウントのとき“1”、Azure AD ドメインアカウントのとき“2”
Windows パスワード 1	パスワードが登録されているとき“YES”、登録されていないとき“NO” ローカル Windows アカウント FL1 が“0”または“1”的場合は、Windows パスワード ローカル Windows アカウント FL1 が“2”的場合は、Azure AD パスワード

: : :

Windows アカウント名 5	Windows アカウント名 1 と同様
コンピュータ名またはドメイン名 5	コンピュータ名またはドメイン名 1 と同様
ユーザプリンシパル名 5	ユーザプリンシパル名 1 と同様
ローカル Windows アカウント FL5	ローカル Windows アカウント FL1 と同様
Windows パスワード 5	Windows パスワード 1 と同様

※グループ情報は NFM 利用者 1 名につき最大 5 件まで出力されます。

※Windows アカウント情報は NFM 利用者 1 名につき最大 5 件まで出力されます。

8. 認証ログの確認

8.1. 認証ログの検索

ログビューアを使用して、顔認証の利用状況を確認可能です。

メニューエリアから「ログビューア」を押下し、認証ログ検索画面を表示します。
検索条件を入力して「検索」ボタンを押下します。

認証ログの保存期間は3か月間となります。順次古いログから削除されますので
必要に応じてCSV出力のうえ保管ください。その際顔画像ログは出力されません。

認証ログ検索画面

認証ログの検索条件

項目名	検索内容
認証日時	検索範囲の日時をFROM～TOで指定します。
認証結果	検索する認証結果の値を選択します。
エラーコード	検索するエラーコードの値を選択します。 ※認証エラーコードは、「8.4. 認証エラーコード一覧」をご参照ください。
認証手段	検索する認証手段の値を選択します。
認証場面	検索する認証場面の値をチェックします。

8. 認証ログの確認

Windows アカウント名	検索する Windows アカウント名の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)
ドメイン名	検索する ドメイン名の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)
ユーザプリンシパル名	検索する ユーザプリンシパル名の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)
認証端末名	検索する 認証端末の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)
サービスプロバイダーの URL	検索する サービスプロバイダーURL の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)

8.2. 認証ログの一覧表示

認証ログ検索画面にて「検索」ボタンを押下すると、該当する認証ログの一覧が表示されます。

認証ログの一覧画面

The screenshot shows the 'Search Results' section of the portal. It displays two search results for authentication logs. Each result includes columns for 'Authentication Date', 'Authentication Result', 'Authentication Method', 'Windows Account Name', 'Domain Name', 'User Principal Name', and 'Authentication Status'. A 'CSV Output' button is located in the top right corner of the results table. On the left side, there's a sidebar with links for 'NFM User Management', 'Log Viewer', and 'Logout'. At the bottom, there are buttons for 'Back' and 'Logout', and a 'Paging' section with navigation arrows.

検索結果件数	検索結果一覧					
検索結果: 2件	認証日時	認証結果	認証手段	Windowsアカウント名	ドメイン名	ユーザープリンシパル名
	2023年12月21日 16:38	認証成功	顔認証	NEC		
	2023年12月21日 13:52	認証成功	顔認証	NEC		

項目名	設定内容
CSV出力ボタン	検索結果の一覧をファイル出力します。
検索結果件数	検索結果の行数です。
検索結果一覧	検索結果の一覧です。認証日時を押下するとその行について詳細画面を表示します。
ページング	一覧の表示しているページを切替えます。
戻るボタン	検索条件画面に戻ります。

認証ログの一覧表示の項目

項目名	表示内容
認証日時	認証を行った日時です。押下するとその行について詳細画面を表示します。
認証結果	認証を行った結果です。
認証手段	認証を行った手段です。
Windows アカウント名	認証を行った Windows アカウント名です。
ドメイン名	認証を行ったドメイン名です。
ユーザプリンシパル名	認証を行ったユーザプリンシパル名です。
認証端末名	認証を行った端末です。
NFM 利用者 ID	認証を行った NFM 利用者 ID です。
認証場面	認証を行った場面です。
サービスプロバイダーの URL	認証を行ったサービスプロバイダーの URL です。
エラーコード	認証エラーのエラーコードです。 ※認証エラーコードは、「8.4. 認証エラーコード一覧」をご参照ください。
顔画像	認証を行ったときの顔画像の有無を表示します。

8.3. 認証ログの詳細表示

認証ログの一覧画面にて、認証ログの1つを押下すると、認証ログ詳細画面が表示されます。

認証ログ詳細画面

The screenshot shows the NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal's 'Authentication Log Details' page. On the left, there is a sidebar with navigation links: NFM User Management, Log Viewer, Settings, User Information Import/Export, License Key Management, and Registered IP Address. The main area is titled 'Authentication Log Details' and shows a placeholder image labeled 'NO PHOTO'. Below the image, the log details are listed: Authentication Date (2023年12月21日 16:38), Authentication Result (認証成功), Authentication Method (顔認証), Windows Account Name (Windowsアカウント名: NEC), Domain Name (ドメイン名: NEC), and User Principal Name (ユーザプリンシパル名: nec\user).

認証ログの詳細項目

項目名	表示内容
顔画像	認証を行ったときの顔画像です。 ※「顔画像ログ出力ポリシー」で設定した場合のみ顔画像が登録されます。
認証日時	認証を行った日時です。
認証結果	認証を行った結果です。
認証手段	認証を行った手段です。
Windows アカウント名	認証を行った Windows アカウント名です。
ドメイン名	認証を行ったドメイン名です。
ユーザプリンシパル名	認証を行ったユーザプリンシパル名です。

8. 認証ログの確認

認証端末名	認証を行った端末です。
NFM 利用者 ID	認証を行った NFM 利用者 ID です。
認証場面	認証を行った場面です。
サービスプロバイダーの URL	認証を行ったサービスプロバイダーの URL です。
エラーコード	認証エラーのエラーコードです。 ※認証エラーコードは、「8. 4. 認証エラーコード一覧」をご参照ください。
戻るボタン	押下すると一覧画面に戻ります。

8.4. 認証エラーコード一覧

エラーコード	対処方法
6A	Windows 認証に失敗しました。 NFM 利用者の登録で登録した Windows アカウントが正しく登録されていることを確認してください。
71	カメラが接続されていないか、利用できない状態です。 カメラが正しく使えるか確認してください。
72	異常が発生しました。 OS を再起動してください。 同じ症状が繰り返される場合は NFM クライアントソフトを最新版に更新するか、再インストールしてください。
74	他アプリケーションによるカメラ占有が発生しているため、常時認証が使用できません。 カメラを使用している他アプリケーションを停止することで、常時認証が使用可能になります。
75	自動ロック解除が失敗しました。 NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアルの「7.9. NFM 以外のアプリケーションのカメラ使用時の注意」を参照し、自動ロック解除が可能となるようクライアント端末の設定を行ってください。
83、A3	顔認証に失敗しました。 一定時間内に画面に指示されたとおりの顔の動きを実施してください。
8B、8F、D8	顔認証に失敗しました。 顔画像が正しく登録されていることを確認してください。 同じ症状が繰り返される場合は、顔画像を削除した後、再度登録し直してください。
93、9F	顔認証に失敗しました。 顔画像が正しく登録されていることを確認してください。また、一定時間内に画面に指示されたとおりの顔の動きを実施してください。 同じ症状が繰り返される場合は、顔画像を削除した後、再度登録し直してください。
97、9B、A7	顔画像を検出できませんでした。 もっとカメラに近づいてください。
C8、C9、CA、CB、CC、CD	認証に失敗しました。 テナント、NFM 利用者 ID、パスワードが正しく入力されていることを確認してください。
CE、CF、D0、D1、D2、D3、D4、D5、D6、D7	代替認証処理に失敗しました。 代替認証コードが正しく入力されていることを確認してください。

8. 認証ログの確認

	同じ症状が繰り返される場合は、代替認証コードを再度登録し直してください。
E4	顔認証+windows パスワード認証時にパスワード認証で失敗しました。 パスワードが正しく入力されていることを確認してください。
E5	Windows アカウントと NFM 利用者 ID が紐付けされていません。 NFM 利用者の登録で Windows アカウントと NFM 利用者 ID が正しく紐づけされていることを確認してください。
E6	NFM 利用者パスワード認証（二要素認証）に失敗しました。 NFM 利用者のパスワードが正しく入力されていることを確認してください。
E7	NFM 利用者パスワード認証に失敗しました。 NFM 利用者のパスワードが正しく入力されていることを確認してください。

9. システム設定

9.1. Windows ログオン認証方式の設定

Windows ログオン時・Windows ロック解除時の認証方式の設定を行います。
(当画面の設定は Windows 端末向けの設定です。)

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「Windows ログオン認証方式」を押下し、Windows ログオン認証方式の設定画面を表示します。

Windows ログオン認証方式の設定画面（初期状態）

The screenshot shows the 'Windowsログオン認証方式' (Windows Logon Authentication Method) configuration page. On the left sidebar, under '設定' (Settings), 'Windowsログオン認証方式' is selected. The main panel displays two sections: 'Windowsログオン時' (When logging on) and 'Windowsロック解除時' (When locking). Under each section, there are tabs for '認証手段' (Authentication methods) and '切替' (Switch). The '認証手段' tab is selected for both sections. In the 'Windowsログオン時' section, the '顔認証のみ' (Face recognition only) radio button is selected. In the 'Windowsロック解除時' section, the '顔認証のみ' (Face recognition only) radio button is also selected. A dropdown menu for '顔動き検知' (Face movement detection) is open, showing 'まばたき' (Blinking) as the current selection.

「認証方式 2 を有効にする」チェックボックスをチェックすると、認証方式 2 と切り替え方法の入力項目が表示されます。

Windows ログオン認証方式の設定画面（認証方式 2 を表示）

The screenshot shows the same configuration page with the '認証方式 2 を有効にする' (Enable authentication method 2) checkbox checked. This action has triggered the display of additional configuration fields for '認証方式 2' (Authentication method 2). These fields include '切替コマンド1の設定' (Setting for switch command 1), '切替コマンド2の設定' (Setting for switch command 2), and '切替コマンド3の設定' (Setting for switch command 3). Each setting consists of three dropdown menus for selecting the command, its parameters, and its value. A yellow callout box labeled ① 認証方式 2 を有効にするをチェックする (Check the 'Enable authentication method 2' checkbox) points to the checked checkbox. Another yellow callout box labeled ② 認証方式 2 の詳細が表示される (The details of authentication method 2 are displayed) points to the newly visible configuration fields for method 2.

Windows ログオン認証方式の設定項目（認証方式 1、2 共通）

項目名	設定内容
Windows ログオン時 認証手段	Windows ログオン時に利用する認証手段を設定します。
Windows ログオン時 顔動き検知	NFM 認証の前に、ユーザーに意識的な動きのパターンを指示する機能を設定します。
Windows ロック解除時 認証手段	Windows ロック解除時に利用する認証手段を設定します。
Windows ロック解除時 顔動き検知	NFM 認証の前に、ユーザーに意識的な動きのパターンを指示する機能を設定します。
元に戻すボタン	押下すると初期表示時の値に戻ります。
確定ボタン	押下すると入力内容を保存します。

※パスワードを伴わない認証手段でも Windows アカウントの Windows パスワードが設定されている必要があります。

顔動き検知パターン（認証方式 1、2 共通）

顔動き検知の設定	顔動き検知の回数
なし	0 回
まばたき	1 回
まばたき/視線右/視線左/顔振りのうち 1 回	1 回
まばたき/視線右/視線左のうち 2 回	2 回
まばたき/視線右/視線左/顔振りのうち 3 回	3 回

設定したパターンの中から、顔動き検知の回数分ランダムに実施されます。

認証方式 1 <-> 認証方式 2 切替コマンドの設定

項目名	設定内容
切替コマンド 1 の設定	キーの組み合わせを選択します。 (未選択状態にできません。)
切替コマンド 2 の設定	キーの組み合わせを選択します。
切替コマンド 3 の設定	キーの組み合わせを選択します。

9. システム設定

切替コマンド 4 の設定	キーの組み合わせを選択します。
切替コマンドの 5 設定	キーの組み合わせを選択します。

切替コマンドのチェック

チェック内容	エラーメッセージ
コマンドにて、1つ、または2つキーを選択している場合	切替コマンドが正しく設定されていません。
切替コマンドの組み合わせに重複が存在する場合	切替コマンドに重複している設定があります。
Windows ログオン認証ポリシーの切替コマンドの組み合わせに重複が存在する場合	Windows ログオン認証ポリシーの切替コマンドと重複している設定があります。

9.2. Windows ログオン認証ポリシーの設定

Windows ログオン時・Windows ロック解除時の認証ポリシーの設定を行います。
(当画面の設定は Windows 端末向けの設定です。)

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「Windows ログオン認証ポリシー」を押下し、Windows ログオン認証ポリシーの設定画面を表示します。

Windows ログオン認証ポリシーの設定画面



Windows ログオン認証ポリシーの設定項目

項目名	設定内容
学習画像の自動更新周期	学習画像を自動更新する周期を設定します。
代替認証(Windows ログオン認証)	代替認証（認証手段で設定）の有効/無効を設定します。
認証手段 ※代替認証(Windows ログオン認証)が「有効」の場合のみ入力可	代替認証(Windows ログオン認証)時に利用する認証手段を設定します。
入力失敗許容回数 ※認証手段が「ワンタイムパスワード」の場合のみ入力可	入力失敗を許容する回数を選択します。
ログオン可能回数 ※認証手段が「ワンタイムパスワード」の場合のみ入力可	ログオン可能とする回数を選択します。
切替コマンド1の設定 ※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	キーの組み合わせを選択します。 (未選択状態にできません。)
切替コマンド2の設定	キーの組み合わせを選択します。

※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	
切替コマンド 3 の設定 ※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	キーの組み合わせを選択します。
切替コマンド 4 の設定 ※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	キーの組み合わせを選択します。
切替コマンドの 5 設定 ※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	キーの組み合わせを選択します。

切替コマンドのチェック

チェック内容	エラーメッセージ
コマンドにて、1つ、または2つキーを選択している場合	切替コマンドが正しく設定されていません。
切替コマンドの組み合わせに重複が存在する場合	切替コマンドに重複している設定があります。
Windows ログオン認証方式の切替コマンドの組み合わせに重複が存在する場合	Windows ログオン認証方式の切替コマンドと重複している設定があります。

9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定

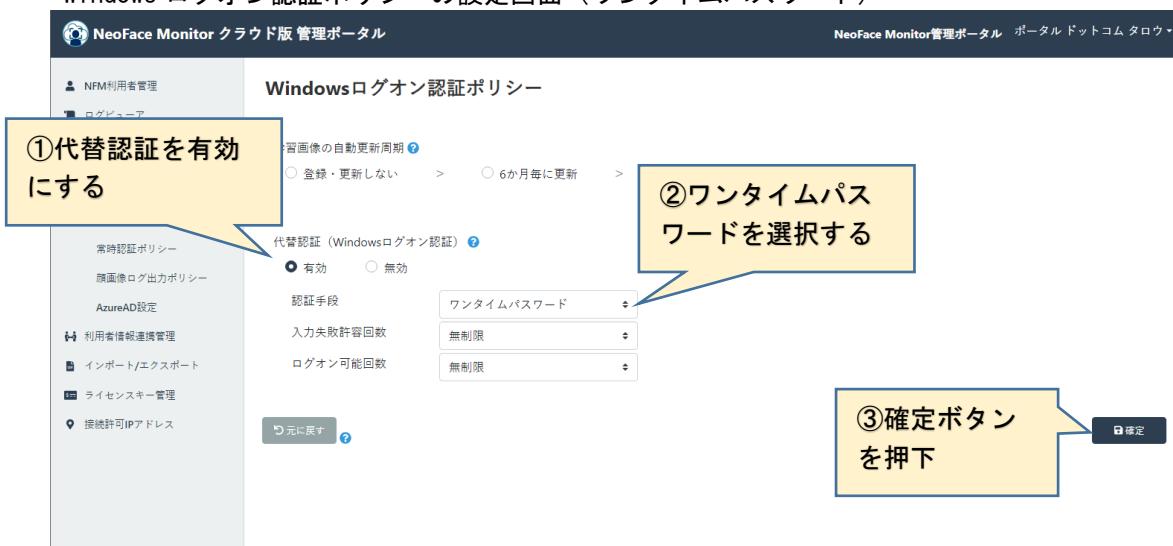
Windows ログオン認証ポリシーの設定画面で、代替認証（Windows ログオン認証）を有効に設定すると、認証手段として「パスワード」「ワンタイムパスワード」が選択できます。

「ワンタイムパスワード」を選択して保存すると、サイドメニューに「ワンタイムパスワード発行」が表示されます。

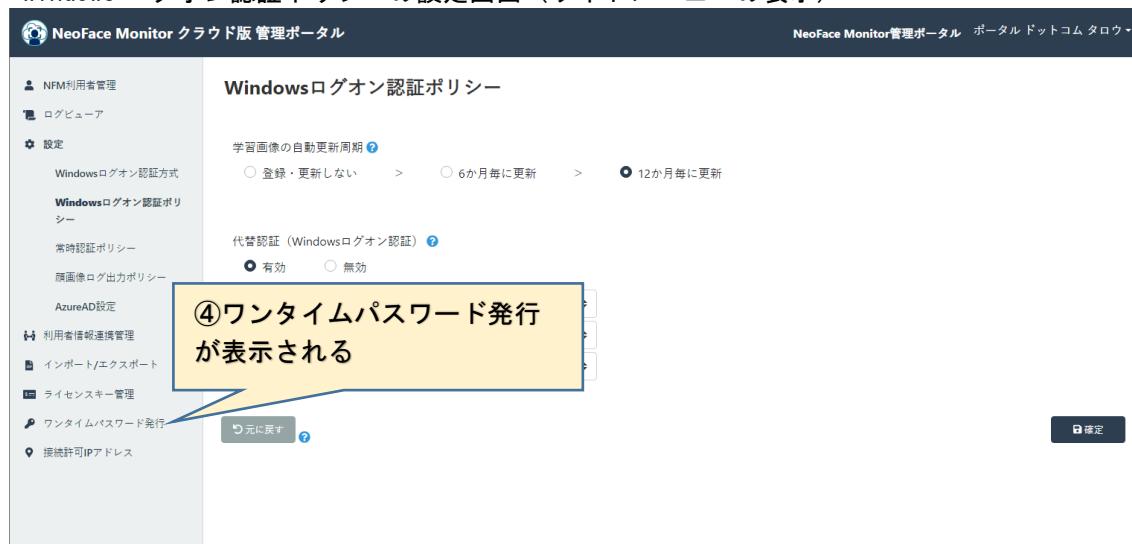
ワンタイムパスワードの切替コマンドは、認証手段が「パスワード」の場合に設定されている切り替えコマンドが有効となります。

※ワンタイムパスワード発行画面については、「14. ワンタイムパスワードの利用」をご参照ください。

Windows ログオン認証ポリシーの設定画面（ワンタイムパスワード）



Windows ログオン認証ポリシーの設定画面（サイドメニューの表示）



9.3. 常時認証ポリシーの設定

常時認証に関するポリシーの設定を行います。
(当画面の設定は Windows 端末向けの設定です。)

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「常時認証ポリシー」を押下し、常時認証ポリシーの設定画面を表示します。

常時認証ポリシーの設定画面



常時認証ポリシーの設定項目

項目名	設定内容
常時認証有効/無効	常時認証の有効/無効を設定します。
常時認証の周期	常時認証を行う間隔（秒）を設定します。
認証時間	常時認証を行う時間（秒）を設定します。この時間内に認証が成功しないと画面ロックになります。
認証失敗許容回数	常時認証で顔認証に失敗したときの許容回数を設定します。
元に戻すボタン	押下すると初期表示時の値に戻ります。
確定ボタン	押下すると入力内容を保存します。

9. システム設定

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

常時認証ポリシーの設定項目入力値チェック（自由入力値）

項目名	入力値	エラーメッセージ
常時認証の周期	空	自由設定が入力されていません。
	60 未満、 1000 以上	自由設定は 60~999 の範囲で入力してください。
	半角数字 以外の値	半角数字で入力してください。
認証時間	空	自由設定が入力されていません。
	1 未満、 1000 以上	自由設定は 1~999 の範囲で入力してください。
	半角数字 以外の値	半角数字で入力してください。
認証失敗許容回数	空	自由設定が入力されていません。
	0 未満、 1000 以上	自由設定は 0~999 の範囲で入力してください。
	半角数字 以外の値	半角数字で入力してください。

9.4. 顔画像ログ出力ポリシーの設定

Windows ログオン・Windows ロック解除時、常時認証時のログ出力を設定します。
(当画面の設定は Windows 端末向けの設定です。)

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「顔画像ログ出力ポリシー」を押下し、顔画像ログ出力ポリシー（顔認証失敗時）の設定画面を表示します。

顔画像ログ出力ポリシー（顔認証失敗時）の設定画面



顔画像ログ出力ポリシーの設定項目

項目名	設定内容
Windows ログオン・Windows ロック解除	チェックすると Windows ログオン・Windows ロック解除の顔認証失敗時にログを出力します。
常時認証 顔認証失敗	チェックすると常時認証の顔認証失敗時にログを出力します。
元に戻すボタン	押下すると初期表示時の値に戻ります。
確定ボタン	押下すると入力内容を保存します。

9.5. AzureAD 設定の設定

AzureAD ヘアクセスする際の認証情報の設定を行います。

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「AzureAD 設定」を押下し、AzureAD 設定の設定画面を表示します。

AzureAD 設定の設定画面

AzureAD 設定の設定項目

項目名	設定内容
AzureAD テナント ID	AzureAD で発行されたテナント ID を設定します。
アプリケーション ID	AzureAD で発行されたアプリケーション ID を設定します。
元に戻すボタン	押下すると初期表示時の値に戻ります。
確定ボタン	押下すると入力内容を保存します。

9. システム設定

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

AzureAD 設定の設定項目入力値チェック（自由入力値）

項目名	入力値	エラーメッセージ
AzureAD テナント ID	空	AzureAD テナント ID が入力されていません。
	257 文字以上	AzureAD テナント ID は 256 文字以内で入力してください。
	半角数字記号以外の値	AzureAD テナント ID は半角英数字、記号しか利用できません。
アプリケーション ID	空	アプリケーション ID が入力されていません。
	257 文字以上	アプリケーション ID は 256 文字以内で入力してください。
	半角数字記号以外の値	アプリケーション ID は半角英数字、記号しか利用できません。

9.6. クライアントソフト設定の設定

クライアントソフトのアップデートを自動で行うかどうかを設定します。

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「クライアントソフト設定」を押下し、クライアントソフト設定の設定画面を表示します。

クライアントソフト設定の設定画面

The screenshot shows the NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal. The top navigation bar includes the portal name and a dropdown menu. The left sidebar contains various management options like User Management, Log Review, and Settings. Under Settings, 'Client Software Settings' is selected. The main content area is titled 'Client Software Settings' and contains a section for 'Automatic Update' with two radio button options: 'Effective' (unchecked) and 'Ineffective' (checked). At the bottom are 'Back' and 'Confirm' buttons.

クライアントソフト設定の設定項目

項目名	設定内容
自動アップデート	クライアントソフトのアップデートを自動で行うかどうかを設定します。

9.7. 利用開始メール送付設定の設定

利用者のメールアドレスが設定されていない場合に、代わりにシステム管理者宛にメールを送付するかどうかを設定します。

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「利用開始メール送付設定」を押下し、利用開始メール送付設定の設定画面を表示します。

利用開始メール送付設定の設定画面



利用開始メール送付設定の設定項目

項目名	設定内容
メール送付	利用者のメールアドレスが設定されていない場合に、代わりにシステム管理者宛にメールを送付するかどうかを設定します。

10. ライセンスキー管理

本章では、購入したライセンスキーの管理方法について説明します。

10.1. ライセンスキー型番種別

ライセンスキーには、以下の型番種別が存在します。

ライセンスキー型番種別

種別名	内容	利用期限	利用可能 ID 数
無償利用	無償利用のライセンスキーです。 利用期限は2か月固定となります。 テナントを登録した際に自動発行されます。	あり (2か月)	100名
クラウド SW ストア型番	NEC の Web ストア（クラウド SW ストア）からオンライン購入するライセンスキーです。 自動課金による利用となるため、利用期限はありません。	なし	1名 10名 100名 1000名
パック型番	クラウド SW ストアの販売に対応できない販売店（代理店）に販売するライセンスキーです。 利用期限が存在し、期限を超過するとライセンスキーは無効となります。	あり (1~12か月)	1名 10名 100名 1000名

10.2. ライセンスキー一覧

テナントに登録されているライセンスキーの管理を行います。

メニューエリアから「ライセンスキー管理」を押下し、ライセンスキー管理(一覧)画面を表示します。初期状態では、テナント申し込み時に発行された無償利用ライセンスが1件表示されます。

ライセンスキー管理（一覧）画面

項目レイアウト

項目名	出力内容	
期限切れライセンスキーを表示する チェックボックス	チェックを入れると、期限切れまたは無効となったライセンスキーを表示します。	
追加するボタン	ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログを表示します。	
ライセンスキー一覧	ライセンスキーの一覧を表示します。	
延長するボタン	ライセンスキー入力（延長登録）ダイアログを表示します。 パック型番のライセンスキーにのみ表示されます。	
利用可能 ID 情報 エリア	利用可能 ID 数の 合計	現在の利用可能 ID 数の合計です。
	現在利用中の ID 数	現在テナント内で顔認証を利用している利用者数、 および外部システム連携の利用者情報連携フィルタ に登録されている利用者数の合算です。 ※顔認証利用=顔画像登録した利用者となります。

10. ライセンスキーマーク

		※外部システム連携については「12. 外部システム連携」をご覧ください
残 ID 数		利用可能 ID 数の合計から、現在利用中の ID 数を差し引いた ID 数です。

10.2.1. ライセンスキーオーバーの項目

ライセンスキーマネジメント（一覧）画面

型番	製品名	利用可能ID数	利用開始	利用期限	
UWHT01Y-H0095-I	NeoFace Monitor クラウド版 (10名12ヶ月利用権)	10	2024年2月1日	2025年1月31日	+ 延長する
	NeoFace Monitor クラウド版 (無償利用)		2023年12月1日	2024年1月31日	

利用可能ID数の合計 100
現在利用中のID数 8
残ID数 92

一覧表示の項目

項目名	表示内容
型番	型番です。
製品名	製品名です。
利用可能 ID 数	利用可能 ID 数です。
利用開始	利用開始した日付です。
利用期限	利用期限の日付です。 クラウド SW ストア型番の場合は「なし」と表示されます。
延長するボタン	ライセンスキーアクション（延長登録）ダイアログを表示します。 パック型番のライセンスキーにのみ表示されます。

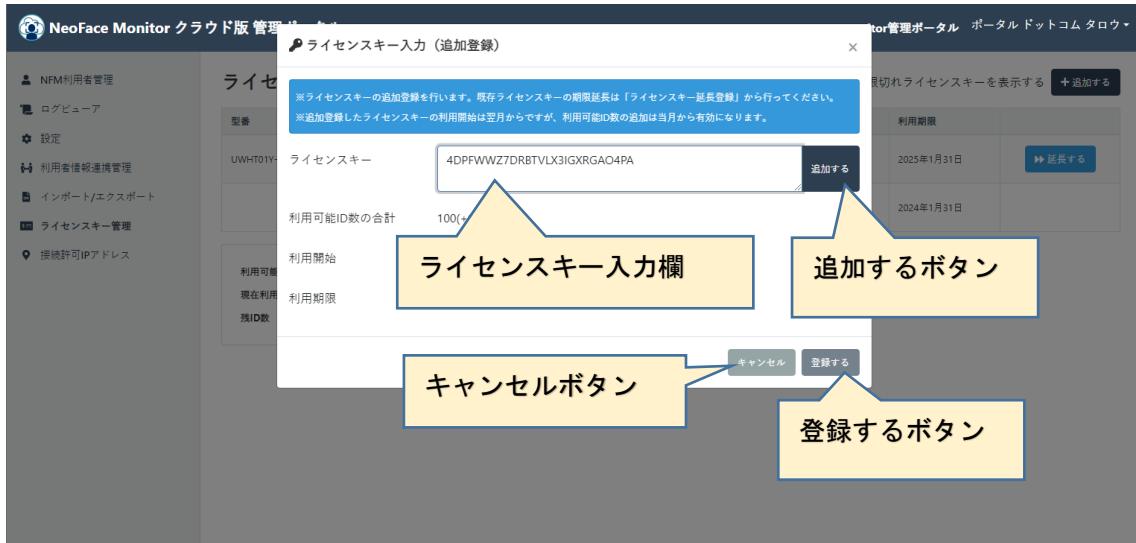
10.3. ライセンスキー入力（追加登録）

ライセンスキーの追加登録を行います。

ライセンスキーを追加登録する場合、以下の制限があります。

利用可能 ID 数	初回登録時は 10 人以上、2 回目以降は制限なし (パック型番、クラウド SW ストア型番共通)
パック型番の期間	12 か月（クラウド SW ストア型番は対象外）

ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログ



項目レイアウト

項目名	出力内容
ライセンスキー入力欄	ライセンスキーを入力します。 ライセンスキーは複数行の入力が可能です。
追加するボタン	入力したライセンスキーを登録対象に追加します。 ライセンスキーを追加後、ライセンスキー入力エリアの下にライセンスキー詳細エリアが表示されます。
キャンセルボタン	ダイアログを閉じます。
登録するボタン	追加したライセンスキーを登録します。

10. ライセンスキー管理

ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログ（ライセンスキー追加後）



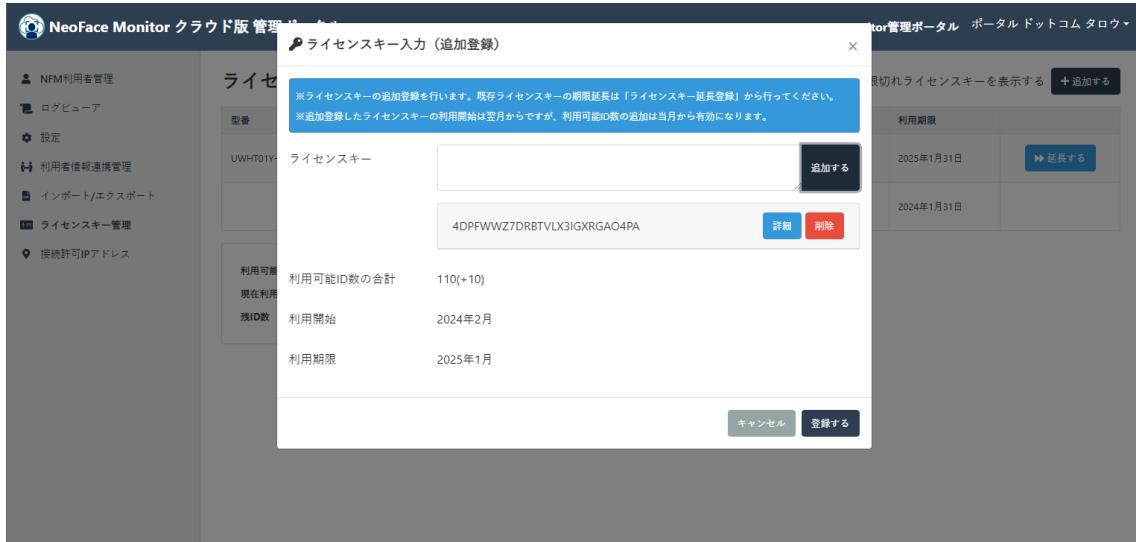
項目レイアウト

項目名	出力内容
詳細ボタン	追加したライセンスキーの詳細を表示します。
削除ボタン	追加したライセンスキーを削除します。

※無償利用期間中にライセンスキーの登録を行った場合、無償利用期間が終了するまで、ライセンスキー一覧の利用可能ID数の合計の値に反映されません。

10.3.1. ライセンスキー入力（追加登録）項目

ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログ



表示項目

項目名	表示内容
型番	追加したライセンスキーの型番です。
製品名	追加したライセンスキーの製品名です。
利用可能 ID 数	追加したライセンスキーの利用可能 ID 数です。 カッコ内はライセンスキー追加により増加する利用可能 ID 数です。
パック型番の期間（か月）	追加したライセンスキーのパック型番の期間です。 クラウド SW ストア型番の場合は空欄になります。
利用開始	追加したライセンスの利用開始日付（年月）です。
利用期限	追加したライセンスの利用期限日付（年月）です。

10.3.2. ライセンスキー入力（追加登録）の設定項目入力値チェック

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
ライセンスキー	空	ライセンスキーが入力されていません。
	文字数	ライセンスキーは 100 文字以内で入力してください。
	文字種	ライセンスキーは半角英数字、記号しか利用できません。
	パック型番とクラウド SW ストア型番のライセンスキーが混在	追加するライセンスキーに異なる型番種別が混在しています。
	パック型番の期間が 11 か月以下	追加するライセンスキーのパック型番の期間は、12 か月としてください。
	追加した利用可能 ID 数の合計が 9 人以下	追加するライセンスキーの利用可能 ID 数の合計は、10 人以上としてください。
	存在しないライセンスキー	ライセンスキーは存在しません。
	他テナントで登録済みのライセンスキー	ライセンスキーは登録済みです。
	ダイアログに追加済みのライセンスキー	ライセンスキーが重複しています。

10.3.3. ライセンス登録完了のお知らせ

ライセンスキーマネジメントの追加登録（または、ライセンスキーマネジメントの延長登録）が完了した場合、テナントのシステム管理者全員にライセンス登録完了のお知らせメールが届きます。

ライセンス登録完了のお知らせメール
(件名 : NeoFace Monitor クラウド版ライセンス登録完了のお知らせ)

〈システム管理者名〉様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

ご利用中のテナントでのライセンス登録を受け付けました。

〈型番〉 : 〈ライセンスキーマネジメント〉 : 〈人数〉名分 YYYY/MM/DD まで

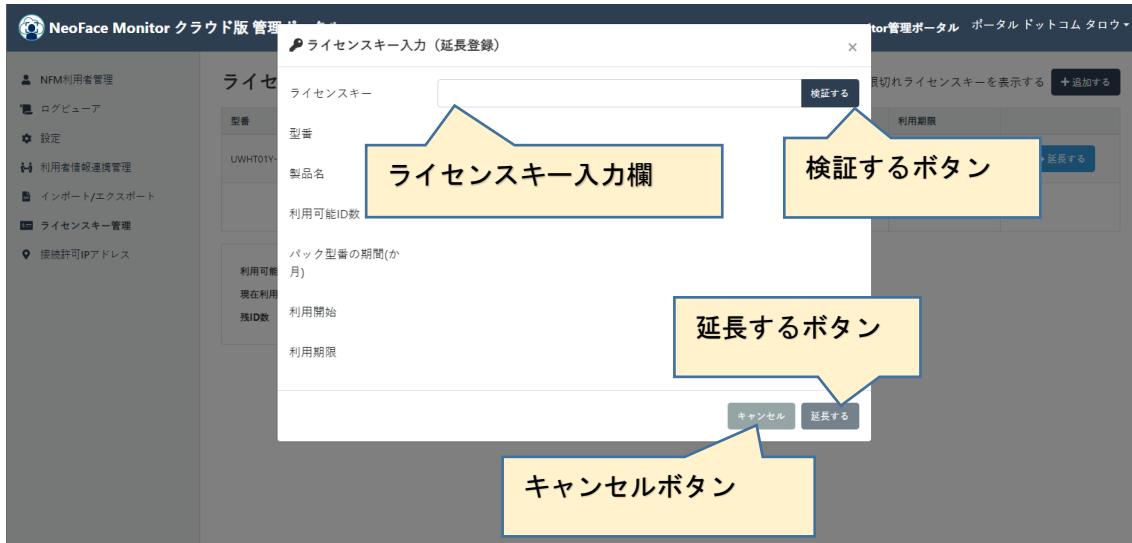
10.4. ライセンスキーアクション（延長登録）

ライセンスキーアクション（延長登録）を行います。

ライセンスキーアクション（延長登録）する場合、以下の制限があります。

型番種別	パック型番であること
利用可能 ID 数	延長するライセンスキーアクション（延長登録）の利用可能 ID 数と同じであること

ライセンスキーアクション（延長登録）ダイアログ



項目レイアウト

項目名	出力内容
ライセンスキーキー入力欄	ライセンスキーキーを入力します。
検証するボタン	ライセンスキーキーの検証を行います。
キャンセルボタン	ダイアログを閉じます。
延長するボタン	当該ライセンスキーキーを延長します。

10.4.1. ライセンスキーリスト（延長登録）項目

ライセンスキーリスト（延長登録）ダイアログ



表示項目

項目名	表示内容
型番	ライセンスキーリストの型番です。
製品名	ライセンスキーリストの製品名です。
利用可能 ID 数	ライセンスキーリストの利用可能 ID 数です。
パック型番の期間（か月）	ライセンスキーリストのパック型番の期間です。
利用開始	ライセンスの利用開始日付（年月）です。
利用期限	ライセンスの利用期限日付（年月）です。

10.4.2. ライセンスキーリスト（延長登録）の設定項目入力値チェック

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
ライセンスキー	空	ライセンスキーが入力されていません。
	文字数	ライセンスキーは 100 文字以内で入力してください。
	文字種	ライセンスキーは半角英数字、記号しか利用できません。
	パック型番以外のライセンスキー	パック型番のライセンスキーを入力してください。
	利用可能 ID 数が異なる	利用可能 ID 数が延長するライセンスキーと異なっています。
	存在しないライセンスキー	ライセンスキーは存在しません。
	他テナントで登録済みのライセンスキー	ライセンスキーは登録済みです。

10.5. 利用可能 ID 数の超過による利用者の削除について

利用中のライセンスキーが下記条件に合致した場合、ライセンスキーが無効となります。

クラウド SW ストア型番	ライセンスキーの無効化操作が行われた
パック型番	ライセンスキーの利用期限を超過した

その際、顔認証を利用中の利用者数が、ライセンスキーの利用可能 ID 数の合計を超過した状態が発生します（以降、「利用可能 ID 超過状態」と表記します）。

ライセンスキー管理（一覧）画面（利用可能 ID 超過状態）

型番	製品名	利用可能ID数	利用開始	利用期限
UWHT01Y-H0095-I	NeoFace Monitor クラウド版 (10名12ヶ月利用権)	10	2024年2月1日	2025年1月31日

利用可能ID数の合計: 0
 現在利用中のID数: 8
 残ID数: -8

利用可能 ID 超過状態が発生した場合、本サービスでは月次処理にて、以下の条件で超過した ID 数分、『利用者の顔画像』の自動削除を行います。

対象	顔認証を利用中の利用者
順序	登録日時が若い順（直近に登録した利用者）

自動削除を回避する場合は、以下のご対応をお願いします。

- ・ライセンスキーの追加登録、延長登録で利用可能 ID 数が超過しないようにする
- ・顔認証を利用してない利用者の顔画像を削除し、利用可能 ID 超過状態が発生しないよう調整する

※顔画像を登録している利用者の検索については「6.1.1. NFM 利用者の検索条件」をご覧ください。

10.6. ライセンス利用期間の終了日のお知らせ

登録されているパック型番ライセンスの利用期間終了日の 90 日前、30 日前、20 日前、10 日前のタイミングで、テナントのシステム管理者全員にライセンス利用期間終了のお知らせメールが届きます。

有償ライセンスを延長登録される場合は、「10.4. ライセンスキーリスト（延長登録）」をご参照ください。

ライセンス利用期間の終了日のお知らせメール

(件名 : NeoFace Monitor クラウド版ライセンス期間に関するお知らせ)

〈システム管理者名〉様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

現在ご利用中のパック型番ライセンスは下記の通りです。

<型番> : <ライセンスキーリスト> : <人数>名分 YYYY/MM/DD まで

<型番> : <ライセンスキーリスト> : <人数>名分 YYYY/MM/DD まで

ライセンスの利用期間が終了し、利用可能 ID 数が超過状態になると、超過した ID 数分だけ利用者の顔画像が削除され、顔認証が利用できなくなる場合があります。

詳しくは『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「利用可能 ID 数の超過による利用者の削除について」をご覧ください。

顔認証の継続利用を行わない利用者の情報は削除をお願いします。

ライセンスをご購入いただいた販売店様または NEC 営業までご連絡ください。

10.7. ライセンス利用期間終了のお知らせ

ライセンス利用期間の終了日の翌日に利用期間内の有償ライセンスの登録がない場合、テナントのシステム管理者全員にライセンス利用期間の終了のお知らせメールが届きます。

ライセンス利用期限終了のお知らせメール
(件名 : NeoFace Monitor クラウド版ライセンス期間終了のお知らせ)

〈システム管理者名〉様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

パック型番ライセンス利用期間は YYYY/MM/DD (利用期間の終了日) をもって終了したため、登録された顔画像をすべて削除いたしました。

お申し込みいただいたテナントは YYYY/MM/DD (テナント削除日) まで有効ですのでそれまでにライセンスをご購入・ご登録いただき、顔画像を再登録いただければ引き続き正式サービスとしてご利用いただけます。

引き続きご利用をご希望の場合は、『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「ライセンスの購入・登録」に沿って、ご対応をお願いします。

11. テナント削除

11.1. テナント削除のお知らせ

ライセンス利用期間終了から1か月以内に有償ライセンスの登録がなかったテナントを削除します。テナント削除後にテナントのシステム管理者全員にテナント削除のお知らせメールが届きます。

テナント削除のお知らせメール

(件名 : NoeFace Monitor クラウド版テナント削除のお知らせ)

〈システム管理者名〉様

NeoFace Monitor クラウド版にお申し込みいただいたテナントを削除しました。

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございました。

12. 外部システム連携

本章では、NeoFace Monitor クラウド版と外部システムとの利用者情報の連携機能について説明します。

12.1. 外部システムとの連携機能

NeoFace Monitor クラウド版には以下の外部システムとの連携機能があります。

- ・「Bio-IDiom Services for SaaS」
- ・「Bio-IDiom Services ID 連携」

NeoFace Monitor クラウド版で登録された NFM 利用者情報と顔画像をこれらの外部システムに連携することができます。また、これらの外部システムで登録された利用者情報と顔画像を NeoFace Monitor クラウド版に連携することができます。

「Bio-IDiom Services for SaaS」および「Bio-IDiom Services ID 連携」の連携はどちらか片方のみ可能で、これらを併用することはできません。

12.2. 連携機能のご利用にあたって

「Bio-IDiom Services ID 連携」の外部連携を利用する場合は、弊社営業までお問い合わせください。

お問合せいただいた後に弊社内で連携設定を実施し、設定完了後に申し込み者へ NeoFace Monitor クラウド版のテナントの利用が開始できるようになった旨をメールでお知らせします。

上記メールを受信後、連携の対象となる NFM 利用者を設定する手順を開始してください。

(※別章「[12.4. 連携の対象となる NFM 利用者を設定](#)」を参照)

すでに「Bio-IDiom Services for SaaS」を利用中で、NeoFace Monitor クラウド版との連携を行う場合は弊社内での接続設定が必要ですので弊社営業までお問合せください。

12.3. 個人情報の取り扱いについて

NeoFace Monitor クラウド版で顔画像（表示画像）が登録されている利用者は、外部システム連携の対象となります。

外部システム連携との連携に関して、事前にシステム管理者から各 NFM 利用者に対して氏名などの個人情報とあわせて顔画像を連携することの同意を取得し、利用者情報連携フィルタの初回登録時に個人情報の取り扱いの同意を行ってください。

(※別章「[12.4.1. NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録](#)」を参照)

12.4. 連携の対象となる NFM 利用者を設定

NeoFace Monitor クラウド版のテナントの利用が開始できるようになった旨のメールを受信後、テナント申し込み者またはシステム管理者にて、連携の対象となる NFM 利用者の設定を下記の手順で実施してください。

外部システムから利用者を連携したいとき、一括同期が完了済みの場合、外部システムに利用者を登録した後に、利用者情報連携フィルタを登録すると、その利用者が連携対象にならならない可能性があります。先に利用者情報連携フィルタの登録を実施してください。

1. 利用者情報連携フィルタの登録

(※別章「12.4.1. NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録」を参照)

連携の対象となる NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録します。初回登録時に個人情報の取り扱いの同意を行ってください。

NFM 利用者の登録は、1 件ずつ登録または CSV ファイルによるインポートが可能です。



2. 利用者情報一括同期の実施

(※別章「12.4.9. 利用者情報一括同期」を参照)

本サービスを契約したとき、すでに外部システムに利用者が登録済みの場合、利用者情報一括同期で NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者として同期を行うことができます。



以降は自動的に外部システムの利用者情報 ⇄ NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者情報の連携が行われます。

12.4.1. NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録

連携の対象となる NFM 利用者の NFM 利用者 ID を利用者情報連携フィルタに登録します。

外部システムに登録されている利用者情報のうち、顔画像が登録されている利用者情報を連携の対象とすることができます。

NFM 利用者 ID と同じ値を外部システムの ID 項目に設定し、かつ NFM 利用者 ID を利用者情報連携フィルタに登録すると連携の対象となります。

テナント利用開始直後の初期状態では、登録されている NFM 利用者 ID はありません。連携を行う対象の NFM 利用者 ID を追加してください。

利用者情報連携フィルタ管理画面（初期状態の例）

※NeoFace Monitor クラウド版で顔画像（表示画像）が登録された NFM 利用者の NFM 利用者 ID は自動的に利用者情報連携フィルタに登録されます。

※最初の利用者情報連携フィルタの登録よりも先に NFM 利用者に顔画像を登録した場合には、利用者情報連携フィルタ管理画面を初めて表示したときに、顔画像を登録した NFM 利用者の NFM 利用者 ID が登録されており、外部システムにも同じ値を ID 項目に持つ利用者および顔画像が登録されています。

※NeoFace Monitor クラウド版は利用者毎の期限切れはないため、利用者情報連携フィルタに登録された NFM 利用者は、外部システムにおける有効期限と関係なく、NeoFace Monitor クラウド版ではご利用いただける状態になります。必要に応じて、利用者情報連携フィルタおよび NeoFace Monitor クラウド版から NFM 利用者を削除してください。

12.4.2. 個人情報の取り扱いの同意

利用者情報連携 フィルタに NFM 利用者 ID が 1 件も登録されていない場合、個人情報の取り扱いに関する説明が表示されます。

利用者情報連携 フィルタ管理画面（個人情報の取り扱いに関する説明）



※個人情報の取り扱いに関する説明を読み、「同意する」ボタンを押下してください。

12.4.3. NFM 利用者の追加

必要な項目を入力し、「保存する」ボタンを押下してください。

利用者情報連携 フィルタ管理画面（NFM 利用者 ID 追加ダイアログの表示）



フィルタ情報

入力項目	説明
NFM 利用者 ID	外部システムと NeoFace Monitor クラウド版の連携対象となる NFM 利用者 ID

12.4.4. NFM 利用者の入力値チェック

入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
NFM 利用者 ID	空	NFM 利用者 ID が入力されていません。
	257 文字以上	NFM 利用者 ID は 256 文字以内で入力してください。
	文字種	NFM 利用者 ID は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 ! \$ & * + , - . : ; < = > @ [] ^ _ { } ~

12.4.5. NFM 利用者の削除

削除したい行にチェックを入れて「削除する」ボタンを押下します。

利用者情報連携フィルタ管理画面（削除の例：初期状態）

NFM利用者ID	登録日時
<input checked="" type="checkbox"/> test6-1d@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test6-1b@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test4_uc6_2@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test4_uc5_2@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test4_uc4@example.com	2023年12月22日 20:12

確認用ダイアログにて「削除する」ボタンを押下すると、対象の行が削除されます。

利用者情報連携フィルタ管理画面（削除：確認ダイアログの表示）

確認

選択された利用者情報連携フィルタを削除します。

※NFM利用者は削除されません。

キャンセル 削除する

12.4.6. NFM 利用者の一覧ファイルのインポート実行

NFM 利用者 ID の一覧ファイル（CSV ファイル）を使用してインポートを行います。NFM 利用者 ID の一覧ファイルの作成については「12.4.7. NFM 利用者 ID の一覧ファイルの作成」をご参照ください。

「インポート」ボタンを押下するとファイル選択ダイアログが表示されます。CSV ファイルをドロップエリアにドロップ、または「ファイルを選択」ボタンを押下して CSV ファイルを選択後、「インポートを開始する」ボタンを押下すると確認ダイアログが表示されます。「続行する」ボタンを押下するとインポートを開始します。処理の進行状況は処理状況ダイアログで表示されます。

利用者情報連携フィルタ管理画面（インポート：ファイル選択ダイアログの表示）



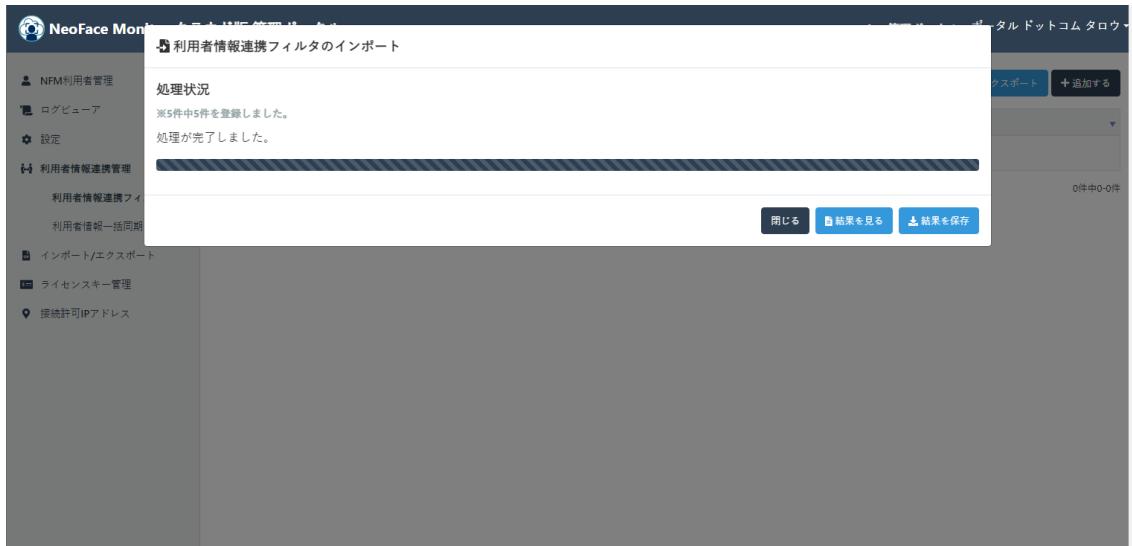
利用者情報連携フィルタ管理画面（インポート：確認ダイアログの表示）



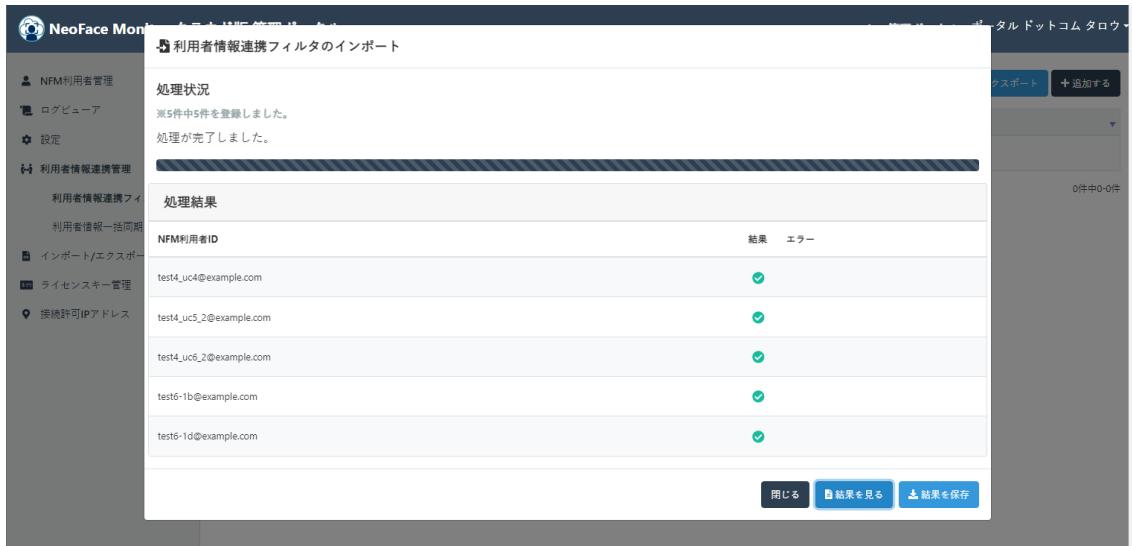
NFM 利用者 ID のインポートが完了すると処理結果が表示されます。「結果を見る」ボタンを押下すると結果の詳細が表示されます。

12. 外部システム連携

利用者情報連携フィルタ管理画面（インポート：実行結果ダイアログの表示）



利用者情報連携フィルタ管理画面（インポート：実行結果ダイアログの表示）



12.4.7. NFM 利用者の一覧ファイルの作成

NFM 利用者 ID の一覧ファイル（CSV ファイル）は以下の表に従って作成してください。

- ・NFM 利用者 ID を新規登録する場合は、「新規登録時」の列を参照してください。
- ・NFM 利用者 ID を削除する場合は、「削除時」の列を参照してください。

CSV ファイルの設定項目一覧

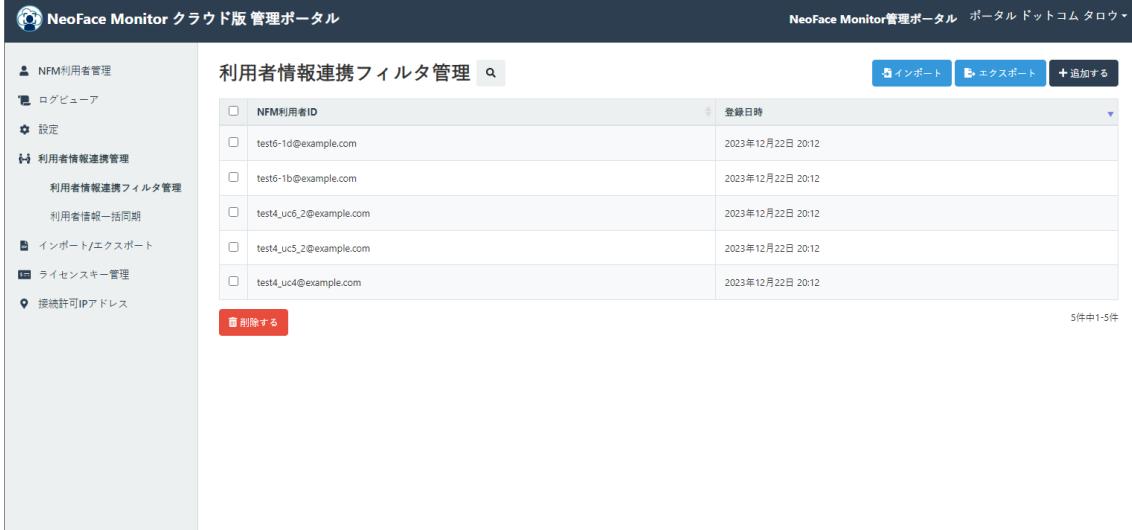
項目名	新規登録時	削除時
削除	削除の列に“”を記入してください。	NFM 利用者 ID を削除する場合のみ、“D”を記入してください。
NFM 利用者 ID	登録する NFM 利用者 ID を記入してください。	削除する NFM 利用者 ID を記入してください。

※NFM利用者IDの一覧ファイルの文字コードは、Shift_JISとUTF-8（BOM なし）をサポートしています。

12.4.8. NFM 利用者の一覧ファイルのエクスポート実行

「エクスポート」ボタンを押下すると、フィルタに登録されている NFM 利用者 ID の一覧ファイル（CSV ファイル）が出力されます。文字コードは UTF-8（BOM なし）となります。

利用者情報連携フィルタ管理画面（エクスポート）



The screenshot shows the 'User Information Association Filter Management' page in the NeoFace Monitor Cloud版 Management Portal. On the left sidebar, there are navigation items: 'NFM User Management', 'Log Viewer', 'Setting', 'User Information Association Management', 'Import/Export', 'License Key Management', and 'Connection License IP Address'. The main area displays a table titled 'User Information Association Filter Management' with a search bar. The table has two columns: 'NFM User ID' and 'Registration Date'. There are five entries listed:

NFM User ID	Registration Date
test6-1d@example.com	2023年12月22日 20:12
test6-1b@example.com	2023年12月22日 20:12
test4_uc6_2@example.com	2023年12月22日 20:12
test4_uc5_2@example.com	2023年12月22日 20:12
test4_uc4@example.com	2023年12月22日 20:12

At the top right of the main area, there are three buttons: 'Import' (インポート), 'Export' (エクスポート), and 'Add' (追加する). Below the table, there is a red button labeled 'Delete' (削除する) and a note indicating '5件中1-5件' (5 items, 1-5).

12.4.9. 利用者情報一括同期の実施

利用者情報連携フィルタに登録されている NFM 利用者 ID を対象として、該当する利用者を NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者として同期を行います。

「同期を開始する」ボタンを押下すると処理を開始します。当該ボタンは、一度実行すると表示されなくなります。

利用者情報一括同期画面

利用者情報連携フィルタが 1 件も登録されていない場合、一括同期は実行できません。

利用者情報一括同期画面（実行不可）

処理中は実行状況が表示されます。「中止する」ボタンを押下すると中断し、同期開始前の状態に戻ります。
完了後に利用者情報一括同期の履歴が表示されます。

利用者情報一括同期画面（実行中）



※「中止する」ボタンを押下後、長時間たっても同期開始前の状態に戻らない場合はサポート窓口にお問い合わせください。

利用者情報一括同期画面（完了）



「詳細」ボタンを押下すると実行履歴の詳細が表示されます。

利用者情報一括同期画面（実行履歴の詳細）

NFM利用者ID	開始日時	終了日時	処理種別	状態
TestUser_Add_20230531_1500_3001	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	●
TestUser_Add_20230531_1500_2001	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	●
TestUser_Add_20230531_1500_1001	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	●
TestUser_Add_20230531_1500_6501	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	●
TestUser_Add_20230531_1500_8501	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	●
TestUser_Add_20230531_1500_4001	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	●
TestUser_Add_20230531_1500_1502	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	●
TestUser_Add_20230531_1500_2501	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	●
TestUser_Add_20230531_1500_7501	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	●

※対象となる NFM 利用者 ID の件数によっては実行時間が長くかかる場合があります。
件数から想定される時間を大幅に過ぎても完了しない場合はサポート窓口にお問い合わせください。

NFM 利用者 ID 1 件あたりの実行時間の目安 : 1~3 秒

12.5. NeoFace Monitor クラウド版から外部システムへの連携

12.5.1. NeoFace Monitor クラウド版から「Bio-IDiom Services for SaaS」への連携

NeoFace Monitor クラウド版で、顔画像（表示画像）が登録されている利用者が、「Bio-IDiom Services for SaaS」の利用者（顔認証対象者）として連携される対象となります。

連携される項目

NeoFace Monitor クラウド版側の項目	「Bio-IDiom Services for SaaS」側の項目
NFM 利用者 ID	顔認証対象者 ID
NFM 利用者名（姓）	顔認証対象者(姓)
NFM 利用者名（ミドルネーム）	顔認証対象者(ミドルネーム)
NFM 利用者名（名）	顔認証対象者(名)
顔画像（表示画像）	顔画像
顔画像（学習画像）	顔画像

連携の対象になっている NFM 利用者の連携される項目の値を変更すると、対応する「Bio-IDiom Services for SaaS」の項目の値も連動して変更されます。

連携の対象になっている NFM 利用者の顔画像（表示画像、学習画像）を削除すると、対応する「Bio-IDiom Services for SaaS」の顔画像が共に削除されます。

操作のパターンと「Bio-IDiom Services for SaaS」側への連携有無

NeoFace Monitor クラウド版側の操作	「Bio-IDiom Services for SaaS」側への連携
NFM 利用者の登録（顔画像登録あり）	「Bio-IDiom Services for SaaS」に顔認証対象者が登録されます。
NFM 利用者の登録（顔画像登録なし）	連携されません。
NFM 利用者の更新（顔画像登録あり）	該当する「Bio-IDiom Services for SaaS」の顔認証対象者に反映されます。
NFM 利用者の更新（顔画像登録なし）	連携されません。
NFM 利用者の更新（登録されている顔画像を削除）	連携されません。
ライセンスキーの利用可能 ID 数超過による利用者顔画像の自動削除処理	連携されません。
NFM 利用者の削除（顔画像登録あり）	該当する「Bio-IDiom Services for SaaS」の顔認証対象者が削除されます。
NFM 利用者の削除（顔画像登録なし）	連携されません。

12.5.2. NeoFace Monitor クラウド版から「Bio-IDiom Services ID 連携」への連携

利用者情報一括同期が完了すると、NeoFace Monitor クラウド版で顔画像が登録されているNFM利用者が、「Bio-IDiom Services ID 連携」の利用者（メンバー）として連携される対象となります。

連携される項目

NeoFace Monitor クラウド版側の項目	「Bio-IDiom Services ID 連携」側の項目
NFM 利用者 ID	メンバー情報のユーザ ID
NFM 利用者名（姓）	メンバープロパティの_BIO(firstName)
NFM 利用者名（ミドルネーム）	メンバープロパティの_BIO(middleName)
NFM 利用者名（名）	メンバープロパティの_BIO(lastName)
顔画像（表示画像）	メンバー情報の生体情報（画像）
メールアドレス	メンバー情報のメールアドレス

連携の対象になっているNFM利用者の連携される項目の値を変更すると、対応する「Bio-IDiom Services ID 連携」の項目の値も連動して変更されます。

連携の対象になっているNFM利用者の顔画像（表示画像）を削除すると、対応する「Bio-IDiom Services ID 連携」の顔認証対象者とその顔画像が共に削除されます。

操作のパターンと「Bio-IDiom Services ID 連携」側への連携有無

NeoFace Monitor クラウド版側の操作	「Bio-IDiom Services ID 連携」側への連携
NFM 利用者の登録（顔画像登録あり）	「Bio-IDiom Services ID 連携」のメンバーが登録されます。
NFM 利用者の登録（顔画像登録なし）	連携されません。
NFM 利用者の更新（顔画像登録あり）	該当する「Bio-IDiom Services ID 連携」のメンバーに反映されます。
NFM 利用者の更新（顔画像登録なし）	連携されません。
NFM 利用者の更新（登録されている顔画像を削除）	連携されません。

ライセンスキーの利用可能 ID 数超過による利用者顔画像の自動削除処理	連携されません。
NFM 利用者の削除（顔画像登録あり）	該当する「Bio-IDiom Services ID 連携」のメンバーが削除されます。
NFM 利用者の削除（顔画像登録なし）	連携されません。

項目の制限一覧

項目名	制限
NFM 利用者 ID	NFM 利用者 ID は 45 文字以内で入力してください。
メールアドレス ※NFM 利用者の更新時のみ	メールアドレスを入力してください。

エラーコードと対処方法一覧

エラーコード	対処方法
IDMS-5012	サポート窓口にお問い合わせください。
BID-ERROR-400	NFM 利用者 ID は 45 文字以内で入力してください。 メールアドレスを入力してください。
BID-ERROR-404	対応する Bio-IDiom Services ID 連携のメンバーが論理削除状態になっています。1 日程度経過してから再度更新を行ってください。

※上記にないエラーは、サポート窓口にお問い合わせください。

12.6. 外部システムから NeoFace Monitor クラウド版への連携

外部システムで顔画像が登録されている利用者のうち、NeoFace Monitor クラウド版で利用者情報連携フィルタに登録されている NFM 利用者 ID に該当する利用者が、NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者として、以後自動で連携される対象となります。

利用者情報連携フィルタの登録に関しては「12.4.1. NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録」をご参照ください。

外部システムから NeoFace Monitor クラウド版への連携はタイマー実行で 15 分おきに実行されるので、情報の反映に 15 分程度時間がかかる場合があります。

12.6.1. 「Bio-IDiom Services for SaaS」から NeoFace Monitor クラウド版への連携

連携される項目

「Bio-IDiom Services for SaaS」側の項目	NeoFace Monitor クラウド版側の項目
顔認証対象者 ID	NFM 利用者 ID
顔認証対象者(姓)	NFM 利用者名(姓)
顔認証対象者(ミドルネーム)	NFM 利用者名(ミドルネーム)
顔認証対象者(名)	NFM 利用者名(名)
顔画像	顔画像(表示画像)

連携の対象になっている顔認証対象者で項目の値を変更すると、対応する NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者の項目の値も連動して変更されます。

連携の対象になっている顔認証対象者で顔画像を削除すると、対応する NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者の対応する顔画像(表示画像、学習画像)も連動して削除されます。

※ 「Bio-IDiom Services for SaaS」から顔認証対象者情報および顔画像が連携された場合、連携された時点では利用者 ID に該当する顔画像が仮登録の状態となります。
クライアントソフトから顔認証を実行した時点で本登録の状態となります。

※ 「Bio-IDiom Services for SaaS」では顔認証対象者 ID の登録が必要です。連携ができないなくなるため、顔認証対象者 ID は変更しないでください。また、256 文字以内で登録してください。

※ 「Bio-IDiom Services for SaaS」から NeoFace Monitor クラウド版に顔画像を連携する際は、最も古い画像が登録されます。

12.6.2. 「Bio-IDiom Services ID 連携」から NeoFace Monitor クラウド版への連携

連携される項目

「Bio-IDiom Services ID 連携」側の項目	NeoFace Monitor クラウド版側の項目
メンバー情報のユーザ ID	NFM 利用者 ID
メンバープロパティの_BIO(firstName	NFM 利用者名（姓）
メンバープロパティの_BIO(middleName	NFM 利用者名（ミドルネーム）
メンバープロパティの_BIO(lastName	NFM 利用者名（名）
メンバー情報の生体情報（画像）	顔画像（表示画像）
メンバー情報のメールアドレス	メールアドレス

連携の対象になっているメンバーで項目の値を変更すると、対応する NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者の項目の値も連動して変更されます。

※「Bio-IDiom Services ID 連携」からメンバー情報および生体情報（画像）が連携された場合、連携された時点では利用者 ID に該当する顔画像が仮登録の状態となります。
クライアントソフトから顔認証を実行した時点で本登録の状態となります。

※連携を開始し、運用中の状態で、「利用者情報連携フィルタの追加」を実施した場合、「利用者情報連携フィルタの追加」を実施した時点で「Bio-IDiom Services ID 連携」のメンバー情報を検索し、対象者の情報の以下の項目が NFM 利用者情報に登録されます。この時点では、顔画像は連携されませんが、「Bio-IDiom Services ID 連携」の生体情報（画像）が更新された時点で顔画像が連携されます。

「利用者情報連携フィルタの追加」を実施したときに連携される項目

「Bio-IDiom Services ID 連携」側の項目	NeoFace Monitor クラウド版側の項目
メンバー情報のユーザ ID	NFM 利用者 ID
メンバー情報の苗字（姓）	NFM 利用者名（姓）
メンバー情報の名前（名）	NFM 利用者名（名）
メンバー情報のメールアドレス	メールアドレス

13. 接続許可 IP アドレス

本章では、システム管理者用・グループ管理者用の機能へアクセスできる IP アドレスを制限する機能について説明します。

13.1 接続許可 IP アドレスの表示

メニューエリアから「接続許可 IP アドレス」を押下し、接続許可 IP アドレス一覧画面を表示します。

項目レイアウト

項目名	説明
現在接続中の IP アドレス	現在接続している IP アドレスです。
接続許可 IP アドレス一覧	検索結果の一覧です。
検索結果行数	検索結果の行数です。
ページング	一覧の表示しているページを切替えます。

13.2 接続許可 IP アドレスの一覧項目

接続許可 IP アドレス一覧の各項目について説明します。

接続許可 IP アドレス一覧画面

項目名	説明
選択チェックボックス	接続許可 IP アドレスを削除する際の対象を選択します。
開始 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の開始アドレスです。
終了 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の終了アドレスです。

一覧表示の項目

項目名	説明
選択チェックボックス	接続許可 IP アドレスを削除する際の対象を選択します。
開始 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の開始アドレスです。
終了 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の終了アドレスです。

13.3 接続許可 IP アドレスの登録

接続許可 IP アドレスの登録を行います。
最初の状態では、接続許可 IP アドレスは登録されていません。接続を許可する IP アドレスを追加してください。

画面の「追加する」ボタンを押下してください。

接続許可 IP アドレス一覧画面（初期状態の例）

The screenshot shows the NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal. The left sidebar has links for NFM User Management, Log Viewer, Settings, User Information Collection Management, Import/Export, License Key Management, and Connection Permit IP Address. The main area is titled 'Connection Permit IP Address' with a sub-instruction: 'By registering connection permit IP addresses, you can limit the devices that can be displayed on the system administrator management portal screen.' It shows a table with columns for 'Start IP Address' and 'End IP Address'. A message at the bottom says 'No matching records found.' There is a red 'Delete' button at the bottom left and a blue 'Add' button at the top right.

13.4 接続許可 IP アドレスの新規登録

接続許可 IP アドレスの追加画面が表示されます。
必要な項目を入力し、「保存する」ボタンを押下してください。

接続許可 IP アドレス一覧画面（新規登録の例）



接続許可 IP アドレス情報

項目名	説明
開始 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の開始アドレス
終了 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の終了アドレス

13. 接続許可 IP アドレス

入力にエラーがあるとメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認のうえ入力内容を修正し、「保存する」ボタンを押下してください。

接続許可 IP アドレス一覧画面（エラーの例）

The screenshot shows the NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal's interface. On the left sidebar, there are several menu items: NFM利用者管理, ログビューア, 設定, 利用者情報連携管理, インポート/エクスポート, ライセンスキー管理, and 接続許可IPアドレス. The '接続許可IPアドレス' item is highlighted. The main area displays a table of connection permit IP addresses. A modal window titled '接続許可IPアドレスの追加' is open, showing an error message: '入力内容に不備があります。入力項目をご確認ください。' (Input content is invalid. Please check the input items.). It also shows two input fields: '開始IPアドレス' with value 'aaa' and '終了IPアドレス' with value 'zzzz', both of which are marked as invalid (red border). At the bottom of the modal are 'キャンセル' and '保存する' buttons.

各項目について入力のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	説明
開始 IP アドレス	空	開始 IP アドレスが入力されていません。
	IP アドレス (IPv4) の形式以外	有効な IP アドレス (IPv4) を入力してください。
終了 IP アドレス	空	終了 IP アドレスが入力されていません。
	IP アドレス (IPv4) の形式以外	有効な IP アドレス (IPv4) を入力してください。

※接続許可 IP アドレスが 1 件以上登録されると接続許可 IP アドレスのチェックが行われ、登録されていない範囲の IP アドレスは接続が制限されます。

保存しようとしている設定により、現在接続中の IP アドレスが接続制限の対象となる場合は確認メッセージが表示されます。
登録後、現在接続中の IP アドレスからのアクセスが制限されますのでご注意ください。

万が一登録ミス等で、システム管理者の使用する IP アドレスが接続制限の対象となり、システム管理者として操作ができなくなった場合は、サポート窓口までお問い合わせいただければ弊社側でリセットを行うことが可能です。

接続許可 IP アドレス登録時の確認メッセージ



13.5 接続許可 IP アドレスの削除

削除したい行にチェックを入れて「削除する」ボタンを押下します。

接続許可 IP アドレス一覧画面（削除の例：初期状態）

開始IPアドレス	終了IPアドレス
<input checked="" type="checkbox"/> 1.1.1.1	2.2.2.2

接続許可 IP アドレス一覧画面（削除：確認ダイアログの表示）

13.6 接続許可 IP アドレスのエラー通知

IP アドレス制限された場合、インストーラダウンロード画面に以下のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージの内容：「許可された IP アドレス以外からの接続のため、利用者権限でログオンしています」



接続許可 IP アドレスが取得できない場合、インストーラダウンロード画面に以下のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージの内容：「許可された IP アドレスを確認できないため、利用者権限でログオンしています」

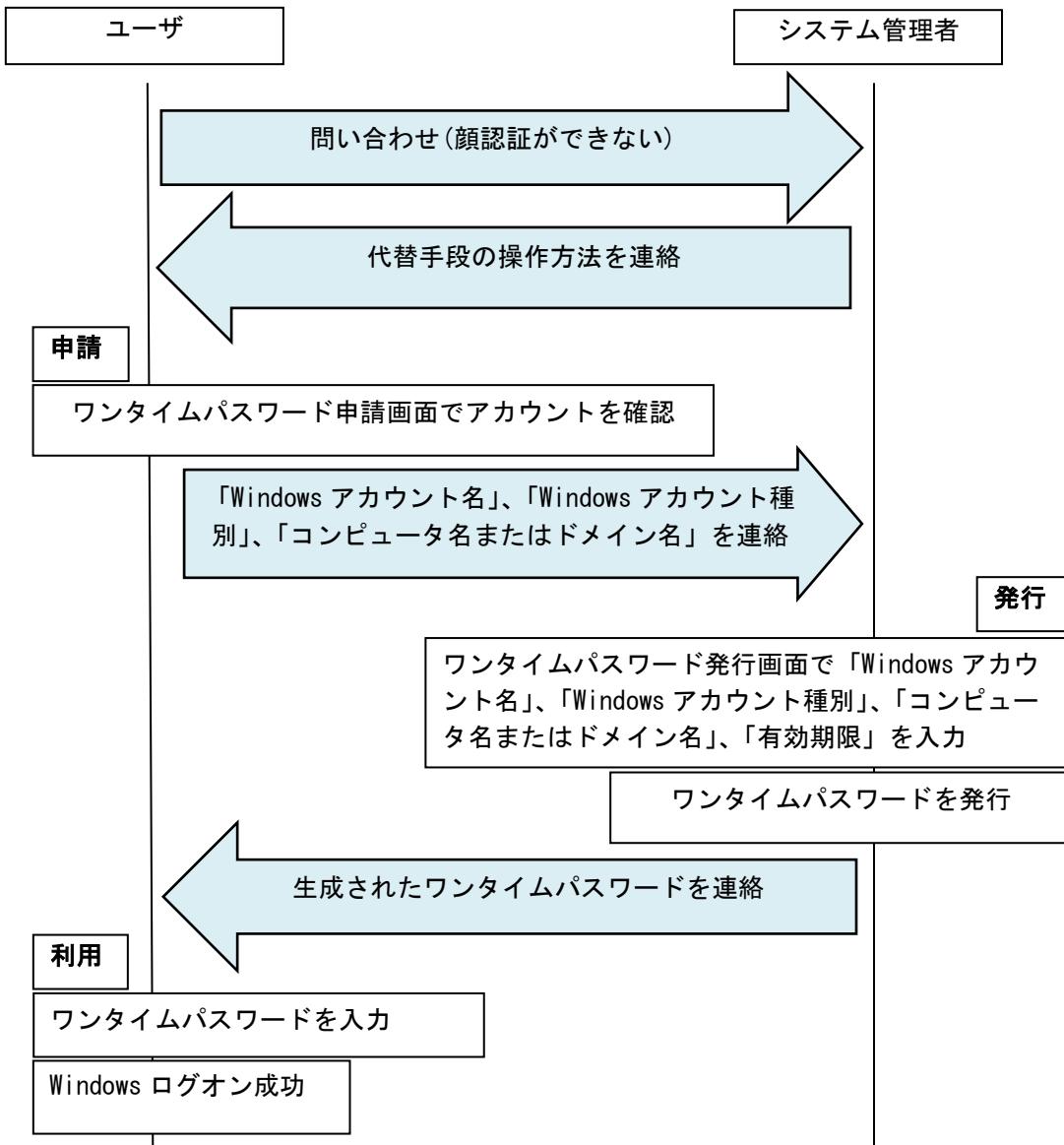


14. ワンタイムパスワードの利用

本章では、代替認証としてワンタイムパスワードを申請/発行から利用するまでの手順を説明します。

14.1 ワンタイムパスワード利用の流れ

ワンタイムパスワードを発行する前に、Windows ログオン認証ポリシー画面で設定を行う必要があります。詳細は「9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定」をご参照ください。



※Windows アカウントにパスワードを設定していない場合は、ワンタイムパスワードが使用できません。必ずパスワードを設定してください。

14.2 ワンタイムパスワードの申請手順

ワンタイムパスワード申請画面でアカウントを確認します。ワンタイムパスワード申請画面の詳細は、『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「7.4. 代替認証」手順1～手順4をご参照ください。

14.3 ワンタイムパスワードの発行手順

ワンタイムパスワードの発行を行います。
最初の状態では、ワンタイムパスワードは発行されていません。必要な項目を入力し、画面の「発行する」ボタンを押下してください。

ワンタイムパスワード発行画面（初期状態の例）

ワンタイムパスワードの入力項目

項目名	説明
Windows アカウント名	ワンタイムパスワード発行対象の Windows アカウント名
Windows アカウント種別	ワンタイムパスワード発行対象の Windows アカウント種別
コンピュータ名	ワンタイムパスワード発行対象のコンピュータ名
有効期限	ワンタイムパスワードの有効期限

入力にエラーがあるとメッセージが表示されます。
エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認のうえ入力内容を修正し、「発行する」ボタンを押下してください。

ワンタイムパスワード発行画面（エラーの例）

各項目について入力のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	説明
Windows アカウント名 ※Windows アカウント種別で「ローカル」または「ドメイン」を選択した場合	空	Windows アカウント名は必須です。
	21 文字以上	Windows アカウント名は 20 文字以内で入力してください。
	文字種	Windows アカウント名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
表示名 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	空	表示名は必須です。
	21 文字以上	表示名は 20 文字以内で入力してください。
	文字種	表示名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ

14. ワンタイムパスワードの利用

コンピュータ名 ※Windows アカウント種別で「ローカル」を選択した場合	空	コンピュータ名は必須です。
	16 文字以上	コンピュータ名は 15 文字以内で入力してください。
	文字種	コンピュータ名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
ドメイン名 ※Windows アカウント種別で「ドメイン」を選択した場合	空	ドメイン名は必須です。
	255 文字以上	ドメイン名は 255 文字以内で入力してください。
	文字種	半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
Azure AD ドメイン名 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	空	Azure AD ドメイン名は必須です。
	256 文字以上	Azure AD ドメイン名は 255 文字以内で入力してください。
	文字種	Azure AD ドメイン名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
有効期限（自由入力）	空	コンピュータ名は必須です。
	1~999 までの整数值以外	有効期限は 1~999 までの整数値を指定してください。

Windows アカウント情報の存在チェック

項目名	エラーメッセージ
Windows アカウント名または表示名	指定したアカウント情報が見つかりませんでした。
コンピュータ名またはドメイン名または Azure AD ドメイン名	

14. ワンタイムパスワードの利用

ワンタイムパスワードが発行されると、ワンタイムパスワードが表示されます。

ワンタイムパスワード発行画面（発行されたワンタイムパスワード例）

The screenshot shows the NeoFace Monitor Cloud版 Management Portal's One-Time Password issuance interface. On the left sidebar, under the 'One-Time Password Issuance' section, the 'One-Time Password' tab is selected. The main form is titled 'One-Time Password Issuance'. It contains the following fields:

- Windows Account Name: test1
- Windows Account Type: ドメイン (Domain)
- Domain Name: test1
- Valid Period: 1日 (1 day)
- Reset Input Content: 入力内容をリセットする (Reset input content)
- One-Time Password: 3347548723142
- Copy to Clipboard: クリップボードにコピー (Copy to clipboard)

「クリップボードにコピーする」ボタンを押下すると、クリップボードにワンタイムパスワードがコピーされます。

「入力内容をリセットする」ボタンを押下すると、発行されたワンタイムパスワードが無効になります。

14.4 ワンタイムパスワード利用手順

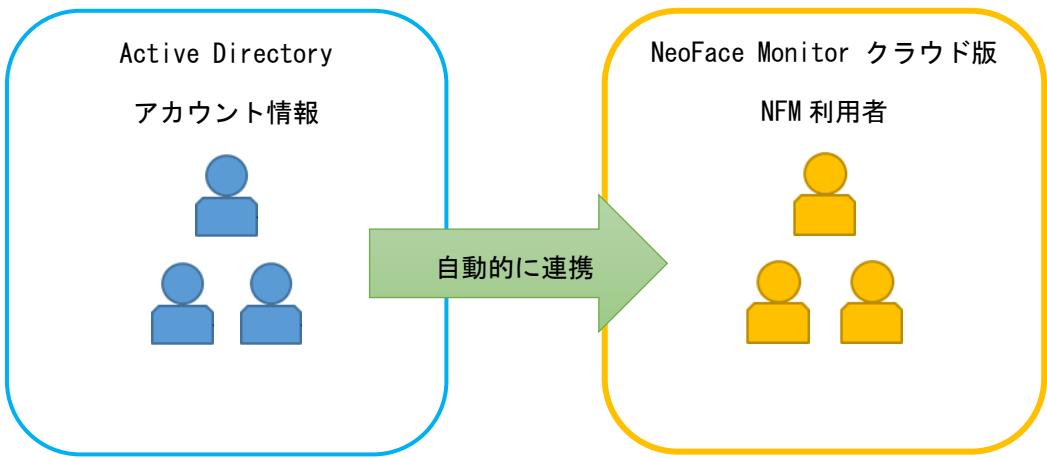
ワンタイムパスワード入力画面で、管理者より発行されたワンタイムパスワードを入力してください。正しいワンタイムパスワードが入力されていれば、Windows ログオンが成功します。

ワンタイムパスワード入力画面の詳細は、『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「7.4. 代替認証」手順1～手順4をご参照ください。

※ クライアント端末がオフラインでも、ワンタイムパスワードの利用は可能です。

15. AD プロビジョニング

本章では、Active Directory のアカウント情報との連携機能について説明します。



Active Directory のアカウント情報と NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者を自動的に連携（追加・変更・削除）します。

15.1. 動作環境

AD プロビジョニング機能を使用するには、中継用 PC に AD プロビジョニングツールをインストールする必要があります。

AD プロビジョニングツールは、以下の動作環境が必要です。

対応 OS ※ ²	Windows® 11 Pro Version 22H2/23H2 Windows® 11 Enterprise Version 21H2/22H2/23H2 Windows® 11 IoT Enterprise Version 21H2/22H2/23H2 Windows® 10 Pro Version 22H2 (64 ビット版) Windows® 10 Enterprise Version 21H2/22H2 (64 ビット版) Windows® 10 Enterprise 2016 LTSB/2019 LTSC/2021 LTSC (64 ビット版) Windows® 10 IoT Enterprise 2016 LTSB/2019 LTSC/2021 LTSC (64 ビット版) Windows® Server 2016/2019/2022
-------------------------	---

AD プロビジョニングツールを実行するために、以下の権限が必要です。

- ・インストーラの実行権限
Windows 管理者権限
- ・タスクスケジューラの実行権限
システムユーザー
- ・AD プロビジョニングを実行するための実行権限
Administrators または Domain Admins 権限
- ・AD にアクセスするための権限
Administrators または Domain Admins 権限



NFM クライアントソフトがインストールされている PC で、AD プロビジョニングツールを動作させることはできません。

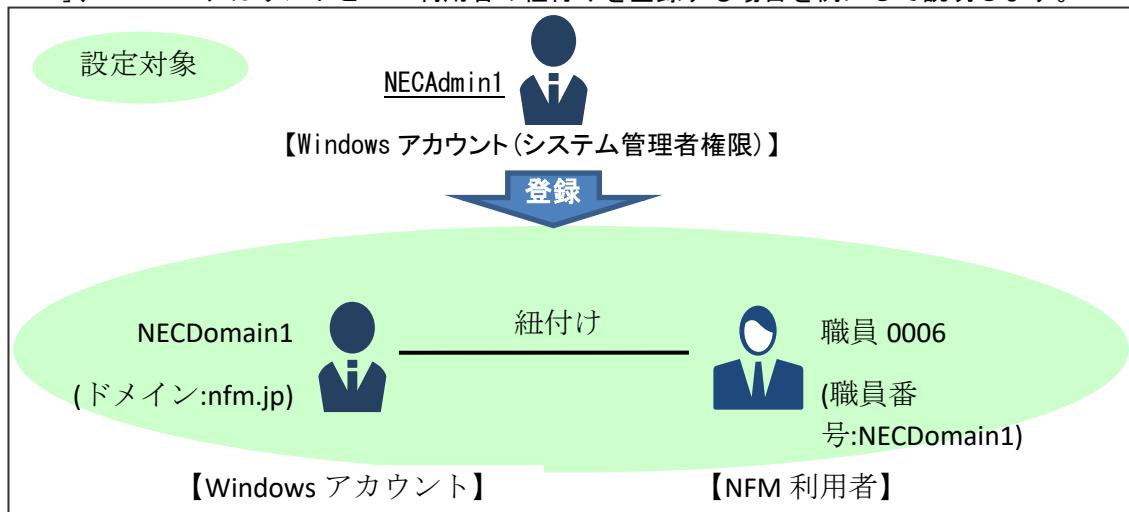
※² マイクロソフト社がサポートを実施している OS バージョンが AD プロビジョニングツールとしてサポートする OS バージョンとなります。最新の OS 対応状況については下記サイトにてご確認ください。

<https://jpn.nec.com/products/bizpc/promotion/nfm-cloud/environments.html>

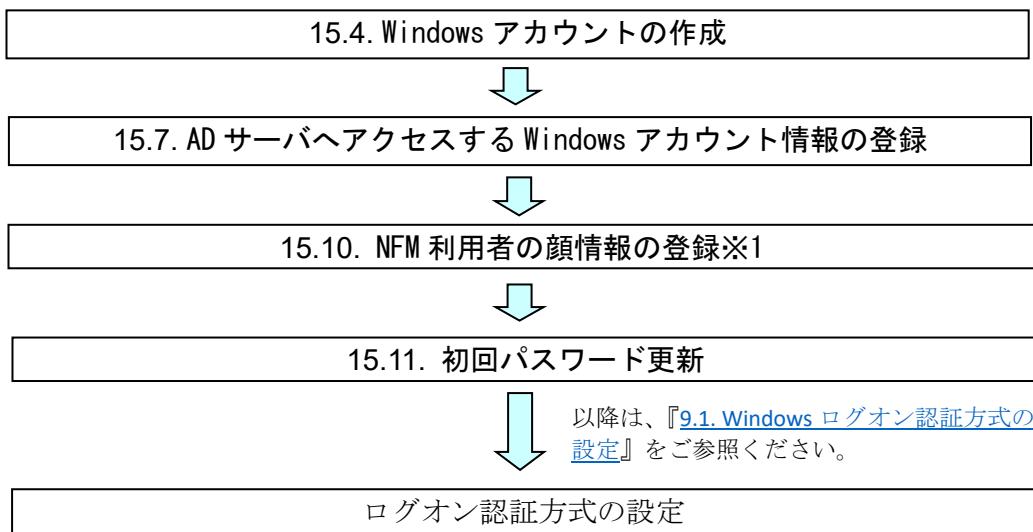
15.2. Windows アカウント情報およびNFM 利用者情報の自動登録

本章では、AD プロビジョニングツールを使用して、NFM 利用者を自動登録する際の手順を説明します。

ここでは、以下の図のように、システム管理者権限の Windows アカウント [NECAdmin1] を使用して、新たに管理ポータルに、Windows アカウント [NECDomain1]、NFM 利用者 [職員 0006]、Windows アカウントと NFM 利用者の紐付けを登録する場合を例にして説明します。



NFM 利用者の追加手順は以下の通りです。



※1 顔認証を行わない場合は、顔情報の登録は必須ではありません。

15.3. AD プロビジョニングツールの動作概要

AD プロビジョニングツールにて、AD サーバに登録した Windows アカウントを管理ポータルに自動登録します。

また、AD サーバ上にて Windows アカウントの追加・削除が行われた場合、定期的にそれを管理ポータルに反映します。

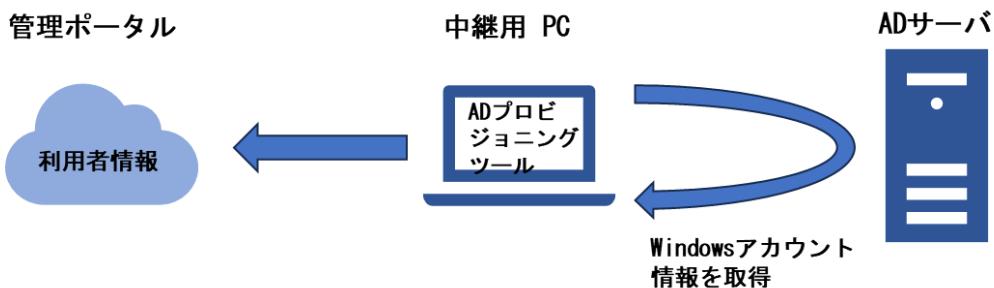


ドメインツリーであっても、AD プロビジョニングツールと同じドメインの AD サーバに登録した Windows アカウントのみ、管理ポータルに登録します。

AD サーバへアクセスして取得した Windows アカウントをベースに、管理ポータルに以下 3 つの情報を自動登録します。

- ・ Windows アカウント情報
- ・ NFM 利用者情報
- ・ Windows アカウントと NFM 利用者の紐付け情報

管理ポータルに利用者情報が登録されると、システム管理者に NFM 利用者登録のお知らせメールが通知されます。



15.3.1. 事前準備

本機能で登録対象となる AD サーバ上の Windows アカウントは、AD サーバ上で無効に設定されていないアカウントになります。

また、AD サーバ上のユーザーログオン名、ドメイン、フルネームは、以下の条件を満たす必要があります。

AD サーバ上の項目	条件
ドメイン	半角英数記号 255 文字まで登録可能です。 ただし、以下は登録できません。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ またはスペースのみ
ユーザーログオン名	半角英数記号 20 文字まで登録可能です。 ただし、以下は登録できません。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ またはスペースのみ
フルネーム	半角全角 20 文字まで入力可能です。 ただし、以下は入力できません。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ またはスペースのみ および、下記以外の 2 バイト文字 記号、英数字、ひらがな、カタカナ、JIS 第一水準漢字お よび第二水準漢字

条件の文字数制限を超える文字は、先頭から制限された文字数までが登録されます。



ドメイン、ユーザーログオン名は、一度文字数制限を超えて登録してしまうと修正できません。

フルネームは、文字数制限を超えて登録した後も修正可能です。

15.3.2. NeoFace Monitor で登録される項目

本機能では、AD サーバ上の情報を元に NeoFace Monitor に以下の情報が登録されます。パスワードは登録されませんので、NeoFace Monitor でログオンする時に設定、もしくは、事前にシステム管理者により、パスワード登録しておく必要があります。

AD サーバ上の項目	NeoFace Monitor 上の項目
ドメイン	ドメイン名
ユーザーログオン名	アカウント名
フルネーム	利用者 ID 利用者名



管理ポータル上に、AD サーバ上のユーザーログオン名と同名のアカウント名または利用者 ID が登録されている場合は、その Windows アカウント情報の自動登録は行われません。

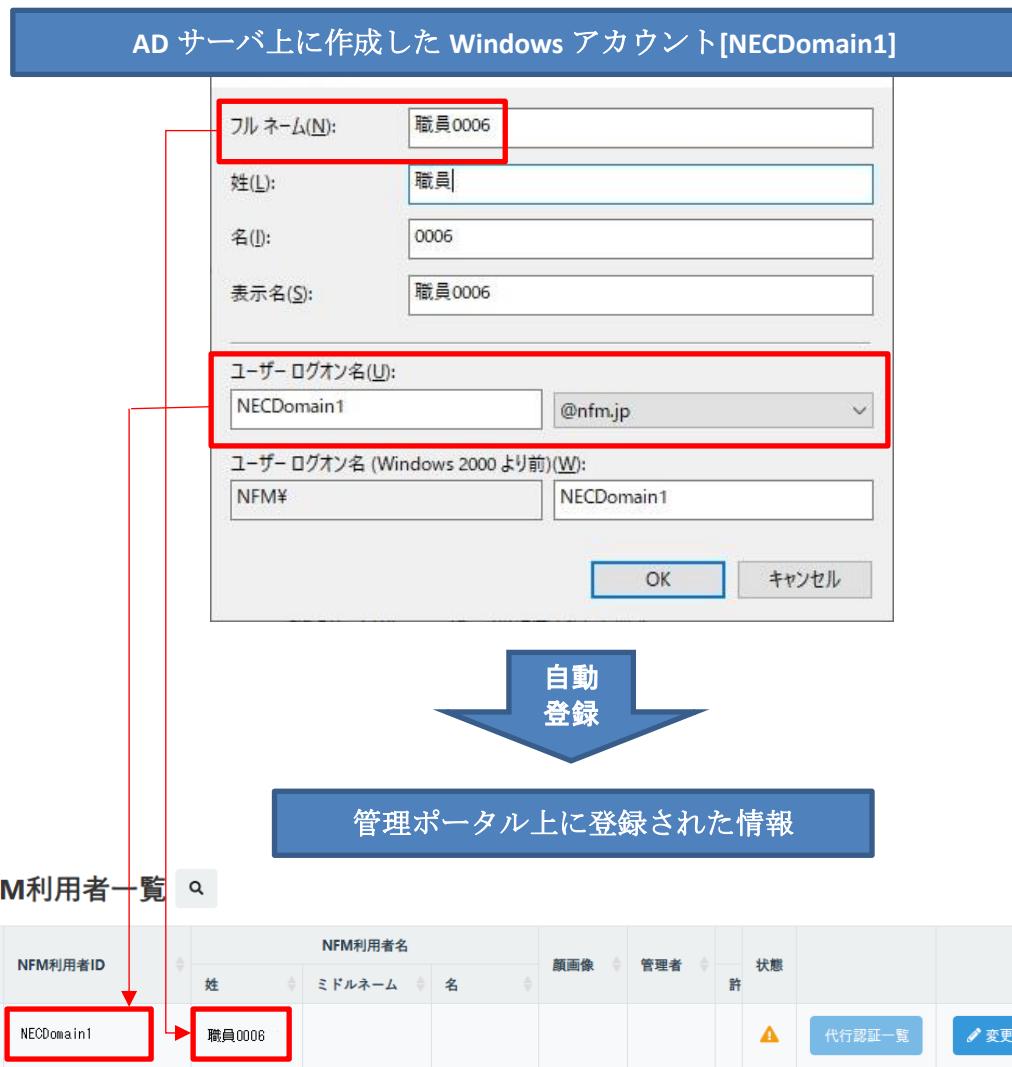
自動登録が行われなかった Windows アカウント情報は他の登録方式で登録することができます。



AD プロビジョニング利用時に、管理ポータル上で情報を更新し、AD プロビジョニングの対象外となった場合は、対象となる AD サーバ上の Windows アカウントを一度「無効」にし、30 分程度時間を空けたうえで、再度「有効」に戻すことで、AD プロビジョニングの対象に戻すことが可能です。

AD プロビジョニングツールによる自動登録によって登録される項目を、Windows アカウント [NECDomain1] を例に説明します。

- 作成した Windows アカウントは AD プロビジョニングツールにより自動で登録されます。Windows アカウント [NECDomain1] は以下の通りに登録されます。



「15.6. AD サーバへアクセスする Windows アカウント情報の登録」を行うことで、Windows アカウント情報のプロビジョニングを実行するようになります。

AD プロビジョニングツールをインストール後、タスクスケジューラに [NFM AdProvisioning Task] タスクが登録されます。[NFM AdProvisioning Task] タスクから AD プロビジョニングツールが実行されます。トリガー設定項目は以下の通りです。

項目	値
タスクの開始	スタートアップ時
遅延時間	5 分間
繰り返し間隔	15 分間
継続時間	無期限

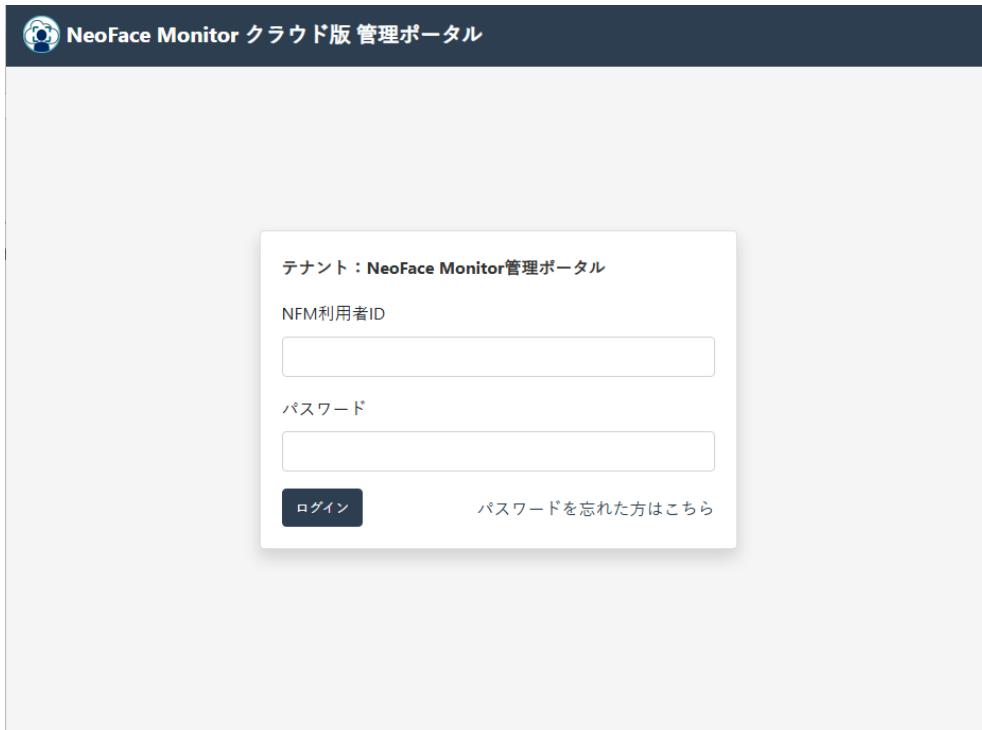
15.4. Windows アカウントの作成

Active Directory に、Windows アカウントを作成します。すでに作成済みの場合は、本手順は省略してください。

Active Directory に Windows アカウントを作成する手順は、Microsoft 社が公開しているマニュアル類をご参照ください。

15.5. AD プロビジョニングツールのダウンロード

- NFM 利用者登録メールに記載されている URL をクリックし、[NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル]を開きます。



- AD プロビジョニングツールのダウンロードはシステム管理者権限が付与された NFM 利用者 ID で管理ポータルにログインする必要があります。[NFM 利用者 ID] と [パスワード] を入力し、[ログイン] を押下します。
- サブメニュー ボタンを押下し、サブメニューから [インストーラダウンロード] を選択してください。

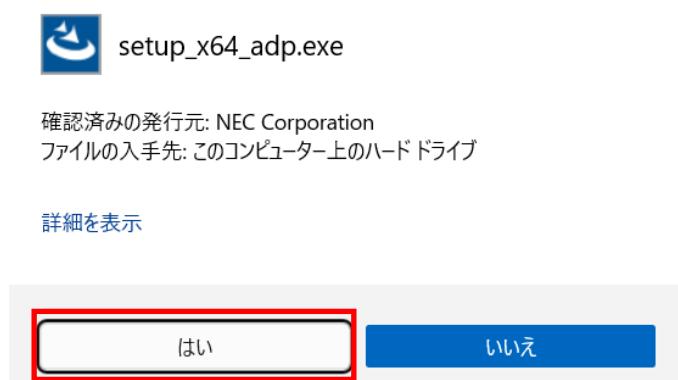
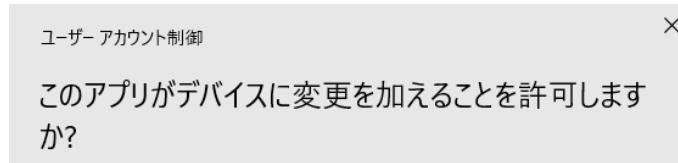


4. [インストーラのダウンロード]が表示されます。
AD プロビジョニングツール インストーラのダウンロードの[次へ]を押下して下さい。

5. [インストーラのダウンロード]が表示されます。
[ダウンロード]を押下して下さい。操作を選んでくださいと表示されたら、[開く]を選択します。他の作業後にインストールする場合は、[保存]を選択します。

15.6. AD プロビジョニングツールのインストール

- 「15.5. AD プロビジョニングツールのダウンロード」にて[開く]を選択した場合は、手順 2. に進みます。
[保存]を選択した場合は、ダウンロードした setup_x64_adp.exe を右クリックし、[管理者として実行]を押下します。
- 以下のような確認を求められた場合は、[はい]を押下します。
インストールのための設定画面に移ります。



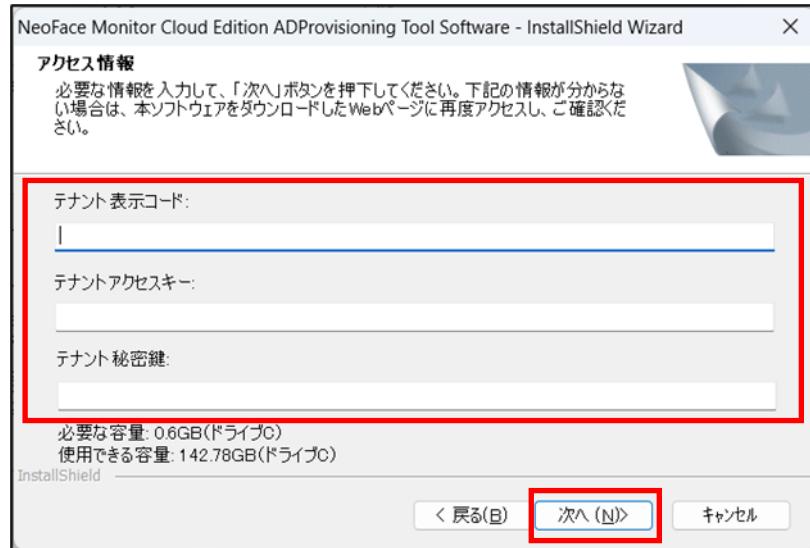
- [ADProvisioning Tool Software セットアップへようこそ]ダイアログが表示されます。
[次へ]を押下します。

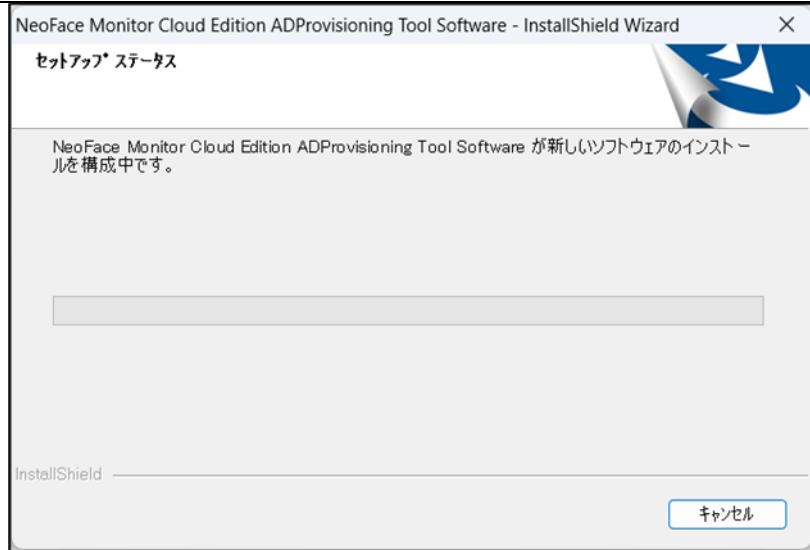


4. [使用許諾契約]ダイアログが表示されます。表示されている内容をご確認ください。
同意される場合は、[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して[次へ]を押下します。



5. [アクセス情報]ダイアログが表示されます。AD プロビジョニングツールソフト ダウンロード時にメモしておいた[テナント表示コード]、[テナントアクセキー]、[テナント秘密鍵]を入力します。[次へ]を押下します。





6. [InstallShield Wizard の完了]ダイアログが表示されたらインストールは終了です。
[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択して [完了]を押下します。
OS を再起動します。



15.7. AD サーバへアクセスする Windows アカウント情報の登録

AD サーバへアクセスする Windows アカウント情報を AD プロビジョニングツールに登録します。

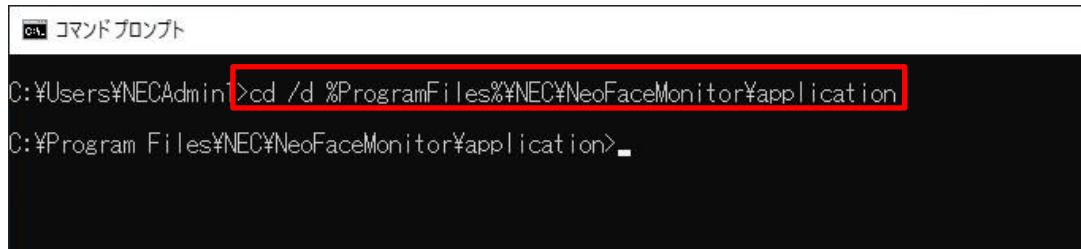
登録が完了すると、Windows アカウント情報のプロビジョニングが実行されます。

登録する Windows アカウント情報は、以下の条件を満たす必要があります。

- ・AD サーバに登録されている

以下で、AD プロビジョニングツールを用いて、Windows アカウント情報(本章の例では、NECAdmin1)を、管理ポータルに登録する手順を説明します。

1. 対象の AD プロビジョニングツールに、Windows アカウント(Administrators 権限 または、Domain Admins 権限)で OS ログオンします。
2. Windows 10 では、スタートメニューから[Windows システムツール]-[コマンドプロンプト]を押下します。
Windows 11 では、スタートメニューから[すべてのアプリ]-[Windows ツール]-[コマンド プロンプト]を押下します。
Windows Server ではスタートメニューから[コマンドプロンプト]を押下します。
3. [コマンドプロンプト]が表示されます。
以下のコマンドを入力し、ディレクトリを移動します。
 - cd△/d△%ProgramFiles%¥NEC¥NeoFaceMonitor¥application
(△は半角スペースを表します)



```
cmd コマンドプロンプト
C:\Users\NECAdmin>cd /d %ProgramFiles%\NEC\NeoFaceMonitor\application
C:\Program Files\NEC\NeoFaceMonitor\application>
```

4. 以下のコマンドを入力し、Windows アカウント名を登録します。

- ・NFMAAdProvisioning△s=登録する Windows アカウント名
(△は半角スペースを表します)

(本例では、[s=]に「NECAdmin1」を入力しています。)

The screenshot shows a Windows Command Prompt window titled 'コマンドプロンプト'. The command 'NFMAAdProvisioning.exe s=NECAdmin1' is typed into the prompt. The parameter 's=' and its value 'NECAdmin1' are highlighted with red boxes.

パラメーターの内容は以下の通りです。

パラメーター	設定値	説明
s=	システム管理者アカウント名	Active Directory に登録されている Windows アカウントを入力してください。 半角英数記号 20 文字まで登録可能です。 ただし、以下は登録できません。 " / ¥ [] : ; = , + * ? < > @ またはスペースのみ

AD サーバに登録されている Windows アカウント情報がプロビジョニング対象になります。

管理ポータル上に、AD サーバ上のユーザーログオン名と同名のアカウント名または利用者 ID が登録されている場合は、その Windows アカウント情報の新規登録は行われません。



AD プロビジョニングでエラーが発生した場合、管理ポータル上にエラー表示を行います。「[15.12. AD プロビジョニング連携のエラー通知](#)」を参照してください。

AD プロビジョニングツールによる自動登録が行われると、NFM 利用者登録のお知らせメールが通知されます。NFM 利用者 ID、パスワード等のお知らせメールの内容をシステム管理者から NeoFace Monitor クラウド版の利用者にお伝えください。

15.8. Windows アカウント情報のプロビジョニング停止/再開

AD サーバに登録されている Windows アカウントの管理ポータル上への自動登録を停止する場合は、AD プロビジョニングツールのタスクスケジューラを起動し、[NFM AdProvisioning Task] タスクを無効化します。

また、[NFM AdProvisioning Task] タスクを無効化後に、有効化することで再開することが可能です。

タスクスケジューラに登録される AD プロビジョニングの繰り返し間隔の初期値は 15 分です。繰り返し間隔の時間を変更することで、自動登録の間隔を変更することができます。

タスクスケジューラは、「ファイル名を指定して実行」から「Taskschd.msc」と入力することで起動可能です。

タスクスケジューラの操作手順は、Microsoft 社が公開しているマニュアル類をご参照ください。

15.9. AD サーバとの同期

プロビジョニング実行後、Active Directory の Windows アカウントの追加・削除が行われた場合、定期的に管理ポータルに反映します。

・アカウント追加

AD サーバ上にて Windows アカウントの追加が行われた場合、管理ポータルに反映します。追加予定のアカウントと同じアカウント、NFM 利用者が既に管理ポータルに登録済みの場合は、アカウントを追加せずプロビジョニング管理対象外になります。

※プロビジョニング実行により管理ポータルに NFM 利用者の登録が行われた場合、姓に AD サーバ上の名前が設定され、名には全角空白文字が設定されます。NFM 利用者を利用者情報の更新画面で更新する際、名が必須入力エラーとなりますので、全角空白文字を削除して値を入力してください。

・アカウント情報変更

AD サーバ上にて Windows アカウントの変更が行われた場合、管理ポータルに反映します。変更したアカウントが管理ポータルで NFM 利用者 ID、NFM 利用者名、Windows アカウント名のいずれかの情報を更新している場合は、プロビジョニング管理対象外になります。

・アカウント削除

AD サーバ上にて Windows アカウントの削除が行われた場合、管理ポータルに反映します。アカウントを削除した場合、プロビジョニングによって追加された利用者も削除します。ただし、プロビジョニングによって追加された利用者に対し、管理ポータルからアカウントが追加されていた場合、プロビジョニングで追加されたアカウントのみ削除して利用者は削除されません。

15.10. NFM 利用者の顔情報の登録

顔認証を行う NFM 利用者に対して顔情報を登録します。顔認証を行わない場合は実施不要です。

15.10.1. NFM 利用者の顔情報の一括登録

インポート／エクスポートメニューから、顔認証を行う NFM 利用者に対して顔情報を一括で登録します。

本書の「5. NFM 利用者情報の一括登録」の手順を参考に、顔認証を行う NFM 利用者に対して、顔画像の設定を行います。

15.10.2. NFM 利用者の顔情報の個別登録

顔認証を行う NFM 利用者に対して顔情報を個別で登録します。

顔情報の登録する手順は「NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル」をご参照ください。

15.11. 初回パスワード更新

AD プロビジョニングツールにて、NFM 管理ツール上に登録された Windows アカウントは、Windows パスワードが未設定の状態となるため、該当の Windows アカウントで OS ログオンする際に、初回ログオン時にパスワード更新のダイアログを表示します。

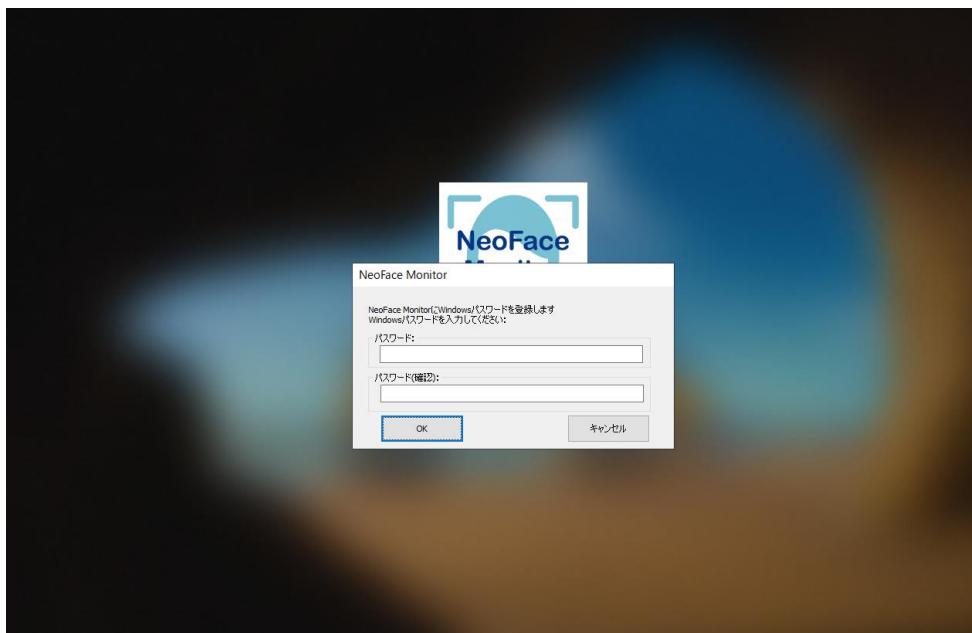
以下の手順を行うことにより、パスワードを設定してください。

なお、パスワード認証を含む認証方法の場合は、初回パスワード更新が行われません。



管理ポータル上に登録されている Windows パスワードが、未設定の状態になりますので、初回パスワード更新を実施しない限り、OS ログオンができなくなりますのでご注意ください。

1. 該当の Windows アカウントで、OS ログオンすると下記の画面が表示されるので、パスワードを設定してください。



15.12. AD プロビジョニング連携のエラー通知

AD プロビジョニングツールと Active Directory のアカウント情報の自動連携でエラーが発生した場合、NFM 利用者一覧画面にエラーメッセージが表示されます。

The screenshot shows the 'NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル' interface. On the left, there's a sidebar with 'NFM利用者管理' selected. The main area has a red header bar with the text '① ADプロビジョニングツールエラー情報'. A yellow callout box points to this header. Below it is a table titled 'NFM利用者名' with columns for 'NFM利用者ID', '名', '顔画像', '管理者', '許可する', and '状態'. Each row contains a checkbox, a name like 'LongRun_3599_20241007_064830', and a status icon (yellow triangle). To the right of the table is a pagination control showing page 1 of 100.

エラーメッセージをクリックするとエラーの詳細が表示されます。

This screenshot shows the same portal interface as above, but with a modal dialog box overlaid on the 'NFM利用者一覧' table. The modal has a title '① ADプロビジョニングツールエラー情報' and contains text explaining the error: 'プロビジョニングエンジンのADプロビジョニングツールにて、ADサーバへのアクセスに失敗しています。以下の原因が考えられます。' followed by two bullet points: '・パスワードが古い可能性があります。' and '・ネットワークにアクセスできない可能性があります。' At the bottom of the modal is a '閉じる' (Close) button.

16. 操作ログ

16.1. 操作ログの出力

操作ログを出力して、管理ポータルの操作の履歴を確認可能です。

サブメニューエリアから「操作ログ出力」を押下し、操作ログ出力画面を表示します。

The screenshot shows the NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal. On the left, there's a sidebar with various management options like NFM利用者管理, ログビューア, 設定, etc. The main area is titled 'NFM利用者一覧' and displays a table of user information. In the top right corner of the main area, there's a yellow callout box containing the text '操作ログ出力をクリック' (Click to output operation log). Below the main area, there's a red '削除する' (Delete) button and a note indicating 11件中1-11件 (11 items, 1-11).

操作ログ出力画面

The screenshot shows the '操作ログの出力' (Output Operation Log) page. On the left, there's a sidebar with management options. The main area has a title '操作ログの出力' and a subtitle '操作日時'. Below that is a date and time input field with the value '2024/10/11 00:00 ~ 2024/10/11 15:47'. To the right of the input field is a large blue '出力する' (Output) button.

出力条件を入力して「出力する」ボタンを押下すると出力を開始します。

操作ログの出力条件

項目名	出力内容
操作日時	出力範囲の日時を FROM～TO で指定します。

操作ログの出力対象となる操作

メニュー	出力対象となる操作
ログイン／ログアウト	ログイン実行／失敗 ログアウト実行
パスワード変更	パスワード変更
NFM 利用者管理	NFM 利用者情報の登録／更新／削除
ログビューア	認証ログの検索実行
設定	Windows ログオン認証方式の更新 Windows ログオン認証ポリシーの更新 常時認証ポリシーの更新 顔画像ログ出力ポリシーの更新 AzureAD 設定の更新 クライアントソフト設定の更新
利用者情報連携管理	利用者情報連携管理フィルタ管理の追加／削除 利用者情報一括同期の実行
インポート／エクスポート	NFM 利用者一覧の出力 NFM 利用者一括登録 アプリログイン代行認証一覧の出力 アプリログイン代行認証一覧の反映
ライセンスキーマネジメント	ライセンスキーの追加／延長
接続許可 IP アドレス	接続許可 IP アドレスの追加／削除

項目レイアウト

項目名	出力内容
操作日時	操作を行った日時です。
ログインユーザ ID	操作を行った NFM 利用者 ID です。
接続元 IP アドレス	操作を行った端末の IP アドレスです。
操作種別	操作を行った種別です。
操作機能名	操作を行った機能です。
ステータス	操作を行った結果です。
システムパラメータ	操作を行った際のシステムパラメータです。

※操作ログの保存期間は 90 日間となります。順次古いログから削除されますので
必要に応じて CSV 出力のうえ保管ください。

Appendix A. ライセンスキーの登録

本章では、購入したライセンスキーの登録手順について説明します。

1. ライセンスキーを準備します。
2. システム管理者で管理ポータルにログインします。



3. メニューエリアから「ライセンスキー管理」を押下し、ライセンスキー管理画面を表示します。

画面の詳細については「10.2. ライセンスキー一覧」をご覧ください。

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

ライセンスキー管理

型番	製品名	利用可能ID数	利用開始	利用期限	操作
UWHT01Y-H0096-I	NeoFace Monitor クラウド版 (100名12ヶ月利用権)	100	2023年7月1日	2024年6月30日	+ 延長する
UWHT01Y-H0095-I	NeoFace Monitor クラウド版 (10名12ヶ月利用権)	10	2023年7月1日	2024年6月30日	+ 延長する
	NeoFace Monitor クラウド版 (単体利用)		2023年5月1日	2023年6月30日	

利用可能ID数の合計 100
現在利用中のID数 0
残ID数 100

4. ライセンスキー管理画面から「追加する」ボタンを押下し、ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログを表示します。
 画面の詳細については「10.3. ライセンスキー入力（追加登録）」をご覧ください。



5. ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログから、購入したライセンスキーを入力し、「追加する」ボタンを押下してください。

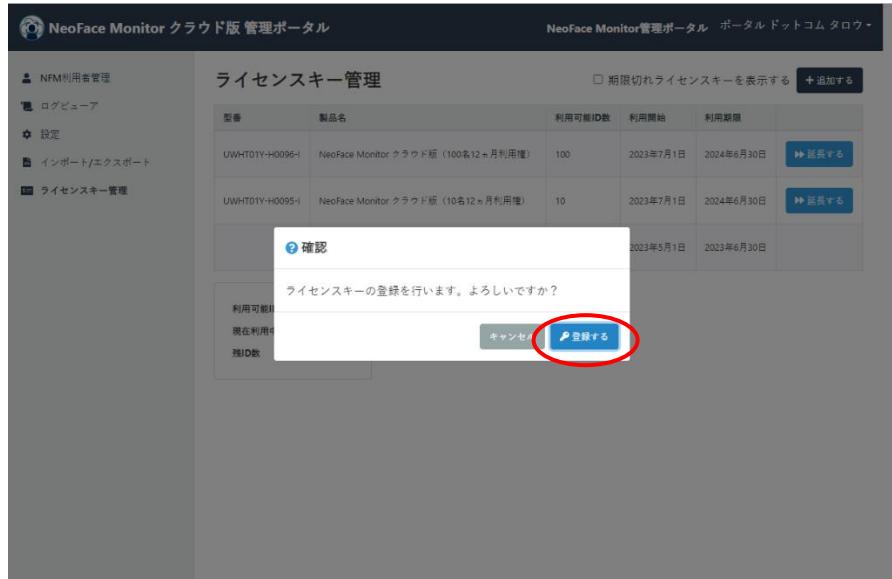


Appendix A. ライセンスキーの登録

6. 追加入力したライセンスキーの情報がダイアログ上に表示されるので、「詳細ボタン」を押下してご確認後、間違いがなければ「登録する」ボタンを押下してください。



7. ライセンスキーの登録確認メッセージが表示されるので、「登録する」ボタンを押下してください。



Appendix A. ライセンスキーの登録

8. ライセンスキー管理画面のライセンスキー一覧に、登録したライセンスが表示されれば、登録完了です。

The screenshot shows the 'License Key Management' section of the portal. The table lists four license keys:

型番	製品名	利用可能ID数	利用開始	利用期限	操作
UWHT01Y-H0096-I	NeoFace Monitor クラウド版 (100名12ヶ月利用権)	100	2023年7月1日	2024年6月30日	<button>▶ 延長する</button>
UWHT01Y-H0095-I	NeoFace Monitor クラウド版 (10名12ヶ月利用権)	10	2023年7月1日	2024年6月30日	<button>▶ 延長する</button>
UWHT01Y-H0096-I	NeoFace Monitor クラウド版 (100名12ヶ月利用権)	100	2023年7月1日	2024年6月30日	<button>▶ 延長する</button>
	NeoFace Monitor クラウド版 (無償利用)		2023年5月1日	2023年6月30日	

Below the table, a summary box displays:

- 利用可能ID数の合計: 100
- 現在利用中のID数: 0
- 残ID数: 100

※無償利用期間中にライセンスキーの登録を行った場合、無償利用期間が終了するまでライセンスキー一覧の利用可能 ID 数の合計の値に反映されません。